

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)188手当支給経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-188-52
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
事務事業名	重度身体障害者(児)福祉手当支給経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			健康福祉部障がい福祉課	課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	在宅の重度の障がいのある人(子ども)及び介護者		
	目的	介護者の経済的負担の軽減を図る。		
	内容	<p>重度障がい者及び重度障がい児の生活の向上及び、介護者の経済的負担の軽減を図るため、次の障がい者手帳を所持し常時介護を要する在宅の障がい者及び障がい児に福祉手当(障がい者月額3,000円、障がい児月額5,000円)を支給しました。(市単事業)</p> <p>身体障害者手帳1級から3級、療育手帳A1、A2またはB1、精神障害者保健福祉手帳1級</p> <p>【平成28年度支給件数】</p> <p>重度障害児福祉手当 94件、重度障害者福祉手当 200件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	扶助費	12,134,000円	重度障害児福祉手当 5,345,000円 重度障害者福祉手当 6,789,000円	
	計	12,134,000円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	12,106	11,916	12,134	11,724
		合計(A)	12,106	11,916	12,134	11,724
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.17 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人
		人件費	1,273	1,325	1,325	1,333
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	1,273	1,325	1,325	1,333
合計(A+B)	13,379	13,241	13,459	13,057		
市民1人当たりのコスト(円)		141	141	143	139	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
支給率	申請者数/支給決定者数	%	目標		100	100
			実績	100	100	100
指標化できない成果	介護者の経済的な負担を軽減する。	達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	常時介護が必要である在宅の障がい者(児)に該当するかの確認について、どの担当者が対応しても同じ対応になるように今後も課内会議や支所担当者会議等で確認していく必要がある。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)188手当支給経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-188-53
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	外国人高齢者福祉給付費	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先	課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	一定の条件を満たす外国人高齢者の市民										
	目的	年金を受給していない外国人高齢者の経済的な負担の軽減をする。										
	内容	条件を満たす外国人高齢者に福祉給付金を支給しました。(支給額は月額10,000円) 【支給要件】 次の条件を全て満たす高齢者 (1)大正15年4月1日以前に生まれた方で、昭和57年1月1日以前から平成24年7月8日まで、廃止前の外国人登録法に基づく外国人登録をされていた方 (2)平成24年7月9日以後、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)に基づく住民登録をされている方 (3)伊賀市に引き続き1年以上居住している方 (4)厚生年金その他の公的年金を受給していない方 (5)所得が一定以下の方										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>600,000円</td> <td>外国人高齢者福祉給付金 5名分</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>600,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	600,000円	外国人高齢者福祉給付金 5名分	計	600,000円		
経費	金額	摘要										
扶助費	600,000円	外国人高齢者福祉給付金 5名分										
計	600,000円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	640	720	600	720	
		合計(A)	640	720	600	720	
	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	749	780	780	785	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	749	780	780	785	
		合計(A+B)	1,389	1,500	1,380	1,505	
		市民1人当たりのコスト(円)	15	16	15	17	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	支給率	外国人高齢者福祉給付金の支給を受けている人への支給率	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続 課題及び改善案 対象者は今後減少していく見込みであるが、事業を継続して受給者への経済的支援を行うことで福祉の増進を図ることができる。
----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)188手当支給経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-188-54
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	寝たきり高齢者等福祉手当支給経費		健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	本市に住所を有し、一定の条件を満たす65歳以上の在宅者										
	目的	寝たきり高齢者等の介護費用等、経済的負担を軽減する。										
	内容	対象となる方に寝たきり高齢者等福祉手当を支給しました。(支給額は月額3,000円) 【支給要件】 下記の(1)または(2)の状態が6ヶ月以上継続している65歳以上の市内在宅者 (1)介護保険法の要介護4または5 (2)知的機能の低下により、周囲の状況把握等の判断が不正確で適切な対応が取れない等自立した生活が困難な重度の認知症の状態(主治医意見書の日常生活自立判定基準が「M」である方)										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>4,797,000円</td> <td>寝たきり高齢者等福祉手当 延1,599名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,797,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	4,797,000円	寝たきり高齢者等福祉手当 延1,599名	計	4,797,000円		
経費	金額	摘要										
扶助費	4,797,000円	寝たきり高齢者等福祉手当 延1,599名										
計	4,797,000円											

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	0			
			地方債	0	0	0	0			
			その他	0	0	0	0			
			一般財源	5,235	6,120	4,797	6,120			
			合計(A)	5,235	6,120	4,797	6,120			
		人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人		0.50 人	
				人件費	3,744	3,896	3,896		3,921	
			臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人	
				人件費						
小計(B)	3,744		3,896	3,896	3,921					
合計(A+B)	8,979	10,016	8,693	10,041						
市民1人当たりのコスト(円)		95	107	93	107					

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	支給割合	寝たきり高齢者等福祉手当の受給者への支給率	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続 課題及び改善案 対象者は介護を必要とする人であり、長期間に渡る在宅生活の負担の大きさを考慮し、引き続き事業を継続する。
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)635遺家族等援護事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-635-01
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	遺家族等援護事業	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	戦没者の遺家族		
	目的	戦没者追悼式の開催、各地区慰霊祭への供物、伊賀市遺族会への補助金交付により、戦没者の追悼と反戦意識の向上を図る。		
	内容	伊賀市戦没者追悼式を、平和の大切さ、戦争の悲惨さを後世に伝えることを目的に、「平和の集い」として、第1部追悼式、第2部平和学習の集いとして構成を見直し、平成28年9月10日に開催しました。各地区が開催されている慰霊祭で、市長宛に参加案内が来ている地区については、供物を供えました。また、伊賀市遺族会への運営費補助や終戦記念日に上野公園内の慰霊塔への献花なども実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	遺族会補助金	1,103,000円	伊賀市遺族会	
	委託料(警備業務)	42,120円	委託先:(株)安全警備	
	委託料(会場設営)	496,800円	委託先:(有)フラワー松井	
	委託料(運行業務)	237,392円	委託先:(伊賀・大山田)株式会社キタモリ 委託先:(島ヶ原)㈱ミヤマトータルイノベーション 委託先:(阿山)㈱伊賀交通、(青山)東部交通(有)	
	その他経費	567,907円		
	計	2,447,219円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	5	0	
			一般財源	2,337	2,493	2,443	2,468	
	合計(A)	2,337	2,493	2,448	2,468			
	人件費	正規職員	業務量	0.45 人	0.45 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	3,370	3,506	1,559	1,569	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		3,370	3,506	1,559	1,569			
合計(A+B)	5,707	5,999	4,007	4,037				
市民1人当たりのコスト(円)			61	64	43	43		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	戦没者追悼式参加人数	追悼式に参加する遺族数	人	目標		800	800
				実績	800	800	500
指標化できない成果			達成		100.0%	62.5%	

方向	改善	課題及び改善案	遺族の高齢化により、戦争の悲惨さを次の世代に伝えていくことが課題となっている。平和の集い(戦没者の追悼、戦争体験者の体験談)の開催により、戦没者の追悼を行うとともに、次世代への継承も含め、より多くの市民の参加に繋げる必要がある。
----	----	---------	--

整理番号
147 - 0

決算書頁
209

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)635遺家族等援護事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 27 年度～平成 30 年度	01-03-01-01-635-51
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	特別弔慰金申請事務経費	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	特別弔慰金支給対象遺族										
	目的	特別弔慰金支給対象遺族の請求を適切に受付し、速やかに県へ送付することで、対象遺族の受給を支援する										
	内容	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金(第十回特別弔慰金)(請求期間平成27年4月1日～平成30年4月2日) 請求受付事務 ・平成27年度1,612件(本庁910件、伊賀206件、島ヶ原60件、阿山168件、大山田147件、青山121件) ・平成28年度 46件(本庁25件、伊賀2件、島ヶ原3件、阿山9件、大山田2件、青山5件)										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>62,999円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62,999円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品費	62,999円		計	62,999円		
経費	金額	摘要										
消耗品費	62,999円											
計	62,999円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	198	0	10	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,618	63	53	42		
	合計(A)	1,816	63	63	42		
人件費	正規職員	業務量	0.65 人	0.65 人	0.30 人	0.30 人	
		人件費	4,867	5,065	2,338	2,353	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,867	5,065	2,338	2,353		
	合計(A+B)	6,683	5,128	2,401	2,395		
市民1人当たりのコスト(円)			71	55	26	26	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果			達成				

方向	課題及び改善案
----	---------

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)912臨時福祉給付金給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えあうまちづくり	平成 26 年度～平成 29 年度	01-03-01-01-912-52
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等 健康福祉部生活支援課
事務事業名	臨時福祉給付金給付事業			評価責任者・連絡先 課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	生活保護受給者等を除く住民税の非課税世帯員及び所得の少ない年金受給者																												
	目的	消費税の引き上げによる臨時的な給付金及び「一億総活躍社会」の実現に向けた給付金を支給する																												
	内容	<p>○臨時福祉給付金 平成28年1月1日現在、伊賀市の住民基本台帳に登録されている方で、生活保護受給者等を除き、平成28年度分の市民税が課税されていない方に、3,000円の給付金を支給しました。 【支給実績】 16,249人 × 3,000円 = 48,747,000円 申請書発送人数 18,615人 支給率 87.3%</p> <p>○障害・遺族基礎年金受給者向け給付金 上記記載の臨時福祉給付金支給対象条件に該当する方のうち、高齢者向け給付金を受給されていない方等に、30,000円の給付金を支給しました。 【支給実績】 557人 × 30,000円 = 16,710,000円 申請書発送人数 565人 支給率 98.6%</p>																												
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員手当等・共済費・賃金</td> <td>3,300,505円</td> <td>時間外勤務手当、事務補助員保険料、賃金</td> </tr> <tr> <td>需用費・役務費・使用料及び賃借料</td> <td>4,686,635円</td> <td>消耗品費、手数料、機械器具借上料等</td> </tr> <tr> <td>申請窓口通訳業務委託料</td> <td>91,800円</td> <td>委託先：特定非営利活動法人伊賀の伝丸</td> </tr> <tr> <td>申請書等印刷及び封入封緘業務委託料</td> <td>2,619,540円</td> <td>委託先：レスター工業株式会社</td> </tr> <tr> <td>電算処理等委託料</td> <td>1,026,000円</td> <td>委託先：日本電気株式会社三重支店</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>65,457,000円</td> <td>臨時福祉給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金</td> </tr> <tr> <td>償還金、利子及び割引料</td> <td>2,682,000円</td> <td>過年度国庫支出金精算返還金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>79,863,480円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	職員手当等・共済費・賃金	3,300,505円	時間外勤務手当、事務補助員保険料、賃金	需用費・役務費・使用料及び賃借料	4,686,635円	消耗品費、手数料、機械器具借上料等	申請窓口通訳業務委託料	91,800円	委託先：特定非営利活動法人伊賀の伝丸	申請書等印刷及び封入封緘業務委託料	2,619,540円	委託先：レスター工業株式会社	電算処理等委託料	1,026,000円	委託先：日本電気株式会社三重支店	負担金、補助及び交付金	65,457,000円	臨時福祉給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金	償還金、利子及び割引料	2,682,000円	過年度国庫支出金精算返還金	計	79,863,480円			
経費	金額	摘要																												
職員手当等・共済費・賃金	3,300,505円	時間外勤務手当、事務補助員保険料、賃金																												
需用費・役務費・使用料及び賃借料	4,686,635円	消耗品費、手数料、機械器具借上料等																												
申請窓口通訳業務委託料	91,800円	委託先：特定非営利活動法人伊賀の伝丸																												
申請書等印刷及び封入封緘業務委託料	2,619,540円	委託先：レスター工業株式会社																												
電算処理等委託料	1,026,000円	委託先：日本電気株式会社三重支店																												
負担金、補助及び交付金	65,457,000円	臨時福祉給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金																												
償還金、利子及び割引料	2,682,000円	過年度国庫支出金精算返還金																												
計	79,863,480円																													

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	114,520	120,298	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,167	0	2,682	0		
	合計(A)	117,687	120,298	79,864	308,405		
人件費	正規職員	業務量	1.00 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	7,487	3,896	3,896	3,921	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,487	3,896	3,896	3,921		
	合計(A+B)	125,174	124,194	83,760	312,326		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,317	1,318	889	3,323		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	受給率	受給者実績数	%	目標		100.0	100	100
				実績	74.4	84.5	87.3	
	指標化できない成果		達成		84.5%	87.3%		

方向	改善	課題及び改善案	支給率100%を目指し、制度周知の方法を検討する。平成29年度で制度が終了する予定であるので、今後の動向について情報収集に努める。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)912臨時福祉給付金給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-01-01-912-52
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	臨時福祉給付金給付事業(繰越明許費分)		健康福祉部生活支援課

事務事業の概要	対象	住民税が課税されていない人のうち、生活保護受給者等を除く65歳以上の人											
	目的	低所得の高齢者を対象に給付金を支給する											
	内容	平成27年度分住民税が課税されていない人のうち、生活保護受給者等を除く65歳以上の人に、30,000円の給付金を支給しました。 【支給実績】 10,825人 × 30,000円 = 324,750,000円 申請書発送人数 11,214人 支給率 96.5%											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請書等印刷及び封入封緘業務委託料</td> <td>1,334,880円</td> <td>委託先: レスター工業株式会社</td> </tr> <tr> <td>電算処理等委託料</td> <td>3,456,000円</td> <td>委託先: 日本電気株式会社三重支店</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,790,880円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	申請書等印刷及び封入封緘業務委託料	1,334,880円	委託先: レスター工業株式会社	電算処理等委託料	3,456,000円	委託先: 日本電気株式会社三重支店	計	4,790,880円
経費	金額	摘要											
申請書等印刷及び封入封緘業務委託料	1,334,880円	委託先: レスター工業株式会社											
電算処理等委託料	3,456,000円	委託先: 日本電気株式会社三重支店											
計	4,790,880円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金		5,000	
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		0	0			
	合計(A)		0	5,000	4,791	0	
人件費	正規職員	業務量		0.00 人	0.00 人		
		人件費		0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量		人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	0	0	0	
	合計(A+B)		0	5,000	4,791	0	
市民1人当たりのコスト(円)			0	54	51	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	受給率	受給者実績数	%	目標			100	
				実績			96.5	
	指標化できない成果		達成			96.5%		

方向	完了	課題及び改善案	平成28年度だけの単年度事業である。
----	----	---------	--------------------

整理番号
150 - 0

決算書頁
209

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)916生活困窮者自立支援事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-916-51
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	生活困窮者自立支援事業	健康福祉部生活支援課	評価責任者・連絡先	課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	生活困窮者																										
	目的	生活困窮者の自立の促進を図る																										
	内容	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的に、必須事業である自立相談支援事業、住居確保給付金、任意事業である就労準備支援事業、学習支援事業、家計相談支援事業を実施しました。自立相談支援事業は、社会福祉士の資格を持つ主任相談支援員を1名、相談支援員を2名、知識・経験の豊富な就労支援員を1名、計4名を配置し、生活上のさまざまな困りごとについての相談対応、求職者への同行支援をはじめとした相談支援を直営で実施しました(新規相談118件)。住居確保給付金事業は、経済的に困窮し、離職等によって住居を喪失またはそのおそれのある方に対し、家賃相当分の給付を行う制度に基づき、制度の利用に関する相談支援を直営で実施しました(本年度の給付実績0件)。就労準備支援事業は、直ちに一般就労による就業が著しく困難な生活困窮者に対し、就労に必要な知識や能力の向上を図るための訓練事業を委託で実施しました(利用者2名にのべ93回実施)。学習支援事業は、生活保護受給世帯を含む生活困窮世帯の子どもに対し、学力の向上を推進するため、訪問型の学習支援事業を委託で実施しました(児童4名にのべ95回実施)。家計相談支援事業は、多重債務等なんらかの家計上の問題を抱える生活困窮者に対し、家計管理、債務整理、滞納解消等の相談に委託で応じました(利用者2名にのべ27回実施)。任意事業の3事業については、相談支援業務や就労についての訓練事業の実績のある伊賀市社会福祉協議会に委託しました。																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬・共済費</td> <td>2,662,028円</td> <td>就労支援員・相談支援員報酬、保険料</td> </tr> <tr> <td>就労準備支援事業業務委託料</td> <td>909,959円</td> <td>委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>学習援助事業業務委託料</td> <td>1,414,000円</td> <td>委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>家計相談支援事業業務委託料</td> <td>961,902円</td> <td>委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>72,360円</td> <td>相談支援員用パソコン購入</td> </tr> <tr> <td>償還金、利子及び割引料</td> <td>9,694,904円</td> <td>H27国庫負担金及び補助金精算返還金</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>870,716円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,585,869円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬・共済費	2,662,028円	就労支援員・相談支援員報酬、保険料	就労準備支援事業業務委託料	909,959円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会	学習援助事業業務委託料	1,414,000円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会	家計相談支援事業業務委託料	961,902円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会	備品購入費	72,360円	相談支援員用パソコン購入	償還金、利子及び割引料	9,694,904円	H27国庫負担金及び補助金精算返還金	その他経費	870,716円		計	16,585,869円
経費	金額	摘要																										
報酬・共済費	2,662,028円	就労支援員・相談支援員報酬、保険料																										
就労準備支援事業業務委託料	909,959円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会																										
学習援助事業業務委託料	1,414,000円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会																										
家計相談支援事業業務委託料	961,902円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会																										
備品購入費	72,360円	相談支援員用パソコン購入																										
償還金、利子及び割引料	9,694,904円	H27国庫負担金及び補助金精算返還金																										
その他経費	870,716円																											
計	16,585,869円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	13,557	9,689	9,584	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	-6,940	4,255	7,002	4,492		
	合計(A)	6,617	13,944	16,586	13,557		
人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費	14,974	15,582	15,582	15,682	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,974	15,582	15,582	15,682		
	合計(A+B)	21,591	29,526	32,168	29,239		
市民1人当たりのコスト(円)			228	314	342	312	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	就労・増収率		就労支援プラン対象者のうち、就労した者及び就労による収入が増加した者の割合	%	目標	65	66	67
					実績	65	56	
指標化できない成果			達成	100.0%	84.8%			

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>生活困窮者自立支援事業では、経済的な困窮者に限らず、生活上の困難をかかえた方も対象とし、必要に応じて相談者の自宅等への訪問も実施するなど、対象者の把握に努めています。幅広い相談窓口として機能するよう市広報などによる周知啓発や、関係機関との情報共有・協力体制構築に向けて、引き続き取り組みます。</p>
----	---

整理番号	(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)923年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	決算書頁
151 - 0		211

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-01-01-923-51
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業	健康福祉部生活支援課	評価責任者・連絡先	課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	住民税が課税されていない人のうち、生活保護受給者等を除く65歳以上の人		
	目的	低所得の高齢者を対象に給付金を支給する		
	内容	平成27年度分住民税が課税されていない人のうち、生活保護受給者等を除く65歳以上の人に、30,000円の給付金を支給しました。 【支給実績】 10,825人 × 30,000円 = 324,750,000円 申請書発送人数 11,214人 支給率 96.5%		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	職員手当等	163,593円	時間外勤務手当	
	共済費	242,646円	事務補助員保険料	
	賃金	1,573,005円	事務補助員賃金	
	需用費	237,917円	消耗品費	
	役務費	2,672,128円	通信運搬費、手数料	
	使用料及び賃借料	257,904円	パソコン及びコピー機レンタル料	
	負担金、補助及び交付金	324,750,000円	年金生活者等支援臨時福祉給付金	
	計	329,897,193円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国庫支出金		360,858	329,898		
			地方債		0	0		
			その他		0	0		
			一般財源		0	0		
	合計(A)	0	360,858	329,898	0			
	人件費	正規職員	業務量	人	0.50 人	0.50 人	人	
			人件費	0	3,896	3,896	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	3,896	3,896	0			
合計(A+B)	0	364,754	333,794	0				
市民1人当たりのコスト(円)			0	3,870	3,541	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	受給率	受給者実績数	%	目標		100	
				実績		96.5	
指標化できない成果			達成		96.5%		

方向	完了	課題及び改善案	平成28年度だけの単年度事業である。
----	----	---------	--------------------

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)2民生事業活動費(細目)186民生事業活動経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-02-186-02
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	民生委員活動経費	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民																							
	目的	民生委員児童委員及び主任児童委員への活動の支援により、社会福祉の増進を図る。																							
	内容	<p>研修会や定例会・各部会の開催など、民生委員の活動支援に関する業務を民生委員児童委員連合会へ委託しました。</p> <p>平成28年度が民生委員児童委員及び主任児童委員の改選年度であり、新たな委員を選任するため民生委員推薦会(委員数7人)を6回開催し、県を通して国に推薦書を上申しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員定数 277人 主任児童委員定数 32人 任期 平成28年12月1日～平成31年11月30日 																							
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生委員推薦会委員報酬</td> <td>186,000円</td> <td>6,000 × 31人</td> </tr> <tr> <td>民生委員活動委託料</td> <td>8,790,000円</td> <td>委託先:伊賀市民生委員児童委員連合会 29,300円 × 300人</td> </tr> <tr> <td>三重県民生委員協議会負担金</td> <td>900,000円</td> <td>3,000円 × 300人</td> </tr> <tr> <td>三重県社会福祉協議会負担金</td> <td>225,000円</td> <td>750円 × 300人</td> </tr> <tr> <td>全国民生委員児童委員連合会分担金</td> <td>210,000円</td> <td>700円 × 300人</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>607,537円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,918,537円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	民生委員推薦会委員報酬	186,000円	6,000 × 31人	民生委員活動委託料	8,790,000円	委託先:伊賀市民生委員児童委員連合会 29,300円 × 300人	三重県民生委員協議会負担金	900,000円	3,000円 × 300人	三重県社会福祉協議会負担金	225,000円	750円 × 300人	全国民生委員児童委員連合会分担金	210,000円	700円 × 300人	その他経費	607,537円		計	10,918,537円
経費	金額	摘要																							
民生委員推薦会委員報酬	186,000円	6,000 × 31人																							
民生委員活動委託料	8,790,000円	委託先:伊賀市民生委員児童委員連合会 29,300円 × 300人																							
三重県民生委員協議会負担金	900,000円	3,000円 × 300人																							
三重県社会福祉協議会負担金	225,000円	750円 × 300人																							
全国民生委員児童委員連合会分担金	210,000円	700円 × 300人																							
その他経費	607,537円																								
計	10,918,537円																								

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	38	38	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	150		
	一般財源	10,265	10,645	10,881	10,568		
	合計(A)	10,265	10,683	10,919	10,718		
人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.70 人	0.70 人	0.40 人	
		人件費	2,995	5,454	5,454	3,137	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,995	5,454	5,454	3,137		
	合計(A+B)	13,260	16,137	16,373	13,855		
		市民1人当たりのコスト(円)	140	172	174	148	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
指標	民生委員推薦会の委員の参加数	人	目標		6.0	6.0	6.0
			実績	5.3	5.5	6.2	
指標化できない成果			達成		91.7%	103.3%	

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>近年、民生委員・児童委員及び主任児童委員が担う役割がさらに増大していることから、活動しやすい環境を整えるため、情報提供や懇談会などを通して、さらなる連携強化を図る必要がある。</p>
----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えあふまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-01
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	障害者福祉一般経費	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	障がいのある人や子ども、家族、支援者等																										
	目的	障がいのある人や子どもが、住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らせる町をつくる。																										
	内容	<p>障がい福祉一般に関する事務経費 障がい手帳交付件数 身体障害者手帳 4,772件 療育手帳 784件 精神障害者保健福祉手帳 587件</p> <p>平成28年生活のしづらさなどに関する調査経費(全国在宅障害児、者等実態調査) 2地区 障害者施策の推進に向けた検討の基礎資料とするため、在宅の障害児・者等(難病等患者やこれまでの法制度では支援の対象とならない方を含む。)の生活実態とニーズを把握する目的の調査</p>																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>62,784円</td> <td>調査員報酬(4人)</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>5,181円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>610,256円</td> <td>消耗品費ほか</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>2,800円</td> <td>通信運搬費</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>3,920円</td> <td>有料道路通行料</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>32,400円</td> <td>管理用備品購入(カウンター式磁気テープ)</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>10,000円</td> <td>三重県精神保健福祉協議会負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>727,341円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	62,784円	調査員報酬(4人)	旅費	5,181円		需用費	610,256円	消耗品費ほか	役務費	2,800円	通信運搬費	使用料及び賃借料	3,920円	有料道路通行料	備品購入費	32,400円	管理用備品購入(カウンター式磁気テープ)	負担金補助及び交付金	10,000円	三重県精神保健福祉協議会負担金	計	727,341円
経費	金額	摘要																										
報償費	62,784円	調査員報酬(4人)																										
旅費	5,181円																											
需用費	610,256円	消耗品費ほか																										
役務費	2,800円	通信運搬費																										
使用料及び賃借料	3,920円	有料道路通行料																										
備品購入費	32,400円	管理用備品購入(カウンター式磁気テープ)																										
負担金補助及び交付金	10,000円	三重県精神保健福祉協議会負担金																										
計	727,341円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	33	0		
	一般財源	872	600	629	681		
	合計(A)	872	600	728	681		
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.04 人	0.04 人	0.04 人	
		人件費	300	312	312	314	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	300	312	312	314		
	合計(A+B)	1,172	912	1,040	995		
市民1人当たりのコスト(円)			13	10	12	11	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	障害手帳交付率	身体・療育・精神手帳交付件数 交付決定者数/申請者数	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	障がい者福祉ガイドブック等で、障がい福祉に関する各種制度やサービス内容に関する情報提供を行っています。今後も必要な人に的確に最新の情報が提供できるよう、発信方法の検討やあらゆる媒体を活用し情報提供に努めるとともに、情報活用のための意識作りに努める必要がある。また、更なる事務の効率化の必要もある。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 18 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-02
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	障害者支援センター運営事業	健康福祉部福祉相談調整課	評価責任者・連絡先	課長 川出 敦子 0595-22-9668

事務事業の概要	対象	困りごとを持つ障がいのある人、障がい児、その家族及び支援者等											
	目的	障がいのある人等からの相談に応じ、地域で自立した日常生活やいきいきとした社会生活が送れるよう支援をする。											
	内容	<p>障がいのある方やその家族の方からの相談に応じるとともに、各種障害福祉サービスの利用調整等を行い、地域で自立した日常生活やいきいきとした社会生活を送ることができるよう支援しました。</p> <p>相談支援専門員 5名</p> <p>*主な相談内容</p> <p>障害福祉サービスに関すること(2,317件)</p> <p>不安の解消(1,105件)</p> <p>健康・医療に関すること(584件)</p> <p>家族関係に関すること(468件)</p> <p>生活技術に関すること(432件)</p> <p>家計に関すること(429件)</p> <p>就労に関すること(393件)</p> <p>障がいや病状に関すること(343件)</p> <p>権利擁護に関すること(110件) 他</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合相談事業負担金</td> <td>16,030,330円</td> <td>出向職員(相談支援専門員)負担金 (福)三重県厚生事業団 1名 (福)洗心福祉会 2名</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,018,972円</td> <td>パソコンリース4台・軽自動車リース2台・障がい福祉システム保守</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,049,302円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	総合相談事業負担金	16,030,330円	出向職員(相談支援専門員)負担金 (福)三重県厚生事業団 1名 (福)洗心福祉会 2名	その他経費	1,018,972円	パソコンリース4台・軽自動車リース2台・障がい福祉システム保守	計	17,049,302円
経費	金額	摘要											
総合相談事業負担金	16,030,330円	出向職員(相談支援専門員)負担金 (福)三重県厚生事業団 1名 (福)洗心福祉会 2名											
その他経費	1,018,972円	パソコンリース4台・軽自動車リース2台・障がい福祉システム保守											
計	17,049,302円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	4,376	6,375	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	18,019	17,436	13,011	12,050		
	合計(A)	22,395	23,811	17,050	18,050		
人件費	正規職員	業務量	0.60 人	3.00 人	2.58 人	2.50 人	
		人件費	4,493	23,373	20,101	19,603	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,493	23,373	20,101	19,603		
	合計(A+B)	26,888	47,184	37,151	37,653		
市民1人当たりのコスト(円)			283	501	395	401	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	相談件数		障がい者相談支援センターで受けた相談件数	件	目標	5,000	5,500	6,900
					実績	5,234	7,019	6,856
指標化できない成果			達成	140.4%	124.7%			

方向	継続	課題及び改善案	平成26年度から福祉総合相談体制となり、「障がい福祉課」と位置的(1階と中2階)に離れたことにより、手続きと支援の連携に時間がかかるようになりました。 ※相談件数は、前年度実績より伸びることが必ずしも良いわけではないので、想定適正件数を指標とします。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 19 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-04
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	障がい者相談員設置事業		担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	困りごとを持つ障がいのある人、その家族及び支援者		
	目的	障がいのある人やその家族の相談を受けることで、相談者が自立した生活を送れるよう支援する。		
	内容	市が委嘱した相談員が地域において、障がいのある人や家族からの相談に応じ、地域生活の支援、地域活動の推進などに対し、必要な助言や指導を行いました。 身体障がい者相談員 6人、知的障がい者相談員 3人、精神障がい者相談員 1人 平成28年度相談件数 117件		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	249,000円	障がい者相談員報酬	
	旅費	8,700円	相談員研修会参加旅費	
	計	257,700円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	284	304	112	69		
	合計(A)	284	304	258	276		
人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
		人件費	150	156	156	157	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	150	156	156	157		
	合計(A+B)	434	460	414	433		
市民1人当たりのコスト(円)			5	5	5	5	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	相談件数	相談員が受けた相談件数	件	目標		100	100	117
				実績	75	103	117	
指標化できない成果			達成		103.0%	117.0%		

方向	継続	課題及び改善案 研修会等により相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る必要がある。また、障がいのある人や家族に地域の障がい者相談員にも相談できることを周知していく必要がある。
----	----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 18 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-05
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	地域自立支援協議会運営経費		担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	障がいのある人や子ども、家族、支援者等																	
	目的	障がいのある人や子どもが、住み慣れた地域で自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる。																	
	内容	<p>「伊賀市障がい者福祉計画」並びに「伊賀市障がい福祉計画」を推進するため、伊賀市障がい者地域自立支援協議会や伊賀圏域障がい福祉連絡協議会において障がい福祉に係る基本施策等を協議しました。</p> <p>また、分野ごとに現場で支援に携わっている関係機関などが協議する場として、定例会議や専門部会(就労・精神障がい者地域移行・相談・くらし・ヘルパー)を開催し、施策推進のための協議を行いました。</p> <p>【平成28年度開催回数等】</p> <p>地域自立支援協議会2回(6/28、3/23) 定例会議4回(6/3、9/28、12/6、3/10) 専門部会(就労2回、精神障がい者地域移行4回、相談12回、くらし2回、ヘルパー11回)</p> <p>計画相談研修会(6/22参加者38人)、三重県当事者プロジェクト研修会(12/2参加者80人)、支援者向け資源見学ツアー(1/19参加者41人)、地域資源紹介DVD完成、事業所ガイドブック作成等</p>																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>156,000円</td> <td>地域自立支援協議会委員報酬(16人)</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>11,137円</td> <td>研修会講師謝礼</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>8,360円</td> <td>委員長旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>96,409円</td> <td>事業所ガイドブック印刷代等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>271,906円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	156,000円	地域自立支援協議会委員報酬(16人)	報償費	11,137円	研修会講師謝礼	旅費	8,360円	委員長旅費	需用費	96,409円	事業所ガイドブック印刷代等	計	271,906円
経費	金額	摘要																	
報酬	156,000円	地域自立支援協議会委員報酬(16人)																	
報償費	11,137円	研修会講師謝礼																	
旅費	8,360円	委員長旅費																	
需用費	96,409円	事業所ガイドブック印刷代等																	
計	271,906円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	30	52	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	180	320	252	413		
	合計(A)	210	372	272	413		
人件費	正規職員	業務量	0.96 人	0.96 人	0.95 人	0.95 人	
		人件費	7,188	7,480	7,402	7,449	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,188	7,480	7,402	7,449		
	合計(A+B)	7,398	7,852	7,674	7,862		
市民1人当たりのコスト(円)			78	84	82	84	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	事業の推進率	70%以上達成された事業の割合	%	目標		100	100	100
				実績	87	91	97	
指標化できない成果			達成		91.3%	97.1%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>啓発活動とともに各専門部会において「第4期障がい福祉計画」の国の基本指針の推進に向け課題解決や推進方法の検討を行うとともに、PDCAサイクルにより自立支援協議会において障がい福祉計画及び障がい者福祉計画の進捗管理を行う必要がある。</p>
----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-51
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	重度障害者タクシー料金等助成事業	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	重度の障がいのある人								
	目的	タクシー料金又は自動車燃料費の助成をすることで、重度の障がいのある人の社会参加の促進を図る。								
	内容	<p>重度障がい者が社会活動等に参加するため、自動車燃料費又はタクシー等乗車料金の一部を助成しました。 【助成額】自動車燃料券 600円×12枚(7,200円)、タクシー等乗車券 300円×24枚(7,200円) 【対象者】 身体障害者手帳1級から2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級所持者 【平成28年度支給人員】 自動車燃料券932人、原動機付自転車燃料券4人、タクシー券246人 計1,182人 平成28年度決算額 7,285,500円 使用率85.8%</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>7,285,500円</td> <td>タクシー料金等助成費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,285,500円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	7,285,500円	タクシー料金等助成費	計	7,285,500円
経費	金額	摘要								
扶助費	7,285,500円	タクシー料金等助成費								
計	7,285,500円									

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	7,088	6,509	7,286	6,745
		合計(A)	7,088	6,509	7,286	6,745
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.11 人	0.11 人	0.10 人	0.10 人
		人件費	824	858	780	785
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	824	858	780	785
合計(A+B)	7,912	7,367	8,066	7,530		
市民1人当たりのコスト(円)		84	79	86	81	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
使用率	自動車燃料券及びタクシー券を交付した人の使用率	%	目標		100	100
			実績	85	85	86
指標化できない成果		達成		85.0%	86.0%	

方向	改善	課題及び改善案	<p>現行制度は、助成対象が手帳要件以外の制限がなく対象者数も多い。また、助成額も年間7,200円と県下で最も低い助成額となっている。より効果を高める助成内容を検討する必要がある。今後「障害者施設通所費助成事業」を含めた移動に関する助成事業について移動関係施策との兼ね合いや当事者団体事業所との協議を行いながら検討を行う必要がある。</p>
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-52
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	障害者福祉団体活動支援事業		担当 部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	障がいのある人		
	目的	障がいのある人が活発に自立して活動することで、住み慣れた地域で生き生きとした生活を送る。		
	内容	障がいのある人の社会参加を促進するとともに福祉の増進を図るため、市内の各障がい別団体相互の親睦と協調を保ち、障がいのある人共通の問題打開に努めていく伊賀市障害者福祉連盟(9支部 会員数753人)の活動に対し助成を行いました。 平成28年度団体活動経費補助額 3,328,000円		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金補助及び交付金	3,328,000円	障がい者等団体補助金	
	計	3,328,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	160	270	203	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,468	3,058	3,125	3,058		
	合計(A)	3,628	3,328	3,328	3,328		
人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
		人件費	150	156	156	157	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	150	156	156	157		
	合計(A+B)	3,778	3,484	3,484	3,485		
市民1人当たりのコスト(円)			40	37	37	38	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	参加者数	障害者福祉連盟が主催する社会参加事業等への延参加者数	延人数	目標		800	800	1,000
				実績	865	972	1,001	
指標化できない成果			達成		121.5%	125.0%		

方向	継続	課題及び改善案 会員の高齢化が進んでおり、連盟内の世代交代が必要である。 若い世代の人にも連盟の事業に参加してもらうよう、社協の広報誌やイベント等を通じて周知を図るよう連盟に指導を行なう。
----	----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-54
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	障害者施設通所費助成事業		健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	訓練等のため施設へ通所する障がい児(者)又は保護者										
	目的	通所費用を助成することにより、施設への通所が容易になり障がい児(者)の社会参加が促進される。										
	内容	訓練等のため週2回以上施設に通所している障がい児(者)又は保護者に対し、通園費用の一部を助成しました。 助成額 (1)公共交通機関を使用する場合 = 通所に係る交通費の1/2 (2)自動車を利用する場合 = 距離数により日額50円～250円 (3)いずれも1か月の上限は10,000円とする。 平成28年度助成者数 86人 助成額 1,848,752円										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>1,848,752円</td> <td>障害者施設通所費助成金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,848,752円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			経費	金額	摘要	負担金補助及び交付金	1,848,752円	障害者施設通所費助成金	計	1,848,752円
経費	金額	摘要										
負担金補助及び交付金	1,848,752円	障害者施設通所費助成金										
計	1,848,752円											

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	4,167	1,895	1,849	1,495	
	合計(A)		4,167	1,895	1,849	1,495		
	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.20 人	0.20 人	
			人件費	2,621	2,727	1,559	1,569	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,621	2,727	1,559	1,569			
合計(A+B)		6,788	4,622	3,408	3,064			
市民1人当たりのコスト(円)		72	50	37	33			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	助成率	助成者数/申請者数	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	88.7	
指標化できない成果			達成		100.0%	88.7%		

方向	統合 課題及び改善案 本事業の対象者の中には同じ市単独事業である「重度障害者タクシー料金等助成事業」と重複して助成を受けている人もいたため本年度より併給の禁止、また助成金額の見直しも行った。今後、「重度障害者タクシー料金等助成事業」を含めた移動に関する助成事業について、移動関係施策との兼ね合いや当事者団体・事業所等との協議を行いながら再度検討を行う必要がある。
----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-56
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	障害福祉施設整備事業		担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	障害福祉施設の整備を行う社会福祉法人										
	目的	施設整備に伴う借入金等の償還助成を行うことで、施設の健全な管理運営や社会資源の確保を図る。										
	内容	<p>社会福祉法人が行う障害福祉施設整備に伴う借入金等の償還金に対し助成を行いました。 【平成28年度助成対象施設】</p> <p>維雅幸育会 ひまわり作業所緑ヶ丘分場 元金及び利子助成(平成34年度まで) 維雅幸育会 ココウツ 元金及び利子助成(平成36年度まで) 名張育成会 児童寮 元金及び利子助成(平成42年度まで) 伊賀昂会 ケアホームたいよう 元金及び利子助成(平成37年度まで) 維雅幸育会 るーなこむり 元金及び利子助成(平成45年度まで)</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>9,019,160円</td> <td>障害者福祉施設整備事業費補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,019,160円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			経費	金額	摘要	負担金補助及び交付金	9,019,160円	障害者福祉施設整備事業費補助金	計	9,019,160円
経費	金額	摘要										
負担金補助及び交付金	9,019,160円	障害者福祉施設整備事業費補助金										
計	9,019,160円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,683	9,020	9,020	8,846		
	合計(A)	8,683	9,020	9,020	8,846		
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.04 人	0.06 人	0.06 人	
		人件費	300	312	468	471	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	300	312	468	471		
合計(A+B)	8,983	9,332	9,488	9,317			
市民1人当たりのコスト(円)		95	99	101	100		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設数	伊賀市内の障害福祉サービス及び障害児通所支援施設数	力所	目標		30	31	34
				実績	31	31	33	
指標化できない成果	施設の健全な管理運営ができる。	達成		103.3%	106.5%			

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>「障がい者福祉計画」に基づき障がい福祉サービスの充実を図るためには、社会福祉法人等の福祉サービス事業者と連携し社会資源の増加を推進する必要がある。市内の社会福祉法人等に施設整備を要請していくうえで、本制度の利用を進めながら社会資源の確保に努める必要がある。</p>
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-57
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	障害者福祉啓発推進事業	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先	課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	一般市民											
	目的	すべての市民が障がいの特性を理解し、障がいのある人が、住み慣れた地域で「自分らしい暮らし」をおくる。											
	内容	市民の障がいに対する理解を促進するため、12月の障がい者週間中の12月3日に市内2ヶ所の大規模小売店舗で市職員及び伊賀市障害者福祉連盟会員が障がい福祉サービス事業所で作成した啓発チラシとクッキー等の配布を行いました。 また、市広報等で平成28年度から施行された「障害者差別解消法」の特集を行い、広く市民に法律についての周知を行いました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>10,000円</td> <td>研修会講師謝礼</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>121,336円</td> <td>啓発物品等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>131,336円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	10,000円	研修会講師謝礼	需用費	121,336円	啓発物品等	計	131,336円
経費	金額	摘要											
報償費	10,000円	研修会講師謝礼											
需用費	121,336円	啓発物品等											
計	131,336円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	63	159	69	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	109	73	63	73		
	合計(A)	172	232	132	232		
人件費	正規職員	業務量	0.03 人	0.03 人	0.03 人	0.03 人	
		人件費	225	234	234	236	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	225	234	234	236		
	合計(A+B)	397	466	366	468		
		市民1人当たりのコスト(円)	5	5	4	5	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	配布数	啓発事業の際に配布した啓発チラシ等の枚数	枚	目標		1,000	1,000	1,500
				実績	1,000	1,000	1,500	
指標化できない成果	市民の障がいに対する理解度	達成		100.0%	150.0%			

方向	継続	課題及び改善案	より多くの市民に障がいについての理解をしてもらうためには、街頭啓発だけではなく各障がいの特性についての勉強会や出前講座を開催するなど、啓発の方法を検討する必要がある。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 19 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-58
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	障害者職場実習事業		担当部署	健康福祉部障がい福祉課 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	一般就労を目指す身体・知的・精神に障がいのある人								
	目的	職場実習結果を公表し、障がいのある人の一般就労へ理解の促進、職員の障がい理解の意識の向上を図る。								
	内容	<p>一般就労を目指す知的に障がいのある人1名を実習生として8月から11月までの4ヶ月間受け入れました。</p> <p>【作業内容】 市議会委員会室等の清掃・封筒等へのゴム印押し・廃棄文章の分類処分・シティマラソン配布パンフレット封入等</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>100,732円</td> <td>実習生手当</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100,732円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	100,732円	実習生手当	計	100,732円
経費	金額	摘要								
報償費	100,732円	実習生手当								
計	100,732円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	57	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	129	166	44	42		
	合計(A)	129	166	101	166		
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.04 人	0.04 人	0.04 人	
		人件費	300	312	312	314	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	300	312	312	314		
	合計(A+B)	429	478	413	480		
市民1人当たりのコスト(円)			5	6	5	6	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	受入実習生数	市役所で受入れた実習生の人数	人	目標		1	1	1
				実績	1	1	1	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 庁舎機能が分散したため、作業確保が困難になった。「障がい者職場実習事業」とし、複数の障がい者で庁内の軽作業を請負うような形態をとることができないか等の今後の事業形態についての検討を行う。</p>
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 24 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-60
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	障害者就労定着支援事業	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	一般就労している知的・精神に障がいのある人										
	目的	障がいのある人の一般就労の定着を図る。										
	内容	<p>ジョブサポーターを派遣し、一般就労している知的・精神に障がいのある人の職場での悩み事等の相談を受け、企業との調整を図り、就労の定着を図りました。 実際の業務については、専門の相談員を有する社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会に委託しました。</p> <p>平成28年度 ジョブサポーター 7人 利用者 11人 延派遣回数 235回</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,700,000円</td> <td>障害者就労定着支援事業委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,700,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,700,000円	障害者就労定着支援事業委託料	計	1,700,000円		
経費	金額	摘要										
委託料	1,700,000円	障害者就労定着支援事業委託料										
計	1,700,000円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	735	1,275	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	922	425	740	375		
	合計(A)	1,657	1,700	1,700	1,500		
人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
		人件費	150	156	156	157	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	150	156	156	157		
	合計(A+B)	1,807	1,856	1,856	1,657		
市民1人当たりのコスト(円)			20	20	20	18	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	延派遣回数	ジョブサポーターの延派遣回数	回	目標		250	250	250
				実績	233	228	235	
指標化できない成果			達成		91.2%	94.0%		

方向	継続	課題及び改善案	企業等へジョブサポーター派遣事業について周知し、障がい者雇用の促進を図る必要がある。また、ジョブサポーターの利用方法についても検討が必要である。

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)193障害者福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-193-61
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	介護用品給付事業	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	常時介護用品(紙おむつ等)が必要な在宅の障がいのある人								
	目的	障がいのある人やその家族の経済的な負担が軽減する。								
	内容	<p>障がいのある人やその家族の経済的な負担を軽減するため、常時介護用品(紙おむつ・尿取パット等)の必要な在宅の障がいのある人に対し、申請に基づき月額4,000円(上限)の9割の金額の介護用品の購入費用の助成を行いました。</p> <p>(対象者) 常時介護用品の使用が必要な方で身体障害者手帳(肢体)1から2級・療育手帳A・精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかの所持者とその他医師意見書により認められた者 (平成28年度) 対象者130人 助成金額2,554,792円</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>2,554,792円</td> <td>介護用品等給付費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,554,792円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	2,554,792円	介護用品等給付費	計	2,554,792円
経費	金額	摘要								
扶助費	2,554,792円	介護用品等給付費								
計	2,554,792円									

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,379	2,202	2,555	2,466
		合計(A)	2,379	2,202	2,555	2,466
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
		人件費	1,498	1,559	1,559	1,569
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	1,498	1,559	1,559	1,569
合計(A+B)	3,877	3,761	4,114	4,035		
市民1人当たりのコスト(円)		41	40	44	43	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
助成率	助成者数/申請者数	%	目標		100	100
			実績	100	100	100
指標化できない成果	障がいのある人やその家族の経済的な負担が軽減	達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	市広報や市ホームページ等により制度について周知を行う。
----	----	---------	-----------------------------

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)199障害者自立支援給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 18 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-199-51
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	介護・訓練等給付費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			健康福祉部障がい福祉課	課長 藤岸 登 0595-22-9657	

事務事業の概要	対象	障がいのある人や児童で障害福祉サービス等の給付を希望する者													
	目的	障害福祉サービス等を受けることで、地域で自立した生活が可能となる。また、家族の介護負担の軽減を図る。													
	内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に基づく介護・訓練等給付や児童福祉法に基づく障害児支援給付等の給付を行いました。 ◎障害介護給付費(利用者延べ 13,613人) 介護・訓練等給付費等 居宅介護、短期入所、生活介護、施設入所支援、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援など ◎障害児給付費(利用者延べ1,505人) 児童発達支援、保育所等訪問支援、放課後等デイサービス、障害児相談支援給付費 ◎特例介護・特例訓練等給付費(6事業所、利用者延べ189人) ◎高額障害福祉サービス給付費(6事業所、利用者延べ175人)													
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>1,830,003円</td> <td>審査支払手数料</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>1,536,651,255円</td> <td>介護・訓練等給付費 1,524,981,913円 特例介護・特例訓練等給付費 10,368,491円 高額障害福祉サービス給付費 1,300,851円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,538,481,258円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	役務費	1,830,003円	審査支払手数料	扶助費	1,536,651,255円	介護・訓練等給付費 1,524,981,913円 特例介護・特例訓練等給付費 10,368,491円 高額障害福祉サービス給付費 1,300,851円	計	1,538,481,258円		
経費	金額	摘要													
役務費	1,830,003円	審査支払手数料													
扶助費	1,536,651,255円	介護・訓練等給付費 1,524,981,913円 特例介護・特例訓練等給付費 10,368,491円 高額障害福祉サービス給付費 1,300,851円													
計	1,538,481,258円														

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	1,139,390	1,135,684	1,171,691	
	地方債	0	0	0	0		
	その他		0	0	12,992		
	一般財源	376,044	381,285	366,791	387,396		
	合計(A)	1,515,434	1,516,969	1,538,482	1,559,412		
人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.09 人	2.09 人	
		人件費	14,974	15,582	16,284	16,388	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,974	15,582	16,284	16,388		
	合計(A+B)	1,530,408	1,532,551	1,554,766	1,575,800		
	市民1人当たりのコスト(円)	16,099	16,257	16,492	16,764		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	延利用件数	障害福祉サービス及び障害児通所支援の延利用件数	件	目標		11,500	12,000	15,000
				実績	11,827	12,779	15,118	
指標化できない成果			達成		111.1%	126.0%		

方向	継続 課題及び改善案 サービスの支給決定の際には、真に必要なサービス支給量を支給決定する必要がある。サービスの支給決定を行なっても、実際そのサービスを提供する事業所が不足しているため、必要なサービスを受けられない場合がある。
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)199障害者自立支援給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-199-53
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	自立支援医療給付事業		担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	一般医療ですでに治癒したと考えられる身体上の障がいのある人・児童														
	目的	自立支援医療を給付することにより、日常生活能力等の回復または障がいの軽減、改善を図る。														
	内容	<p>一般医療ですでに治癒したと考えられる身体上の障がいに対し、日常生活能力等の回復又は障がいの軽減、改善をするため、診察、薬剤または治療材料の支給、医学的処置・手術を行った場合に自立支援医療の給付を行いました。</p> <p>(更生医療)79件 ・28年度支給件数:腎臓56件、肢体不自由8件、免疫機能障害11件ほか ・28年度支給金額 89,161,436円</p> <p>(育成医療)39件 ・28年度支給件数:内部14件、音声・言語・そしゃく10件、肢体不自由8件、聴覚平衡機能3件、心臓機能障害3件ほか ・28年度支給金額 3,216,800円</p> <p>(療養介護医療) 療養介護医療の公費負担 8件 療養介護にかかる食事負担 4件 ・28年度支給金額 6,013,519円</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>67,398円</td> <td>審査支払事務手数料</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>315,000円</td> <td>システム等使用料</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>98,391,755円</td> <td>更生医療給付費 89,161,436円 育成医療給付費 3,216,800円 療養介護医療給付費 6,013,519円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>98,774,153円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	役務費	67,398円	審査支払事務手数料	使用料及び賃借料	315,000円	システム等使用料	扶助費	98,391,755円	更生医療給付費 89,161,436円 育成医療給付費 3,216,800円 療養介護医療給付費 6,013,519円	計	98,774,153円
経費	金額	摘要														
役務費	67,398円	審査支払事務手数料														
使用料及び賃借料	315,000円	システム等使用料														
扶助費	98,391,755円	更生医療給付費 89,161,436円 育成医療給付費 3,216,800円 療養介護医療給付費 6,013,519円														
計	98,774,153円															

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国庫支出金	57,157	58,074	74,627	59,615		特定財源:障害者医療費負担金(国1/2)障害者自立支援給付等負担金(県1/4)
			地方債	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0		
			一般財源	19,945	19,731	24,148	20,253		
	合計(A)		77,102	77,805	98,775	79,868			
	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人		
			人件費	2,621	3,896	3,896	3,921		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		2,621	3,896	3,896	3,921				
合計(A+B)		79,723	81,701	102,671	83,789				
市民1人当たりのコスト(円)		839	867	1,090	892				

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	一人当たりの給付額	一人当たりの給付額	千円	目標		950	950	950
				実績	564	1,376	1,058	
指標化できない成果			達成		144.8%	116.2%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>手帳取得が条件である事業のため、手帳申請と同時に申請する場合など、助成する医療内容等によって、説明が異なるため、課内で内容等を共有し担当者以外でも説明できるようにする必要がある。</p>
----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)199障害者自立支援給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-199-54
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	補装具給付事業	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	身体障害者手帳所持者										
	目的	補装具を給付することにより、障がいのある人や児童の日常生活や社会生活の向上を図る。										
	内容	障がいを補うための補装具の購入及び修理の費用を支給しました。 ・28年度 交付125件、修理68件 ・28年度 給付金額 19,366,216円										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>19,366,216円</td> <td>補装具給付費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,366,216円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	19,366,216円	補装具給付費	計	19,366,216円		
経費	金額	摘要										
扶助費	19,366,216円	補装具給付費										
計	19,366,216円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	14,139	15,750	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,394	5,250	4,842	4,748		
	合計(A)	21,533	21,000	19,367	18,987		
人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.35 人	0.35 人	
		人件費	2,621	2,727	2,727	2,745	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,621	2,727	2,727	2,745		
	合計(A+B)	24,154	23,727	22,094	21,732		
		市民1人当たりのコスト(円)	255	252	235	232	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	一人当たりの給付額	一人当たりの補装具の給付額	千円	目標		80	80	100
				実績	106	104	155	
指標化できない成果			達成		130.0%	193.6%		

方向	継続	課題及び改善案	当該事務事業に関して、課内で共有できていない状況があり、利用者(申請者)に対して、十分に説明責任が果たせない場面がある。課内における共有を再度行い、誰もが説明できるようにする必要がある。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)199障害者自立支援給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-199-55
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	地域生活支援事業給付費		担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	障がいのある人・子ども、その家族、関係者																	
	目的	障がいのある人の社会参加の促進を図り、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。																	
	内容	<p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条の規定による地域生活支援事業等の給付を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者設置事業 非常勤職員1人 ・コミュニケーション支援事業 手話派遣延べ401回、要約筆記派遣延べ5回 ・職親事業 職親1人、実利用者人員1人 ・点字奉仕員等養成事業(伊賀市社会事業協会へ委託) 点訳延べ受講者 98人、音訳延べ受講者 262人 ・点字広報・声の広報等発行事業(伊賀市社会事業協会へ委託) 市広報23回、議会だより4回 ・移動制約者セーフティネット対策事業(伊賀市社会福祉協議会へ委託) ・スポーツ大会開催事業(伊賀市障害者福祉連盟へ補助) 9月10日開催 参加約473人 ・手話奉仕員養成研修事業(三重県聴覚障害者協会へ委託) 受講者25人 ・訪問入浴サービス事業・日常生活用具給付事業・障がい者自動車改造費給付事業・更生訓練費給付事業・地域活動支援センター事業・移動支援(ガイドヘルプ)事業・日中一時支援事業・生活支援(歩行訓練)事業等 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>1,192,080円</td> <td>手話通訳者賃金</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>1,551,000円</td> <td>手話、要約筆記派遣</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>68,732,048円</td> <td>日中一時支援事業給付費 25,095,326円 移動支援事業給付費 19,090,038円 日常生活用具給付費 17,317,090円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>3,075,278円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>74,550,406円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	賃金	1,192,080円	手話通訳者賃金	報償費	1,551,000円	手話、要約筆記派遣	扶助費	68,732,048円	日中一時支援事業給付費 25,095,326円 移動支援事業給付費 19,090,038円 日常生活用具給付費 17,317,090円	その他経費	3,075,278円		計	74,550,406円
経費	金額	摘要																	
賃金	1,192,080円	手話通訳者賃金																	
報償費	1,551,000円	手話、要約筆記派遣																	
扶助費	68,732,048円	日中一時支援事業給付費 25,095,326円 移動支援事業給付費 19,090,038円 日常生活用具給付費 17,317,090円																	
その他経費	3,075,278円																		
計	74,550,406円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	39,790	63,361	40,001	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	7	41	8	41		
	一般財源	53,141	25,129	34,542	19,297		
	合計(A)	92,938	88,531	74,551	70,757		
人件費	正規職員	業務量	0.48 人	0.48 人	0.45 人	0.45 人	
		人件費	3,594	3,740	3,506	3,529	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.70 人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,594	3,740	3,506	3,529		
	合計(A+B)	96,532	92,271	78,057	74,286		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,016	979	828	791		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	給付件数(日常生活用具)	日常生活用具の給付件数	件	目標		1,600	1,600	1,800
				実績	1,546	1,674	1,800	
指標化できない成果			達成		104.6%	112.5%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 市内に中高生を対象にした日中一時支援事業所が少ないため、市内の社会福祉法人等と協議し、事業所の確保に努める必要がある。</p>
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)199障害者自立支援給付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-199-57
	施策	1205 だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課
事務事業名	障害支援区分認定審査会運営経費		評価責任者・連絡先	課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	障がいのある人や児童で障害福祉サービス等の給付を希望する者		
	目的	障害福祉サービス等を受けることで、地域で自立した生活が可能となる。また、家族の介護負担の軽減を図る。		
	内容	介護・訓練給付費等を支給決定するにあたり、障害支援区分等を決定するための調査を行い、審査会を開催しました。 ・障がい者介護給付費等の支給に関する審査会開催回数 10回		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	990,800円	審査会委員報酬(10人)	
	賃金	205,960円	事務補助員(1人)	
	旅費	19,600円	認定調査旅費	
	需用費	99,829円		
	役務費	724,263円	通信運搬費	4,100円
			医師意見書作成手数料	720,163円
	使用料及び賃借料	10,490円	有料道路通行料	
	計	2,050,942円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	1,156	1,949	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,448	649	2,051	2,335
		合計(A)	2,604	2,598	2,051	2,335
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.87 人	0.87 人	0.90 人	0.90 人
			人件費 6,514	6,779	7,012	7,057
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
			人件費			
		小計(B)	6,514	6,779	7,012	7,057
合計(A+B)	9,118	9,377	9,063	9,392		
市民1人当たりのコスト(円)		96	100	97	100	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	認定審査会審査件数	人	目標		230	175
			実績	186	235	156
指標化できない成果		達成		117.5%	89.1%	

方向	継続	課題及び改善案	障害認定調査については、現在、市職員が調査を行っているが、質の向上・平等性を考慮し調査専門職員の雇用や外部委託など検討が必要である。
----	----	---------	--

整理番号
170 - 0

決算書頁
215

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)200障害者福祉施設管理運営経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-200-51
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	盲人ホーム管理運営経費	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先	課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	あん摩・マッサージ・指圧免許、はり師免許又はきゅう師免許を有する視覚障がい者								
	目的	必要な技術指導が受けられ、治療報酬を得ることにより、自立更生を図る。								
	内容	指定管理により伊賀市盲人ホームの施設運営及び管理を行いました。 施設の運営及び管理を指定管理者の社会福祉法人伊賀市社会事業協会に委託 平成28年度指定管理委託料 6,000千円								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>6,000,000円</td> <td>盲人ホーム指定管理委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,000,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	6,000,000円	盲人ホーム指定管理委託料	計	6,000,000円
経費	金額	摘要								
委託料	6,000,000円	盲人ホーム指定管理委託料								
計	6,000,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	2,663	4,500	3,390	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,337	1,500	2,610	1,500		
	合計(A)	6,000	6,000	6,000	6,000		
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.04 人	0.04 人	0.04 人	
		人件費	300	312	312	314	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	300	312	312	314		
	合計(A+B)	6,300	6,312	6,312	6,314		
市民1人当たりのコスト(円)			67	67	67	68	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年間延施術者数	盲人ホームで施術を受けた年間延人数	人	目標		120	190	240
				実績	162	187	240	
指標化できない成果			達成		155.8%	126.3%		

方向	継続	課題及び改善案	技術取得のための利用者が減少しているため、利用者の確保が課題である。 また施設を継続していくうえでは、将来的に施設改修も検討していく必要がある。
----	----	---------	---

整理番号
171 - 0

決算書頁
215

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)200障害者福祉施設管理運営経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-200-52
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	伊賀ホーム管理運営経費		担当部署	部・課名等 健康福祉部障がい福祉課 評価責任者・連絡先 課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	15歳以上の知的に障がいのある人で、グループホームの入居を必要とする人		
	目的	知的に障がいのある人の自立生活の助長を図る。		
	内容	指定管理により伊賀市障がい者グループホーム「伊賀ホームほほえみ」の施設運営及び管理を行いました。 施設の運営及び管理を指定管理者の社会福祉法人洗心福祉会に委託 平成28年度指定管理委託料8,071千円 定員5人 ・平成28年度入居者数 4人		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	8,071,000円	伊賀ホーム指定管理委託料	
	計	8,071,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	6,012	6,708	6,241	6,200		
	一般財源	2,059	1,363	1,830	1,871		
	合計(A)	8,071	8,071	8,071	8,071		
人件費	正規職員	業務量	0.08 人	0.08 人	0.08 人	0.08 人	
		人件費	599	624	624	628	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	599	624	624	628		
	合計(A+B)	8,670	8,695	8,695	8,699		
市民1人当たりのコスト(円)			92	93	93	93	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入居率	入居者数/定員	%	目標		100	100	100
				実績	80	80	80	
指標化できない成果			達成		80.0%	80.0%		

方向	民間活力導入	課題及び改善案	民間での同様のサービスが拡充されていることを踏まえ、現在の利用者に対するサービスの継続性に配慮しながら民営化にむけ協議を進めている。また、当該施設は民間の会社より無償で借受けて事業を行っていますが、老朽化のため事業継続が困難なため、平成30年度から新たに社会福祉法人で施設を整備して事業を継続してもらう方向で進めている。
----	--------	---------	--

整理番号
172 - 0

決算書頁
215

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)200障害者福祉施設管理運営経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-200-53
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	阿山ホーム管理運営経費	健康福祉部障がい福祉課	評価責任者・連絡先	課長 藤岸 登 0595-22-9657

事務事業の概要	対象	15歳以上の知的に障がいのある人で、グループホームの入居を必要とする人		
	目的	知的に障がいのある人の自立生活の助長を図る。		
	内容	指定管理により伊賀市障がい者グループホーム「阿山ホームかざぐるま」の施設運営及び管理を行いました。 施設の運営及び管理を指定管理者の社会福祉法人洗心福祉会に委託 平成28年度指定管理委託料7,771千円 定員:5人 平成28年度施設利用者数 5人		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	7,771,000円	阿山ホーム指定管理委託料	
	計	7,771,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	5,976	6,468	5,859	6,500		
	一般財源	2,875	1,303	1,912	1,271		
	合計(A)	8,851	7,771	7,771	7,771		
	人件費	正規職員	業務量 0.08 人	0.08 人	0.08 人	0.08 人	
		人件費	599	624	624	628	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	599	624	624	628	
		合計(A+B)	9,450	8,395	8,395	8,399	
		市民1人当たりのコスト(円)	100	90	90	90	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入居率	入居者数/定員	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	民間活力導入	課題及び改善案	民間での同様のサービスが拡充されていることを踏まえ、現在の利用者に対するサービスの継続性に配慮しながら、施設を譲渡のうえ民営化を図る。 なお、当該施設は国の社会福祉施設整備補助金により整備しているため、財産処分を行う際に国や県の承認が必要である。
----	--------	---------	--

整理番号
173 - 0

決算書頁
215

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)4障害福祉費(細目)200障害者福祉施設管理運営経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-04-200-54
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり		
	事務事業名	きらめき工房管理運営経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			健康福祉部障がい福祉課	課長 藤岸 登 0595-22-9657	

事務事業の概要	対象	一般就労が困難な在宅の知的障がい者										
	目的	知的に障がいのある人の社会参加と自立生活の助長が図られる。										
	内容	<p>指定管理により伊賀市障がい者支援多機能型事業所きらめき工房いが及びきらめき工房あおやまの施設運営及び管理を行いました。 施設の運営及び管理を指定管理者の社会福祉法人洗心福祉会に委託 平成28年度指定管理料84,926千円</p> <p>【利用定員】 きらめき工房いが 25人(生活介護15人、就労継続支援B型10人) きらめき工房あおやま 20人(生活介護6人、就労継続支援B型14人)</p> <p>・平成28年度施設利用者 きらめき工房いが:延4,468人(生活介護 延2,187人、就労継続支援B型 延2,281人) きらめき工房あおやま:延2,722人(生活介護 延1,154人、就労継続支援B型 延1,568人)</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>84,926,000円</td> <td>きらめき工房指定管理委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84,926,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			経費	金額	摘要	委託料	84,926,000円	きらめき工房指定管理委託料	計	84,926,000円
経費	金額	摘要										
委託料	84,926,000円	きらめき工房指定管理委託料										
計	84,926,000円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	66,603	84,314	62,230	84,372		
	一般財源	18,323	612	22,696	554		
	合計(A)	84,926	84,926	84,926	84,926		
人件費	正規職員	業務量	0.08 人	0.08 人	0.06 人	0.06 人	
		人件費	599	624	468	471	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	599	624	468	471		
	合計(A+B)	85,525	85,550	85,394	85,397		
	市民1人当たりのコスト(円)	900	908	906	909		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	利用率	延利用者数/延定員数	%	目標		95	100	100
				実績	61	69	66	
	指標化できない成果		達成		64.2%	66.0%		

方向	<p>民間活力導入</p> <p>課題及び改善案</p> <p>当該施設は平成21年度より社会福祉法人による指定管理を行っているが、指定管理導入時に利用者及び保護者から強い反対があった。今後、完全な民営化を実施するについては、利用者及び保護者に市の状況等を説明し理解してもらう必要がある。また、きらめき工房いがはいがまち保健福祉センター内にあるため、施設を民間に移譲できるかどうか、関係各課との調整が必要である。</p>
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)5福祉医療費(細目)201一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-05-201-51
	施策	1107	福祉医療費助成制度の充実	担当 部署	部・課名等 健康福祉部保険年金課
	事務事業名	医療費助成経費		評価責任者・連絡先 課長 松岡 美都子 0595-22-9659	

事務事業の概要	対象	伊賀市に住所のある障がい者、一人親家庭、子どものうち福祉医療費受給資格に該当する人																
	目的	対象者の医療費負担を軽減する。																
	内容	県の福祉医療費助成制度で受給資格に該当する対象者から申請があり、認定されたものに対して、償還払い方式により医療費の窓口負担分を助成を行いました。 ・助成件数／助成金額 障がい者76,791件／227,065,544円 一人親家庭等15,994件／36,599,705円 子ども98,000件／173,144,586円																
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>831,868円</td> <td>印刷製本費(受給者証ほか)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>35,221,932円</td> <td>手数料(証明書料、共同処理)</td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td>436,809,835円</td> <td>心身障害者医療、重度身体障害者医療、一人親家庭等医療、子ども医療</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>472,863,635円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	831,868円	印刷製本費(受給者証ほか)	役務費	35,221,932円	手数料(証明書料、共同処理)	扶助費	436,809,835円	心身障害者医療、重度身体障害者医療、一人親家庭等医療、子ども医療	計	472,863,635円		
経費	金額	摘要																
需用費	831,868円	印刷製本費(受給者証ほか)																
役務費	35,221,932円	手数料(証明書料、共同処理)																
扶助費	436,809,835円	心身障害者医療、重度身体障害者医療、一人親家庭等医療、子ども医療																
計	472,863,635円																	

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	224,280	233,427	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	236,002	240,991	241,570	223,561		
	合計(A)	460,282	474,418	472,864	436,834		
人件費	正規職員	業務量	2.80 人	2.80 人	2.80 人	2.80 人	
		人件費	20,964	21,815	21,815	21,955	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	20,964	21,815	21,815	21,955		
	合計(A+B)	481,246	496,233	494,679	458,789		
	市民1人当たりのコスト(円)	5,063	5,264	5,248	4,881		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	助成率	助成者数／対象者数	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続 課題及び改善案 対象者の範囲拡大の要望があり、市単事業で行っているが、県制度として統一したサービスが望ましいため、県と協議を行った。
----	--

整理番号
175 - 0

決算書頁
215

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)5福祉医療費(細目)201一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-05-201-52
	施策	1107	福祉医療費助成制度の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	医療費助成経費(単独分)		健康福祉部保険年金課	評価責任者・連絡先 課長 松岡 美都子 0595-22-9659

事務事業の概要	対象	伊賀市に住所がある障がい者、子どものうち福祉医療費受給資格に該当する人										
	目的	対象者の医療費負担を軽減する。										
	内容	県の福祉医療費助成制度から、対象者の範囲を拡大して市単事業で助成を行い、更に医療費の負担軽減を図りました。 ・助成件数／助成金額 障がい者12,757件／29,254,637円 子ども(中学生)13,451件／29,389,360円										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>58,643,997円</td> <td>心身障害者医療、重度身体障害者医療、子ども(中学生)医療</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>58,643,997円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	58,643,997円	心身障害者医療、重度身体障害者医療、子ども(中学生)医療	計	58,643,997円		
経費	金額	摘要										
扶助費	58,643,997円	心身障害者医療、重度身体障害者医療、子ども(中学生)医療										
計	58,643,997円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	4,348	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	25,000	29,389	24,000		
	一般財源	34,023	12,066	29,255	28,177		
	合計(A)	38,371	37,066	58,644	52,177		
人件費	正規職員	業務量	1.10 人	1.10 人	1.10 人	1.10 人	
		人件費	8,236	8,571	8,571	8,626	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	8,236	8,571	8,571	8,626		
	合計(A+B)	46,607	45,637	67,215	60,803		
	市民1人当たりのコスト(円)	491	485	713	647		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	助成率	助成者数/対象者数	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続 課題及び改善案 県制度として、受給者範囲を統一して助成業務を行うことで、サービスの公平性が保たれることから、県制度への移行に向け県と協議を行った。また、市単独で子ども医療費窓口無料化を実施するため準備を進めた。
----	---

(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)203老人福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-203-01
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	老人福祉一般経費	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先	課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	生きがいセンター利用者																	
	目的	健康寿命を少しでも延ばすべく、適切な運営に努める。																	
	内容	<p>できるだけ住み慣れた地域で暮らしていくためには健康寿命を延ばすことが必要不可欠であり、そのためには居宅に閉じこもっていることなく、屋外に出て体を動かしたり、頭を使ったりしていただくために高齢者が気軽に集える居場所作りを行いました。</p> <p>また、社会福祉法人が実施する社会福祉施設整備事業に対して補助を行いました。</p>																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者生きがい事業委託料</td> <td>604,697円</td> <td>高齢者生きがいセンター運営事業(事業期間4～9月) (委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉施設整備費補助金</td> <td>17,876,477円</td> <td>養護老人ホーム建設に伴う補助 支出先: 社会福祉法人洗心福祉会 6,765,873円 社会福祉法人福寿会 11,110,604円</td> </tr> <tr> <td>システム使用料</td> <td>1,254,528円</td> <td>高齢者福祉システム</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,588,510円</td> <td>健康器具保守点検業務委託料、システム保守委託料等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,324,212円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	高齢者生きがい事業委託料	604,697円	高齢者生きがいセンター運営事業(事業期間4～9月) (委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会)	社会福祉施設整備費補助金	17,876,477円	養護老人ホーム建設に伴う補助 支出先: 社会福祉法人洗心福祉会 6,765,873円 社会福祉法人福寿会 11,110,604円	システム使用料	1,254,528円	高齢者福祉システム	その他	1,588,510円	健康器具保守点検業務委託料、システム保守委託料等	計	21,324,212円
経費	金額	摘要																	
高齢者生きがい事業委託料	604,697円	高齢者生きがいセンター運営事業(事業期間4～9月) (委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会)																	
社会福祉施設整備費補助金	17,876,477円	養護老人ホーム建設に伴う補助 支出先: 社会福祉法人洗心福祉会 6,765,873円 社会福祉法人福寿会 11,110,604円																	
システム使用料	1,254,528円	高齢者福祉システム																	
その他	1,588,510円	健康器具保守点検業務委託料、システム保守委託料等																	
計	21,324,212円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	17,014	22,566	21,325	20,680		
		合計(A)	17,014	22,566	21,325	20,680		
	人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.05 人	
人件費			749	780	780	393		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	749	780	780	393		
		合計(A+B)	17,763	23,346	22,105	21,073		
		市民1人当たりのコスト(円)	187	248	235	225		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	高齢者生きがいセンター利用者数		健康寿命を少しでも延ばすべく、取り組む高齢者	人	目標	6,100	6,100	0
					実績	5,784	5,767	1,185
指標化できない成果			達成	94.5%	19.4%			

方向	縮小	課題及び改善案	既に目的が一定程度達成された事業については、見直しを進める(高齢者生きがいセンター運営事業9月末で終了した。老人福祉法に則り行っている一般事務事業については、継続する。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)203老人福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-203-03
	施策	1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	敬老事業	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	市内最高齢者・白寿の方		
	目的	長寿をお祝いする。		
	内容	敬老の日:祝い事業 市内の最高齢者及び高齢者施設を市長または、部長が訪問し長寿をお祝いしました。また、白寿を迎えた方々にお祝いメッセージを届けました。 最高齢者 男性101歳 女性108歳 白寿の方 46名 (平成28年9月1日現在)		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	消耗品費	153,873円	祝状、記念品、賞状、花等	
	筆耕翻訳料	10,000円	祝状筆耕料	
	計	163,873円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
			地方債	0	0	0		0
			その他	0	0	0		0
			一般財源	117	164	164		62
	合計(A)	117	164	164	62			
	人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.08 人		0.08 人
			人件費	749	780	624		628
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
小計(B)		749	780	624	628			
合計(A+B)	866	944	788	690				
市民1人当たりのコスト(円)		10	11	9	8			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	最高齢者・白寿の方の人数	最高齢者及び白寿を迎えた方に記念品またはお祝いメッセージを贈呈	人	目標		50	50
				実績	44	54	46
指標化できない成果			達成		108.0%	92.0%	

方向	継続	課題及び改善案	敬老祝い事業は長寿への励みとなることから、将来にわたり継続される事業と考える。平成26年度に対象者等についての大幅な見直しを行ったため、当面は現在の対象者について事業を実施する。高齢者施設への訪問については、平成29年度から手土産を廃止する。
----	----	---------	---

整理番号
178 - 0

決算書頁
217

(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)203老人福祉一般事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-203-51
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	老人クラブ活動助成事業	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先	課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	伊賀市老人クラブ連合会、市内単位老人クラブ														
	目的	活動運営費を補助することにより、高齢者の生きがい活動を推進し、高齢者が生き生きと地域で活動することができる。														
	内容	伊賀市老人クラブ連合会、市内単位老人クラブへの助成及び単位クラブごとに重点配分(コンペ式)助成を行いました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>12,394,000円</td> <td>老人クラブ活動等事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伊賀市老人クラブ連合会 11,056,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>単位老人クラブ(138団体) 1,338,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,394,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	12,394,000円	老人クラブ活動等事業費補助金			伊賀市老人クラブ連合会 11,056,000円			単位老人クラブ(138団体) 1,338,000円	計	12,394,000円
経費	金額	摘要														
負担金、補助及び交付金	12,394,000円	老人クラブ活動等事業費補助金														
		伊賀市老人クラブ連合会 11,056,000円														
		単位老人クラブ(138団体) 1,338,000円														
計	12,394,000円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	5,281	5,281	4,569	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	7,980	8,036	7,825	7,837	
		合計(A)	13,261	13,317	12,394	12,407	
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	2,995	3,117	3,117	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,995	3,117	3,117	3,137	
		合計(A+B)	16,256	16,434	15,511	15,544	
		市民1人当たりのコスト(円)	171	175	165	166	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	活動助成金支給率	世代間交流事業や環境美化活動等に対する補助枠に対する支給率	%	目標		100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>クラブ数や会員数の減少により国県補助金が減額されており、その差額分を一般財源からの補填で賅っている。老人クラブが高齢者の生きがいの場所として一定の成果があるのも事実であるため、老人クラブ連合会に会員数を増やすための取組を行うよう提案する。</p>
----	--

(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)204在宅老人援護事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-204-53
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	介護予防・生活支援事業	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先	課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	(1)寝たきり高齢者(2)概ね65歳以上の1人暮らし高齢者(3)1人暮らしで身体障害者手帳1級、または2級を所持する者(4)要介護2以下の認知症等高齢者																
	目的	介護保険の対象外となるサービスを提供する。																
	内容	<p>(1)軽度生活支援事業 単身高齢者等を対象に、軽微な援助をシルバー人材センターに委託しました。63.5時間</p> <p>(2)訪問理美容サービス事業 寝たきり高齢者等に出張で理美容サービスを実施する場合の出張費を市が負担しました。52件</p> <p>(3)寝具洗濯乾燥事業 寝たきり高齢者等の寝具を洗濯消毒しました。6件</p> <p>(4)生きがい活動支援通所事業 介護保険の対象とならない要援護高齢者等の為の通所事業を行いました。延べ1429回</p> <p>(5)介護用品購入費助成事業 要介護2以下で認知症等高齢者に対し、介護用品購入金額の上限4,000円のうち9割または8割を助成しました。</p>																
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護用品等購入給付費</td> <td>5,581,662円</td> <td>認知症高齢者等介護用品購入費助成 1,577件</td> </tr> <tr> <td>介護予防・生活支援事業委託料</td> <td>2,305,971円</td> <td>(委託先) 特定非営利活動法人伊賀の友 (福)伊賀市社会福祉協議会 ほか</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,298,549円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,186,182円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	介護用品等購入給付費	5,581,662円	認知症高齢者等介護用品購入費助成 1,577件	介護予防・生活支援事業委託料	2,305,971円	(委託先) 特定非営利活動法人伊賀の友 (福)伊賀市社会福祉協議会 ほか	その他	2,298,549円		計	10,186,182円		
経費	金額	摘要																
介護用品等購入給付費	5,581,662円	認知症高齢者等介護用品購入費助成 1,577件																
介護予防・生活支援事業委託料	2,305,971円	(委託先) 特定非営利活動法人伊賀の友 (福)伊賀市社会福祉協議会 ほか																
その他	2,298,549円																	
計	10,186,182円																	

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	11,911	12,199	10,187	8,502	
		合計(A)	11,911	12,199	10,187	8,502	
	人件費	正規職員	業務量 0.70 人	0.60 人	0.60 人	0.50 人	
		人件費	5,241	4,675	4,675	3,921	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	5,241	4,675	4,675	3,921	
		合計(A+B)	17,152	16,874	14,862	12,423	
		市民1人当たりのコスト(円)	181	179	158	133	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	サービス提供額	介護用品購入費助成制度による助成額	円	目標		4,500,000	5,184,000	6,048,000
				実績	4,453,539	5,422,834	5,581,662	
指標化できない成果			達成		120.0%	107.7%		

方向	継続	課題及び改善案	有効性については、現行のままではなく、時代の変遷に対応したものに進化させていく必要があるため、適宜事業の見直しを行う。
----	----	---------	---

整理番号
180 - 0

決算書頁
219

(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)205老人施設福祉事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-205-51
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	老人福祉施設措置費	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先	課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な概ね65歳以上の者								
	目的	養護老人ホームに対象者を措置し養護する。								
	内容	環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な概ね65歳以上の者について、養護老人ホームに措置し養護しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td>271,696,429円</td> <td>養護老人ホーム措置費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>271,696,429円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	扶助費	271,696,429円	養護老人ホーム措置費	計	271,696,429円
経費	金額	摘要								
扶助費	271,696,429円	養護老人ホーム措置費								
計	271,696,429円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	39,262	40,524	43,831	40,524		
	一般財源	230,539	224,878	227,866	227,892		
	合計(A)	269,801	265,402	271,697	268,416		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,744	3,896	3,896	3,921	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,744	3,896	3,896	3,921		
	合計(A+B)	273,545	269,298	275,593	272,337		
	市民1人当たりのコスト(円)	2,878	2,857	2,924	2,898		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	養護老人ホーム入所者数	申請者に対し、適正な審査のもと措置する。	人	目標		100	100	100
				実績	96	104	98	
指標化できない成果			達成		104.0%	98.0%		

方向	継続	課題及び改善案	入所措置時は年金収入や貯金の少ない者が殆どだが、入所措置後に経済状況や身体の状態が変わることもあり、措置者の対応を考えていく必要がある。
----	----	---------	--

整理番号	(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)206老人福祉センター等維持管理経費	決算書頁
181 - 0		219

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-206-01
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	老人憩いの家管理運営経費		人権生活環境部いが まち人権センター	所長 徳地 美彦 0595-45-4482	

事務事業の概要	対象	介護予防が必要な市民		
	目的	介護予防のリハビリや健康相談、地域交流事業の場として利用することにより健康な生活が送れる。		
	内容	高齢者を主とした地域住民の生きがいの場づくりを提供するとともに、地区内外の住民が利用することにより交流を深め、健康で豊かな生活の指導推進を図りました。 看護師による健康相談及び医療健康器具を使用してリハビリによる介護予防等を行いました。 機能回復訓練への通所者 年間 6,611名		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,862,400円	業務嘱託員報酬	
	賃金	1,667,105円	業務従事者賃金	
	需用費	947,752円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	
	委託料	388,040円	保守(自動扉81,000円、消防設備71,280円) 維持(清掃185,760円、樹木剪定50,000円)	
	使用料及び賃借料	90,130円	コピー機リース料金他	
	その他経費	593,153円	共済費512,980円、役務費80,173円	
	計	5,548,580円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	5,834	5,746	5,549	5,514	
	合計(A)	5,834	5,746	5,549	5,514			
	人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
			人件費	749	780	780	785	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		749	780	780	785			
合計(A+B)	6,583	6,526	6,329	6,299				
市民1人当たりのコスト(円)			70	70	68	68		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	通所者の人数	年間通所者の人数	人	目標		9,000	9,000	7,000
				実績	7,821	7,557	6,611	
指標化できない成果			達成		84.0%	73.5%		

方向	継続	課題及び改善案	現在、利用者が減少傾向ではありますが、健康相談に応じるとともに同和問題の解決に資する介護予防施設としての利用を維持していきます。また、地域内外の交流の場としても利用を図ります。
----	----	---------	--

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 30 年度	01-03-02-01-206-51
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	こころの丘管理運営経費		大山田支所住民福祉課	課長 中 ひとみ	0595-47-1151

事務事業の概要	対象	ゲートボール愛好者及び団体、温泉利用者		
	目的	介護予防を目的としてスポーツを楽しみながら健康増進を図る		
	内容	<p>伊賀の国大山田温泉「さるびの」の施設に併設された、屋根付きゲートボール場として整備されました。高齢者がゲートボール等の活動により外出の機会とふれあう機会を持つことで、身体機能の低下を抑制したり、閉じこもりの防止を目的として作られた施設です。</p> <p>一般社団法人大山田温泉福祉公社に指定管理を委託し、温泉経営に含めた施設管理により利用者サービスを提供しています。</p> <p>平成28年度の延べ利用件数は272件、延べ利用人数は6,070人でした。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,767,000円	指定管理委託料 (一般社団法人大山田温泉福祉公社)	
	計	1,767,000円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	指定管理料(市単事業)	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	1,767	1,767	1,767		1,767
		合計(A)	1,767	1,767	1,767		1,767
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	1,767	1,767	1,767	1,767			
市民1人当たりのコスト(円)		19	19	19	19		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
指標	1日あたりの利用者数	利用者数/利用日数	人	目標	32	30	28
				実績	32	31	28
指標化できない成果			達成	96.9%	93.3%		

方向	縮小	課題及び改善案	指定管理期間 H28年度～H30年度(3年間)は一般社団法人大山田温泉福祉公社で指定管理を行っているが、指定管理機関終了後の管理運営について、さるびの温泉の管理運営にあわせて委託の計画である。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)2老人福祉費(目)1老人福祉総務費(細目)207介護保険事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-02-01-207-52
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	介護保険サービス利用者負担軽減制度事業	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 奥 幸子 0595-26-3939

事務事業の概要	対象	介護サービスを利用する低所得者										
	目的	低所得の方に対し提供した介護サービス費用を軽減する。										
	内容	<p>社会福祉法人等が、その社会的役割を鑑み、介護保険サービスの利用促進を図るため、低所得者で特に生計困難な方等に対して介護保険サービスの利用者負担額の一部を軽減した場合に、その差額の補助を行いました。</p> <p>補助実施法人数 2件 負担軽減対象利用者 10名</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>440,898円</td> <td>社会福祉法人等利用者負担軽減補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>440,898円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	440,898円	社会福祉法人等利用者負担軽減補助金	計	440,898円		
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	440,898円	社会福祉法人等利用者負担軽減補助金										
計	440,898円											

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	459	721	330	710
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	154	242	111	238
		合計(A)	613	963	441	948
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人
		人件費	2,995	2,338	2,338	2,353
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	2,995	2,338	2,338	2,353
合計(A+B)	3,608	3,301	2,779	3,301		
市民1人当たりのコスト(円)		38	36	30	36	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
指標	軽減者数	社会福祉法人が負担軽減を行った人数	人	目標	15	15	12
				実績	10	9	10
指標化できない成果			達成	60.0%	66.6%		

方向	継続	課題及び改善案	社会福祉法人としての意義を確認してもらい、積極的に低所得者に対して軽減を行ってもらうことが必要です。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)1同和行政総務費(細目)210同和行政経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-01-210-51
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	同和行政事務管理経費	人権生活環境部同和課	評価責任者・連絡先	課長 福島 照光 0595-47-1287

事務事業の概要	対象	国民的課題として部落解放を目指す団体、部落差別により、今なお生活の安定向上が阻害されている住民		
	目的	同和問題解決のための知識等が習得でき、解放のための活動が実践できる生活環境が安定、向上する。		
	内容	国民的課題として部落解放を目指す団体の育成を図りました。 助成先：部落解放同盟伊賀市協議会 主な活動内容：同和問題の解決及び人権啓発のための協議、各種研究大会、集会への参加 生活環境の改善のため、水銀灯などの施設管理、草刈業務等を実施しました。 指定管理施設の委託業務更新等の見直しをしました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費	423,547円	修繕料等施設管理経費	
	役務費	21,600円	スズメバチ駆除手数料	
	草刈業務委託料	3,530,270円	同和課 (株)エスツー建設	2,747,690円
			シルバー人材センター	289,980円
			伊賀支所 森田造園	216,000円
			前川区	156,600円
	その他経費	2,209,464円		
	計	6,184,881円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,457	6,369	6,185	6,669		
	合計(A)	6,457	6,369	6,185	6,669		
人件費	正規職員	業務量	1.08 人	1.08 人	1.08 人	1.08 人	
		人件費	8,086	8,415	8,415	8,469	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	8,086	8,415	8,415	8,469		
合計(A+B)	14,543	14,784	14,600	15,138			
市民1人当たりのコスト(円)		153	157	155	162		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	部落解放団体が活動研修会に参加した人数	小・中・高生、女性、青年、一般及び役員等の研究会及び集会への参加者数	人	目標		140	200	200
				実績	159	226	201	
指標化できない成果		達成		161.4%	100.5%			

方向	継続	課題及び改善案	草刈業務については、住民自治協議会の発足に合わせて委託できるよう協議を進めていく。施設等の修理については、地域や支所、隣保館と連絡を密にし、当初予算要求時にまとめられるようにする。部落差別解放を目指す研修会や集会へ、広く多くの市民に参加してもらい、部落解放同盟への補助金を交付する。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)1同和行政総務費(細目)210同和行政経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 25 年度～平成 29 年度	01-03-03-01-210-52
	施策	5104	同和行政の推進	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	同和施策推進計画事務経費		人権生活環境部同和課	課長 福島 照光 0595-47-1287

事務事業の概要	対象	同和地区(住民)																	
	目的	部落差別を解消し、同和問題の解決を図る																	
	内容	<p>○伊賀市同和施策審議会の開催 (7/22・2/7)</p> <p>○伊賀市同和施策推進会議設置要綱に定める作業部会の開催</p> <p>1. 生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活に困窮している世帯を対象に調査実施を検討(4/22)</p> <p>2. 市職員・教職員人権啓発同和教育作業部会(人権啓発三部打合せ会議)の開催 (6/24)</p> <p>3. 同和地区生活実態調査を実施</p>																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>84,000円</td> <td>同和施策審議会 14人×6,000円</td> </tr> <tr> <td>生活実態調査調査員報酬</td> <td>201,600円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活実態調査調査票作成委託料</td> <td>462,240円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>118,167円</td> <td>事務用消耗品ほか</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>866,007円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	84,000円	同和施策審議会 14人×6,000円	生活実態調査調査員報酬	201,600円		生活実態調査調査票作成委託料	462,240円		需用費	118,167円	事務用消耗品ほか	計	866,007円
経費	金額	摘要																	
報酬	84,000円	同和施策審議会 14人×6,000円																	
生活実態調査調査員報酬	201,600円																		
生活実態調査調査票作成委託料	462,240円																		
需用費	118,167円	事務用消耗品ほか																	
計	866,007円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	150	3,941	867	2,261		
	合計(A)	150	3,941	867	2,261		
人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.10 人	1.10 人	1.10 人	
		人件費	7,487	8,571	8,571	8,626	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,487	8,571	8,571	8,626		
	合計(A+B)	7,637	12,512	9,438	10,887		
市民1人当たりのコスト(円)			81	133	101	116	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	同和関連施策の検討数	検討件数により計画の進捗がわかる	件数	目標		165	165	165
				実績	165	165	165	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>さまざまな困難や課題を持つ市民が広く市内に点在しているが、そのような市民は同和地区に集中している。そのため、同和地区に集中する現象を把握することで、そうした困難や課題を解決する手段や手法を探る手掛りとなり、その結果、同和地区のみならず、市内に点在する同様の困難や課題を持つ市民をも同時に救済を図ることが可能と考えられる。</p>
----	---

整理番号
186 - 0

決算書頁
221

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)1同和行政総務費(細目)211福祉資金貸付事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-01-211-51
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	福祉資金貸付事業	人権生活環境部同和課	評価責任者・連絡先	課長 福島 照光 0595-47-1287

事務事業の概要	対象	福祉資金の貸付を受けた者														
	目的	償還金の完済を促進														
	内容	福祉資金貸付金の滞納者に対し、納付相談や集金業務、督促状や催告書の発送および電話や訪問、弁護士による督促業務を実施しました。 また、伊賀市福祉資金貸付事業基金への積立を実施しました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>38,904円</td> <td>消耗品費、燃料費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>3,365円</td> <td>口座振替手数料</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>3,992,695円</td> <td>福祉資金貸付事業基金積立金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,034,964円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	38,904円	消耗品費、燃料費	役務費	3,365円	口座振替手数料	積立金	3,992,695円	福祉資金貸付事業基金積立金	計	4,034,964円
経費	金額	摘要														
需用費	38,904円	消耗品費、燃料費														
役務費	3,365円	口座振替手数料														
積立金	3,992,695円	福祉資金貸付事業基金積立金														
計	4,034,964円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	3,904	3,662	4,035	3,519		
	一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	3,904	3,662	4,035	3,519		
	人件費	正規職員	業務量 0.58 人	0.58 人	0.58 人	0.58 人	
		人件費	4,343	4,519	4,519	4,548	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	4,343	4,519	4,519	4,548	
		合計(A+B)	8,247	8,181	8,554	8,067	
		市民1人当たりのコスト(円)	87	87	91	86	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	滞納件数		滞納者への督促等を実施することで滞納件数を減らす	件	目標	297	292	300
					実績	302	297	292
	指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	借受人のみならず連帯保証人に対してもより一層督促を実施することで、債務を認識させ、貸付金の返済に繋げる。また、借受人および連帯保証人の高齢化が進み、生活困窮者が多く、返済困難な状況に陥っている滞納者も増えていることから、債務免除や債権放棄についても検討する。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-212-01
	施策	5104	同和行政の推進		
事務事業名	八幡町市民館管理経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部八幡町市民館	
				評価責任者・連絡先 館長 南 一朗 0595-23-3157	

事務事業の概要	対象	八幡地域住民を中心とする市民		
	目的	地域住民の社会的生活の向上並びに社会福祉の増進を図り、人権・同和問題の速やかな解決に資する		
	内容	<p>(1)維持管理業務:隣保館の基本的方針に基づいた諸事業を計画的に実施するために、諸施設(八幡町・久米町・木興町市民館及び第1～第6生活館)運営、維持管理を図り、諸経費の節約に努めました。維持管理では特に、老朽化に伴う空調設備改修工事を実施しました。 【施設の利用者数】 八幡町市民館:6,470人、久米町市民館:1,840人、木興町市民館:1,072人、第1～6生活館:1,321人</p> <p>(2)各種相談業務:地域住民の生活や住宅問題、教育などの相談に応じ、関係機関と密接に連絡をとり、各種制度の活用や助言指導を行いました。 【各種相談件数】 八幡町市民館: 903件、久米町市民館: 8件、木興町市民館: 16件</p> <p>(3)相談事業:地域住民からの相談にあたる生活相談員を配置し、生活向上と福祉増進を図りました。 【相談員相談件数】 2件</p> <p>(4)地域交流促進事業:地域住民の要望に応じて、休日も市民館を開館し、教室や行事を実施することで、地域内外の住民の交流を図り、教育文化向上に努めました。休日開館回数:4回</p> <p>(5)収納事務:市営住宅と水道の使用料や諸制度にかかる償還金の収納事務を行いました。 市営住宅使用料:2,340件、水道使用料:316件、福祉資金償還金:48件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	8,993,440円	業務嘱託員報酬(生活相談員ほか)	
	共済費	1,211,930円	業務嘱託職員保険料	
	旅費	72,880円	全国隣保館研修会ほか	
	需用費/消耗品費	131,538円	施設管理用品、トナー、事務用品ほか	
	燃料費	110,061円	冷暖房用燃料代、公用車用燃料代	
	光熱水費	1,700,489円	電気料金、ガス料金、水道料金	
	その他経費	1,790,458円		
	計	14,010,796円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	14,839	8,042	
		地方債	2,300	0	0	0	
		その他	118	73	103	109	
		一般財源	7,711	7,547	6,042	7,327	
		合計(A)	24,968	15,662	14,011	15,556	
	人件費	正規職員	業務量	0.83 人	0.83 人	0.83 人	0.88 人
人件費			6,215	6,467	6,467	6,901	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	6,215	6,467	6,467	6,901	
		合計(A+B)	31,183	22,129	20,478	22,457	
		市民1人当たりのコスト(円)	329	235	218	239	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設利用者数	八幡町・久米町・木興町市民館及び第1～6生活館の利用者延べ人数	人	目標		12,000	12,000	11,000
				実績	12,008	10,952	10,703	
	指標化できない成果		達成		91.3%	89.1%		

方向	継続	課題及び改善案	これまでの事業を継続して行っていくことで、来館者のニーズに応えられると思われる。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-212-02
	施策	5104	同和行政の推進		
	事務事業名	下郡市民館管理経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部下郡市民館
				評価責任者・連絡先 館長 奥井 直司 0595-37-0558	

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	人権・同和問題の早期解決のための地域拠点として市民館を管理運営すること		
	内容	伊賀市隣保館条例に基づき、人権・同和問題の速やかな解決の促進に資する事業の実施拠点として、地域住民、特に高齢者を中心に、社会福祉の推進や世代間交流・趣味・生きがい活動を行う社会福祉事業について、効果的な運営管理を行いました。また、施設の整備、修繕、保守点検等、各種団体からの市民館利用の促進に努めました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	共済費	220,852円	事務補助員保険料	
	賃金	1,423,520円	事務補助員賃金	
	需用費	1,044,078円		
	役務費	114,700円		
	委託料	187,606円	(窓ガラス清掃業務委託 下郡 広栄サービス 廣岡潤)他	
	工事請負費	6,934,680円	地方改善施設整備事業 トイレ他改修工事	
	その他	238,208円	旅費・使用料及び賃借料・負担金、補助及び交付金	
	計	10,163,644円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	1,182	7,055	
	地方債	3,600	1,800	1,600	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,763	2,297	2,204	1,938		
	合計(A)	7,545	11,152	10,164	3,168		
	人件費	正規職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	7,487	7,791	7,791	7,841	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費					
		小計(B)	7,487	7,791	7,791	7,841	
		合計(A+B)	15,032	18,943	17,955	11,009	
		市民1人当たりのコスト(円)	159	201	191	118	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	教室・学習会・講演会等の参加者数	地域住民・周辺住民を含めた延べ参加者を指標とする	%	目標		2,900	2,900	2,900
				実績	3,027	2,827	2,627	
指標化できない成果			達成		97.5%	90.6%		

方向	継続	課題及び改善案	高齢化社会が続く中で、市民館とコミュニティーの関わりをどのように進めるのかを検討する必要があります。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-212-03
	施策	5104	同和行政の推進		
事務事業名	寺田市民館管理経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部寺田市民館	評価責任者・連絡先 館長 上島 邦彦 0595-23-8728

事務事業の概要	対象	寺田地区住民及び中瀬地域住民を中心とする市民		
	目的	人権意識向上に向けた事業展開を図る拠点施設としての管理運営		
	内容	<p>地区住民の各種の講座や教室への参加、人権を主題とする催事への参加促進を行い、人権の交流を通して部落問題への理解を深めるための事業展開を図る拠点施設として、多数の地区内外の住民が最適な状態で館利用ができるよう管理運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備修繕・保守点検等 ・予算の適正な執行と諸経費の削減 ・各団体関係者の館利用 <p>(隣保館管理運営費補助金 補助対象経費×3/4) (寺田区(民)・周辺区(民)・寺田支部・城東中学校区保育園・小中学校・館各種教室・人権研修・上同研等)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,651,200円	業務嘱託員報酬 1名	
	共済費	228,032円	業務嘱託員保険 1名	
	需用費	1,338,596円	電気、水道	
	委託料	536,922円	消防・自家用電気・浄化槽・健康器具	
	その他	456,808円	旅費(三隣協研修会) 4,400円 役務費(電話) 138,576円 など	
	計	4,211,558円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	46,786	567	
	地方債	17,400	0	0	0		
	その他	2	0	0	0		
	一般財源	5,838	4,001	3,615	3,793		
	合計(A)	70,026	4,568	4,212	4,441		
人件費	正規職員	業務量	1.85 人	1.85 人	1.85 人	1.85 人	
		人件費	13,851	14,414	14,414	14,506	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	13,851	14,414	14,414	14,506		
	合計(A+B)	83,877	18,982	18,626	18,947		
	市民1人当たりのコスト(円)	883	202	198	202		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	来館者数	市民館を利用した人数	人	目標		5,200	5,250	5,300
				実績	5,027	4,103	6,577	
	指標化できない成果		達成		78.9%	125.2%		

方向	継続	課題及び改善案	生産年齢層における館利用(事業提供)を促進するために、事業実施時間等の検討を行います。館施設利用を増加することは、事業展開の意義・目的を周知でき、また課題解決の取り組みにも反映でき、成果については地区住民の生活改善及び市民の人権意識の向上を目指していきます。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-212-04
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	まえがわ隣保館管理経費	人権生活環境部いが まち人権センター	評価責任者・連絡先	所長 徳地 美彦 0595-45-4482

事務事業の概要	対象	前川地区住民及びいがまち地域住民を中心とする市民																				
	目的	隣保館事業対象地域住民及び市民が安心して施設を利用できるように管理する。																				
	内容	<p>人権交流を通じて部落問題への理解を深めるための拠点施設として多数の地区内外の住民が利用できる施設として管理運営を行いました。</p> <p>生活相談事業を中心に、地区住民の生活向上のための課題解決、さらに、隣保館事業の円滑な運営を実施しました。</p> <p>生活相談員(2級ホームヘルパー取得者)を配置し、部落差別の結果における生活福祉相談を日常的実施しました。</p> <p>生活福祉相談(214件)、就労相談(18件)、人権相談(11件)。</p>																				
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>4,350,000円</td> <td>業務嘱託員報酬</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>144,000円</td> <td>事業推進報償費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>2,372,647円</td> <td>消耗品費521,390円、燃料費345,842円 光熱水費1,202,002円、修繕料他303,413円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,095,336円</td> <td>保守(自動扉、電気設備、消防設備:355,104円) 維持(清掃業務740,232円)</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>1,655,952円</td> <td>共済費、旅費、役務費、使用料及び賃借料、負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,617,935円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	4,350,000円	業務嘱託員報酬	報償費	144,000円	事業推進報償費	需用費	2,372,647円	消耗品費521,390円、燃料費345,842円 光熱水費1,202,002円、修繕料他303,413円	委託料	1,095,336円	保守(自動扉、電気設備、消防設備:355,104円) 維持(清掃業務740,232円)	その他経費	1,655,952円	共済費、旅費、役務費、使用料及び賃借料、負担金	計	9,617,935円
経費	金額	摘要																				
報酬	4,350,000円	業務嘱託員報酬																				
報償費	144,000円	事業推進報償費																				
需用費	2,372,647円	消耗品費521,390円、燃料費345,842円 光熱水費1,202,002円、修繕料他303,413円																				
委託料	1,095,336円	保守(自動扉、電気設備、消防設備:355,104円) 維持(清掃業務740,232円)																				
その他経費	1,655,952円	共済費、旅費、役務費、使用料及び賃借料、負担金																				
計	9,617,935円																					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	3,080	3,088	3,022	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,056	6,985	6,596	6,665		
	合計(A)	10,136	10,073	9,618	9,782		
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
			人件費	7,487	7,791	7,791	7,841
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	7,487	7,791	7,791	7,841	
		合計(A+B)	17,623	17,864	17,409	17,623	
		市民1人当たりのコスト(円)	186	190	185	188	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各相談事業利用者数	隣保館事業の円滑な運営が図れる。	人	目標		160	160	200
				実績	161	195	243	
指標化できない成果			達成		121.9%	151.9%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>事業展開の意義、目的を地区内外の住民に周知するためには多くの人が隣保館の利用することが必要であり、また、そのことにより、地区住民の生活改善及び市民の人権意識の向上に努めます。</p>
----	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-212-05
	施策	5104	同和行政の推進		
事務事業名	ライトピア管理経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先	
			人権生活環境部ライトピアおおやまだ	館長 比口 博 0595-47-1160	

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	来館者が安心して施設を利用できるようにする。		
	内容	<p>・安全に施設利用できるよう施設の点検・修繕を的確に実施し、管理に努める。</p> <p>消防設備点検 年2回 防火対象物点検 3年に1回 水質検査 年1回 浄化槽点検 年4回 浄化槽点検(11条関係) 年1回 浄化槽清掃 年1回 日常清掃 随時</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	3,138,191円	嘱託員報酬	
	共済費	487,514円	嘱託員保険料	
	需用費	1,070,693円	光熱水費等	
	役務費	127,030円	電話料金等	
	委託料	311,920円	消防設備点検、浄化槽点検等	
	使用料及び賃借料	860,536円	駐車場土地賃借料等	
	その他	115,146円		
	計	6,111,030円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	2,645	2,709	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	6,838	6,970	3,467	3,902	
		合計(A)	6,838	6,970	6,112	6,611	
	人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人
			人件費	1,872	1,948	1,948	1,961
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	1,872	1,948	1,948	1,961	
合計(A+B)	8,710	8,918	8,060	8,572			
市民1人当たりのコスト(円)		92	95	86	92		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
施設稼働率	使用実績数(日数)÷使用可能日数(土日祝除く開館日数)×100	%	目標		100.0	100.0
			実績	107.7	111.1	104.1
指標化できない成果	事故・老朽化・災害などで壊れた施設・車両の修繕	達成		111.1%	104.1%	

方向	改善	課題及び改善案	平成30年で建物の耐久年数22年が経過しますので、経過後の修繕等を検討していく必要があります。
----	----	---------	---

整理番号
192 - 0

決算書頁
221

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-212-06
	施策	5104	同和行政の推進		
	事務事業名	青山文化センター隣保館管理経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部青山文化センター
				評価責任者・連絡先 所長 伊藤 由久 0595-55-2411	

事務事業の概要	対象	隣保館事業対象地域住民及び市民		
	目的	隣保館事業対象地域住民及び市民が安心して施設を利用できるように管理する。		
	内容	<p>地域社会において、住民等の人権意識の高揚を図るとともに、その社会福祉の充実及び教育・文化の向上を目的とする住民交流の拠点として、安全かつ快適に利用されるよう定期的な保守点検や清掃を行い、施設・設備等の適正管理に努めました。</p> <p>(1)浄化槽清掃等保守点検を4回実施しました。(若山左官) (2)消防用設備等点検を2回実施しました。(榛原防災センター) (3)防火対象物点検を1回実施しました。(榛原防災センター) (4)昇降機保守点検を12回実施しました。(株)日立ビルシステム中部支社) (5)施設清掃業務を2回実施しました。(ハウスクエアACT) (6)施設周辺草刈業務を2回実施しました。(伊賀市老川老人クラブ)</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	業務嘱託員報酬	2,035,920円	生活相談員(1名)	
	業務嘱託員保険料	305,397円	生活相談員(1名)	
	事務補助員賃金	1,027,132円	臨時職員(1名)	
	消耗品費	183,291円	管理用消耗品	
	燃料費	181,488円	ガス代、公用車ガソリン代 他	
	施設設備保守点検委託料	599,400円	昇降機保守点検業務 他	
	その他	1,352,238円	旅費、光熱水費、修繕料、手数料 他	
	計	5,684,866円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	3,022	3,029	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	16	16	31	16	
		一般財源	3,055	2,770	2,694	2,674	
		合計(A)	6,093	5,815	5,685	5,720	
	人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	0.50 人	0.50 人
人件費			14,974	15,582	3,896	3,921	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	14,974	15,582	3,896	3,921	
	合計(A+B)	21,067	21,397	9,581	9,641		
		市民1人当たりのコスト(円)	222	227	102	103	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	来館者数	各教室及び児童館関係を除いた来館者数の合計	人	目標		3,000	3,000	3,000
				実績	2,752	2,772	2,526	
	指標化できない成果		達成		92.4%	84.2%		

方向	改善	課題及び改善案 施設を利用される地域住民の高齢化が著しい中、社会活動を支援する拠点施設としても、より一層、安全で快適に利用してもらえよう対応する必要がある。 また、地域住民の高齢化に伴い発生しているさまざまな問題に関係部署と連携して対応していかなければならない。
----	----	---

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)212隣保館管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-03-02-212-01
	施策	5104 同和行政の推進		
事務事業名	八幡町市民館管理経費(繰越明許費分)		担当部署 人権生活環境部八幡町市民館	評価責任者・連絡先 館長 南 一朗 0595-23-3157

事務事業の概要	対象	八幡地域住民を中心とする市民		
	目的	地域住民の生活の向上並びに社会福祉の増進を図り、人権・同和問題の速やかな解決に資する		
	内容	<p>(1)維持管理業務:隣保館の基本的方針に基づいた諸事業を計画的に実施するために、諸施設(八幡町・久米町・木興町市民館及び第1～第6生活館)運営、維持管理を図り、諸経費の節約に努めました。維持管理では特に、老朽化に伴う空調設備改修工事を実施しました。</p> <p>【施設の利用者数】 八幡町市民館:6,470人、久米町市民館:1,840人、木興町市民館:1,072人、第1～6生活館:1,321人</p> <p>(2)各種相談業務:地域住民の生活や住宅問題、教育などの相談に応じ、関係機関と密接に連絡をとり、各種制度の活用や助言指導を行いました。</p> <p>【各種相談件数】 八幡町市民館:903件、久米町市民館:8件、木興町市民館:16件</p> <p>(3)相談事業:地域住民からの相談にあたる生活相談員を配置し、生活向上と福祉増進を図りました。</p> <p>【相談員相談件数】 2件</p> <p>(4)地域交流促進事業:地域住民の要望に応じて、休日も市民館を開館し、教室や行事を実施することで、地域内外の住民の交流を図り、教育文化向上に努めました。休日開館回数:4回</p> <p>(5)収納事務:市営住宅と水道の使用料や諸制度にかかる償還金の収納事務を行いました。 市営住宅使用料:2,340件、水道使用料:316件、福祉資金償還金:48件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	12,939,040円	市民館空調設備改修工事費	
	計	12,939,040円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		業務量	人						
事業費	直接事業費	国県支出金			13,482	9,625		隣保館整備事業補助金 9,625,000円 隣保館整備事業 3,000,000円	
		地方債			4,200	3,000			
		その他			0	0			
		一般財源			295	315			
		合計(A)			0	17,977	12,940		0
	人件費	正規職員	業務量	人	0.00	0.00	0.00		人
			人件費		0	0	0		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		人
			人件費						
		小計(B)			0	0	0		0
合計(A+B)			0	17,977	12,940	0	0		
市民1人当たりのコスト(円)				0	191	138	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設利用者数	八幡町・久米町・木興町市民館及び第1～6生活館の利用者延べ人数	人	目標		12,000	12,000	11,000
				実績	12,008	10,952	10,703	
指標化できない成果			達成		91.3%	89.1%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-51
	施策	5104	同和行政の推進		
事務事業名	八幡町市民館事業経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部八幡町市民館	
				評価責任者・連絡先 館長 南 一朗 0595-23-3157	

事務事業の概要	対象	八幡地域住民を中心とする市民		
	目的	より多くの地域住民が市民館行事に参加し、福祉の向上や交流をはかる。		
	内容	<p>(1)やはた文化祭:地区内の保・小・中の学習発表や地区住民の各種教室の発表の場を設け、併せて各種イベントを実施しました。また、周辺地域住民との交流も図れました。文化祭参加人数:500名</p> <p>(2)青年・高校生の反差別活動を支援:差別に立ち向かうための青年・高校生の活動を支援しました。</p> <p>【活動内容】地区の小・中学生、高校生および青年が一同に会し、地域の人と人とのつながりの中で、差別に負けない仲間づくりを行いました。夏まつり、オータムフェスタ、クリーン作戦等</p> <p>(3)啓発活動:毎月定期的に「市民館だより」を発行し、同和問題の地域内啓発に努めました。毎月760部発行</p> <p>(4)地域交流支援事業:地域住民の要望に添った教室・講座を開設し、地域内外の住民の交流を図り、教育文化の向上に努めました。</p> <p>【八幡町市民館で開設した教室・講座】 パソコン教室(Aグループ・Bグループ)、子どもパソコン教室、太極拳教室、健康教室、子ども料理教室、老人クラブカラオケ教室、ガーデニング教室 合計実施回数68回 延べ参加者数389人。</p> <p>【久米町市民館で開設した教室・講座】 藤手芸教室 合計実施回数8回 延べ参加者数31人。</p> <p>【木興町市民館で開設した教室・講座】 3B体操教室 合計実施回数8回 延べ参加者数41人。</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	620,800円	各教室講師謝礼	
	需用費/消耗品費	498,728円	教室、市民館だより用紙、事業等教材	
	燃料費	3,240円	文化祭ほか事業用ガス代	
	食糧費	2,109円	青年育成活動用湯茶代	
	修繕料	9,720円	パソコン修繕	
	役務費/通信運搬費	49,248円	インターネット回線使用料	
	その他経費	70,200円		
	計	1,254,045円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	792	765	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,136	762	490	820		
	合計(A)	1,928	1,527	1,255	1,294		
人件費	正規職員	業務量	1.43 人	1.43 人	1.43 人	1.03 人	
		人件費	10,707	11,142	11,142	8,077	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	10,707	11,142	11,142	8,077		
	合計(A+B)	12,635	12,669	12,397	9,371		
	市民1人当たりのコスト(円)	133	135	132	100		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	教室・講座参加者数	開催した教室・講座への参加者延べ人数	人	目標		800	400	500
				実績	918	779	461	
指標化できない成果			達成		97.4%	115.3%		

方向	継続	課題及び改善案	これまでの事業を継続して行っていくことで、利用者のニーズに応えられると思われる。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-52
	施策	5104	同和行政の推進		
事務事業名	下郡市民館事業経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部下郡市民館	
				評価責任者・連絡先 館長 奥井 直司 0595-37-0558	

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	地区住民と周辺住民との交流を促進する事などにより、人権・同和問題を解決すること		
	内容	<p>伊賀市隣保館条例に基づき、人権・同和問題の速やかな解決の推進に資する事業の実施拠点として、地域住民、特に高齢者を中心に社会福祉の推進や趣味、生きがいとなるような活動を行う社会福祉施設として、以下の事業を行いました。</p> <p>1. 水墨画・女性学習・民謡・生け花などの教室・講座・学習会を開催しました。 また、高齢者への健康管理の訪問や各種相談業務を実施しました。(教養講座室 78回 535人・保健衛生室 79回 418人・生活改善室 4回 65人・多目的室 77回 426人・2階ホール 70回 1,183人)</p> <p>2. 市民館だよりを月1回発行し、市民館・上野南中学校・依那古小学校・依那古第2保育所等の情報発信・人権問題の啓発と地区内外の情報共有を行いました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	792,000円	講座・教室講師謝金	
	消耗品費	53,307円		
	食料費	840円		
	事業用備品購入費	24,412円		
	計	870,559円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	396	364	393	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	597	546	478	498		
	合計(A)	993	910	871	828		
人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	7,487	7,791	7,791	7,841	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費					
	小計(B)	7,487	7,791	7,791	7,841		
	合計(A+B)	8,480	8,701	8,662	8,669		
		市民1人当たりのコスト(円)	90	93	92	93	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	教室・学習会・講演会等の参加者数	地域住民・周辺住民を含めた延べ参加者数を指標とする	%	目標		2,900	2,900	2,900
				実績	3,027	2,827	2,627	
指標化できない成果			達成		97.5%	90.6%		

方向	継続	課題及び改善案	人権課題の解決を図る上で、地域住民の主体的な取組を促進する必要があります。
----	----	---------	---------------------------------------

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-53
	施策	5104	同和行政の推進		
	事務事業名	寺田市民館事業経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部寺田市民館
				評価責任者・連絡先 館長 上島 邦彦 0595-23-8728	

事務事業の概要	対象	寺田地区住民及び中瀬地域住民を中心とする市民														
	目的	人権問題を解消するための講座・教室・相談業務等の実施														
	内容	<p>・文化祭やパソコン・カラオケ・生花・防犯・寄せ植え・陶芸教室を開設し、教養文化や人権意識を高めるとともに、地区内外住民の交流を深め、正しい部落問題の認識を培いました。</p> <p>・人権同和問題講演会や市民館便りを月1回発行し、福祉や人権についての事業の広報、館行事の周知、定期的な「じんけん」パネル展(平日と月3回夜間延長)の開催を実施し、人権・同和問題について広く啓発しました。</p> <p>・日常的にヘルストロンの利用を促し、住民の健康維持管理を行いました。また、健康相談と健康づくりの会では、定期的に健康相談と血圧・体脂肪測定・尿検査を実施し、健康の保持増進を行いました。</p> <p>・週1回、見守り巡回事業を行い、高齢者の見守り支援を行いました。(51回・延べ599人)</p> <p>・生活・福祉・環境・就労等の相談業務を実施し、課題解決を図りました。</p> <p>【相談業務:94件】 子育て相談:2件 生活・福祉相談:56件 就労相談:1件 人権相談:3件 健康相談:5件 その他相談:27件 (隣保館事業費補助金・県単・補助対象経費×1/2)</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>430,000円</td> <td>パソコン・カラオケ・生花等教室講師</td> </tr> <tr> <td>使用料及び借上料</td> <td>343,262円</td> <td>福祉車両リース料</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>605,942円</td> <td>研修会旅費・需用費(各種教室消耗品費等) 役務費・使用料及び賃借料等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,379,204円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	430,000円	パソコン・カラオケ・生花等教室講師	使用料及び借上料	343,262円	福祉車両リース料	その他	605,942円	研修会旅費・需用費(各種教室消耗品費等) 役務費・使用料及び賃借料等	計	1,379,204円
経費	金額	摘要														
報償費	430,000円	パソコン・カラオケ・生花等教室講師														
使用料及び借上料	343,262円	福祉車両リース料														
その他	605,942円	研修会旅費・需用費(各種教室消耗品費等) 役務費・使用料及び賃借料等														
計	1,379,204円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	512	504	486	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	37	42	43	42		
	一般財源	869	870	851	791		
	合計(A)	1,418	1,416	1,380	1,270		
人件費	正規職員	業務量	2.14 人	2.14 人	2.14 人	2.14 人	
		人件費	16,023	16,673	16,673	16,780	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	16,023	16,673	16,673	16,780		
	合計(A+B)	17,441	18,089	18,053	18,050		
	市民1人当たりのコスト(円)	184	192	192	193		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	来館者数	市民館を利用した人数	人	目標		5,328	5,250	5,300
				実績	5,027	1,025	6,577	
	指標化できない成果		達成		78.9%	125.2%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>生産年齢層における館利用(事業提供)を促進するために、事業実施時間等の検討を行います。館施設利用を増加することは、事業展開の意義・目的を周知でき、また課題解決の取り組みにも反映でき、成果については地区住民の生活改善及び市民の人権意識の向上を目指していきます。</p>
----	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-54
	施策	5104	同和行政の推進		
	事務事業名	まえがわ隣保館事業経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部いが まち人権センター
				評価責任者・連絡先 所長 徳地 美彦 0595-45-4482	

事務事業の概要	対象	前川地区住民及びいがまち地域住民を中心とする市民																										
	目的	部落問題を解決するための講座,教室の実施及び相談業務等により課題解決を行う																										
	内容	①外出支援事業・外出支援員を配置、70歳以上の高齢者対象に公共施設や病院等への送迎業務を実施しました(243日:874名) ②総合健康相談事業・准看護師資格者を月6回配置、70歳以上の独居高齢者を対象に訪問し、病気予防及び健康管理指導や安否確認を行いました(88回:301名) ③配食サービス事業・地区内の女性の支援を受け70歳以上の独居高齢者を対象に毎月1回健康食を配食するとともに安否の確認を行いました(10回:129名) ④ミニディサービス事業・70歳以上の高齢者を対象に毎月1～2回健康教室や創作活動を行い、生きがい対策と社会参加への促進を図りました(19回:494名) ⑤解放講座事業・市民を対象に人権学習の場として「しらさぎ識字学級25周年を迎えて」をテーマに4講座を開催しました(536名) ⑥人権情報誌の発行事業・地区住民を対象に事業開催予定及び人権情報などを掲載し、事業参加の促進と人権文化の構築を図ることを目的に発行しました(発行:12回) ⑦各種教室の開設事業・英語教室(26回:741名)、パソコン教室(35回:263名)、つげっこ塾(61回:635名)を開催しました。																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>2,059,920円</td> <td>業務嘱託員報酬</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>3,604,328円</td> <td>事業推進報償費</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>57,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>600,570円</td> <td>消耗品533,436円、印刷製本67,134円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>320,000円</td> <td>講演委託料</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>650,314円</td> <td>自動車借上料等</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助金及び交付金</td> <td>20,500円</td> <td>研修会等参加負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,312,632円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	2,059,920円	業務嘱託員報酬	報償費	3,604,328円	事業推進報償費	旅費	57,000円		需用費	600,570円	消耗品533,436円、印刷製本67,134円	委託料	320,000円	講演委託料	使用料及び賃借料	650,314円	自動車借上料等	負担金、補助金及び交付金	20,500円	研修会等参加負担金	計	7,312,632円
経費	金額	摘要																										
報酬	2,059,920円	業務嘱託員報酬																										
報償費	3,604,328円	事業推進報償費																										
旅費	57,000円																											
需用費	600,570円	消耗品533,436円、印刷製本67,134円																										
委託料	320,000円	講演委託料																										
使用料及び賃借料	650,314円	自動車借上料等																										
負担金、補助金及び交付金	20,500円	研修会等参加負担金																										
計	7,312,632円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	1,250	1,406	1,642	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	6,599	5,933	5,671	5,547		
	合計(A)	7,849	7,339	7,313	7,030		
人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費	14,974	15,582	15,582	15,682	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,974	15,582	15,582	15,682		
	合計(A+B)	22,823	22,921	22,895	22,712		
	市民1人当たりのコスト(円)	241	244	243	242		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	隣保館内事業参加数	地域住民・周辺住民を含めた延べ参加人数を指標とする	人	目標		7,800	7,800	7,900
				実績	7,637	7,922	7,917	
指標化できない成果			達成		101.6%	101.5%		

方向	継続	課題及び改善案	より多くの人が事業に参加できるように内容の検討を行っています。事業展開の意義目的を地区内外の住民に周知する必要があります。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-55
	施策	5104 同和行政の推進		
事務事業名	ライトピア事業経費	担当部署	部・課名等 人権生活環境部ライトピアおおやまだ	評価責任者・連絡先 館長 比口 博 0595-47-1160

事務事業の概要	対象	市民																				
	目的	部落差別の解消																				
	内容	<p>1. 啓発および広報活動事業の実施 人権大学講座では、歴史や部落問題の法的な位置づけ、部落問題の現状等について学びました。その他、交流事業や健康相談などさまざまな事業を行いました。</p> <p>①人権大学講座の開講 連続講座 8回 のべ274人 修了生研修 1月18日 受講者数 39人 ②人権フェスティバルの開催 7月8日 参加者数 78人 ③ライトピアだよりの発行 年11回</p> <p>2. 地域福祉事業の実施 保健師を招いて健康チェックを行なう健康相談のほか、独居高齢者世帯の巡回訪問等を行いました。</p> <p>①巡回相談の実施 毎週木曜日 訪問回数 47回 274人 ②健康相談の実施 毎月第1金曜日 参加者数 86人</p> <p>3. 地域交流事業の実施 周辺地域との交流に積極的に取り組みました。</p> <p>①識字交流会「なかよし・もみじ会」の実施 年12回 参加者数 110人 ②梅まつりの実施 2月24日 参加者数 130人</p>																				
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>1,087,270円</td> <td>各講座の講師謝金</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>10,500円</td> <td>人権大学講座旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>342,289円</td> <td>広報誌用紙、カウンター料金、各講座消耗品</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>212,120円</td> <td>人権大学講座・なかよし・もみじ会バス借上げ料金・複写機リース</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>12,398円</td> <td>電気ポット</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,664,577円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	1,087,270円	各講座の講師謝金	旅費	10,500円	人権大学講座旅費	需用費	342,289円	広報誌用紙、カウンター料金、各講座消耗品	使用料及び賃借料	212,120円	人権大学講座・なかよし・もみじ会バス借上げ料金・複写機リース	備品購入費	12,398円	電気ポット	計	1,664,577円	
経費	金額	摘要																				
報償費	1,087,270円	各講座の講師謝金																				
旅費	10,500円	人権大学講座旅費																				
需用費	342,289円	広報誌用紙、カウンター料金、各講座消耗品																				
使用料及び賃借料	212,120円	人権大学講座・なかよし・もみじ会バス借上げ料金・複写機リース																				
備品購入費	12,398円	電気ポット																				
計	1,664,577円																					

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	868	847	776	667
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,109	1,226	889	1,291
		合計(A)	1,977	2,073	1,665	1,958
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
		人件費	7,487	7,791	7,791	7,841
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人
		人件費				
		小計(B)	7,487	7,791	7,791	7,841
合計(A+B)	9,464	9,864	9,456	9,799		
市民1人当たりのコスト(円)		100	105	101	105	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	主要な講座・講演会への参加者数	人	目標		1,090	1,090
			実績	997	852	991
指標化できない成果		達成		78.2%	90.9%	

方向	改善	課題及び改善案	人権同和教育が根付いたことで、部落差別はいけないうことであるという意識の浸透がみられますが、施設の立地条件や交通手段、少子化や高齢化の要因で参加者数が減少しているという問題を、いかに改善していくかが今後の事業実施のうえでの課題です。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	51 あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-56
	施策	5104 同和行政の推進		
事務事業名	青山文化センター隣保館事業経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			人権生活環境部青山文化センター	所長 伊藤 由久 0595-55-2411

事務事業の概要	対象	隣保館事業対象地域住民及び市民		
	目的	人権意識の高揚を図り、人権同和問題を始めとするあらゆる差別をなくすために取り組む人材を育成する。		
	内容	<p>同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくすため、様々な人権問題に関して講師を招いての連続講座や学習会の開催しました。また各種教室を通して、地区内外の人たちの交流事業に取り組みました。</p> <p>(1)人権・解放講座 7回開催(延べ参加者数 536人) (2)健康・栄養・介護教室 2回開催(延べ参加者数 36人) (3)伊勢型紙教室 12回開催(延べ参加者数 76人) (4)生け花教室 9回開催(延べ参加者数 34人) (5)陶芸教室 12回開催(延べ参加者数 91人) (6)手芸教室 14回開催(延べ参加者数 121人) (7)手話教室 9回開催(延べ参加者数 74人) (8)ふれあい教室 11回開催(延べ参加者数 234人)</p> <p>文化祭には約600人が来場し、日頃の活動成果の発表や、地域間、世代間の交流に寄与しました。人権・解放講座等の講演録を作成して管内世帯に配布し、啓発活動に努めました。隣保館だよりを定期発行し、地域の方へ情報発信を行いました。生活相談や職業相談等の各種相談事業を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	事業推進報償費	973,716円	人権・解放講座、各教室講師謝金	
	消耗品費	241,666円	文化祭用消耗品 他	
	印刷製本費	138,240円	文化祭チラシ・ポスター等印刷	
	自動車借上料等	99,510円	文化祭来場者送迎用バス	
	その他	91,138円	賞品、食糧費、手数料、機械器具借上料	
	計	1,544,270円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	650	628	517	465	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	1,164	1,101	1,028	1,001	
	合計(A)	1,814	1,729	1,545	1,466			
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.40 人	1.40 人	
			人件費	7,487	7,791	10,908	10,978	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		7,487	7,791	10,908	10,978			
合計(A+B)	9,301	9,520	12,453	12,444				
市民1人当たりのコスト(円)			98	101	133	133		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	各教室参加者数	各教室の延べ参加者数の合計	人	目標		764	764
				実績	680	689	666
指標化できない成果	市民等の人権意識の高揚度	達成		90.2%	87.2%		

方向	縮小	課題及び改善案
		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの人権問題に加え、これまで無かったような新たな人権問題が発生している。そのため関係機関と連携しながら情報収集に努め、対策を協議していく必要がある。 ・地域住民の高齢化に伴い発生しているさまざまな問題にも関係部署と連携して対処する。 ・教育現場や地域企業とも密接な関係性を保ち、地域と家庭だけではなく、学校や職場が一体となって取り組む社会的環境の醸成を育む。 ・教室によっては講師、参加者とも高齢化が進み、事業内容の見直しも必要に応じて検討する。

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)2隣保館費(細目)213隣保館事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 23 年度～平成 32 年度	01-03-03-02-213-57
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	隣保館交流事業経費	人権生活環境部同和課	評価責任者・連絡先	課長 福島 照光 0595-47-1287

事務事業の概要	対象	市内8隣保館の地区及び周辺地区の65歳以上の高齢者		
	目的	各地区の高齢者同士が部落問題解決を中心におきながらつながる場を提供		
	内容	部落問題の解決のため8つの隣保館が連携し、管内の65歳以上の高齢者を対象に福祉交流事業を実施しました。 各隣保館を会場に毎年輪番で開催し、開催する館の特色を生かした事業を実施しています。 平成28年度は、出し物として演芸や演奏、カラオケ大会などを実施しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	305,200円	事業企画・実施謝金	
	需用費	388,422円	消耗品費、医薬材料費ほか	
	機械器具借上料	25,077円	コンロ等借上料	
	自動車借上料	110,030円	送迎用バス借上料	
	事業用備品購入費	79,920円		
	その他経費	5,510円		
	計	914,159円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
	直接事業費	国県支出金		354	456	358	307	隣保館事業費補助金
		地方債		0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		462	501	557	455	
		合計(A)		816	957	915	762	
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)		0	0	0	0	
		合計(A+B)		816	957	915	762	
		市民1人当たりのコスト(円)		9	11	10	9	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	交流事業参加人数		参加人数を確保することで、各地区高齢者同士の交流に繋げる	人	目標		85	85
					実績	88	70	119
指標化できない成果			達成		82.4%	140.0%		

方向	継続	課題及び改善案	地域間の交流を一層深くするため、事業の開催に当たっては、毎年内容を精査していく。
----	----	---------	--

整理番号
201 - 0

決算書頁
223

(款)3民生費(項)3同和行政費(目)3共同浴場費(細目)215共同浴場維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-03-03-215-51
	施策	5104	同和行政の推進		
	事務事業名	共同浴場管理経費		担当 部署	部・課名等 人権生活環境部八幡 町市民館 評価責任者・連絡先 館長 南 一朗 0595-23-3157

事務事業の概要	対象	八幡地域住民を中心とする市民		
	目的	伊賀市民の保健衛生及び生活環境の改善向上を図ること		
	内容	市営共同浴場の適正な運営と維持管理に努めました。 入浴料は、大人200円、小人80円。 利用者数は、大人20,150人、小人803人。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費/燃料費	1,996,920円	A重油	
	光熱水費	1,644,570円	電気、水道料金	
	修繕料	511,920円	ボイラー設備ほか施設不良箇所修繕	
	委託料/施設設備保守点検委託料	762,480円	ろ過機点検業務委託料他	
	/施設管理運営委託料	5,403,600円	共同浴場管理運営委託料	
	工事請負費	3,564,000円	共同浴場施設改修工事費	
	その他経費	141,130円		
	計	14,024,620円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	4,873	4,800	4,094	4,200		
	一般財源	5,517	7,315	9,931	7,281		
	合計(A)	10,390	12,115	14,025	11,481		
	人件費	正規職員	業務量 0.53 人	0.53 人	0.53 人	0.78 人	
		人件費	3,969	4,130	4,130	6,116	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	3,969	4,130	4,130	6,116	
		合計(A+B)	14,359	16,245	18,155	17,597	
		市民1人当たりのコスト(円)	152	173	193	188	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	利用者数	共同浴場利用者の年間累計	人	目標		24,000	24,000	21,000
				実績	23,926	24,891	20,953	
	指標化できない成果		達成		103.7%	87.3%		

方向	継続	課題及び改善案	八幡まちづくり計画により、デイケア施設などとともに複合施設とすることとなっているが、時期は未定である。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)216児童福祉一般事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-216-04
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	保育所通園バス運行管理運営経費	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先 課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	保育所統合により遠距離となり、自動車通園が困難な園児及びその保護者		
	目的	通園バスを運行することで、保護者の負担軽減を図る。		
	内容	さくら保育園の通園バス2台に係る運行管理業務を委託しました。 通園バス利用園児数 15名		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	5,881,680円	運行業務委託	
	使用料及び賃借料	75,600円	自動車借上料	
	その他経費	121,273円	通園バス修繕等	
	計	6,078,553円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	7,167	8,292	6,079	6,771
		合計(A)	7,167	8,292	6,079	6,771
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人
		人件費	749	780	780	785
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	749	780	780	785
合計(A+B)	7,916	9,072	6,859	7,556		
市民1人当たりのコスト(円)		84	97	73	81	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
指標	通園バス利用児童数	通園バスを利用する児童数	人	目標	15	15	15
				実績	15	14	15
指標化できない成果			達成	93.3%	100.0%		

方向	廃止	課題及び改善案	事業開始当初と社会経済情勢が変化し、平成29年度を以って運行廃止の協議を行う。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)216児童福祉一般事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-216-51
	施策	1202 児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	女性相談事業	健康福祉部こども未来課	評価責任者・連絡先 課長 中岡 久美 0595-22-9677

事務事業の概要	対象	DVや離婚などの問題を抱える女性市民														
	目的	女性相談者が抱える問題について、適切な情報支援等を通じて解決あるいは軽減を図る。														
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・女性相談員の設置(1名) ・女性相談の窓口開設 ・相談窓口の啓発 ・DV被害者の保護及び支援 														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>2,064,000円</td> <td>女性相談員 報酬(1名分)</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>305,397円</td> <td>女性相談員 社会保険料</td> </tr> <tr> <td>その他、事務経費</td> <td>218,256円</td> <td>旅費、役務費、負担金、補助及び交付金等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,587,653円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	2,064,000円	女性相談員 報酬(1名分)	共済費	305,397円	女性相談員 社会保険料	その他、事務経費	218,256円	旅費、役務費、負担金、補助及び交付金等	計	2,587,653円
経費	金額	摘要														
報酬	2,064,000円	女性相談員 報酬(1名分)														
共済費	305,397円	女性相談員 社会保険料														
その他、事務経費	218,256円	旅費、役務費、負担金、補助及び交付金等														
計	2,587,653円															

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国庫支出金	665	665	665	児童虐待・DV対策等総合支援事業費 国庫補助金 非常勤嘱託職員(女性相談員)1名は 直接事業費に計上	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	1,661	1,769	1,923		
		合計(A)	2,326	2,434	2,588		1,985
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.48 人	0.32 人	0.32 人	
		人件費	2,995	3,740	2,494	2,510	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	2,995	3,740	2,494	2,510	
合計(A+B)	5,321	6,174	5,082	4,495			
市民1人当たりのコスト(円)		56	66	54	48		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	女性相談延件数	件	目標		243	243
			実績	466	440	568
指標化できない成果	休日・夜間の緊急対応件数	達成		181.1%	233.7%	

方向	継続	課題及び改善案	平成27年度から非常勤嘱託職員の勤務時間を増やし、サービスの充実に努めました。これにより市民の相談の機会が充実し、タイムリーにニーズをキャッチすることができるようになったので、この状態を継続する必要があります。DV相談については市の果たすべき役割が非常に大きいばかりか、ケース数の増、高度複雑化が顕著であり、児童虐待(面前暴力による心理的虐待など)での対応も必要であるため、DV・児童虐待の両方の専門性を有する総括相談員の配置に努める。
----	----	---------	--

整理番号
204 - 0

決算書頁
225

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)216児童福祉一般事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-216-53
	施策	1202	児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり		
	事務事業名	家庭児童相談事業		担当 部署	部・課名等 健康福祉部こども未来課
				評価責任者・連絡先 課長 中岡 久美 0595-22-9677	

事務事業の概要	対象	児童及びその養育者																	
	目的	子どもが安心して暮らせて、子どもの養育に対して不安を抱く人が安心して子育てができるよう支援する。																	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談員の設置(2名) ・家庭児童相談室の窓口開設 ・相談窓口の啓発 ・児童虐待への対応 ・児童虐待防止の推進、啓発 ・児童相談所や学校、保育所、保健師等と連携し、ハイリスク家庭への継続した支援 ・子育て支援短期(ショートステイ)事業の実施 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>3,489,600円</td> <td>家庭児童相談員 報酬(2名分)</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>504,236円</td> <td>家庭児童相談員 社会保険料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>77,000円</td> <td>ショートステイ事業</td> </tr> <tr> <td>その他、事務経費</td> <td>64,183円</td> <td>需用費、役務費、負担金、補助及び交付金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,135,019円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	3,489,600円	家庭児童相談員 報酬(2名分)	共済費	504,236円	家庭児童相談員 社会保険料	委託料	77,000円	ショートステイ事業	その他、事務経費	64,183円	需用費、役務費、負担金、補助及び交付金	計	4,135,019円
経費	金額	摘要																	
報酬	3,489,600円	家庭児童相談員 報酬(2名分)																	
共済費	504,236円	家庭児童相談員 社会保険料																	
委託料	77,000円	ショートステイ事業																	
その他、事務経費	64,183円	需用費、役務費、負担金、補助及び交付金																	
計	4,135,019円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	180	62	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	14	38	14		
	一般財源	3,819	4,144	1,378	1,590		
	合計(A)	3,999	4,220	4,136	4,334		
人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.42 人	0.32 人	0.32 人	
		人件費	2,995	3,273	2,494	2,510	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,995	3,273	2,494	2,510		
	合計(A+B)	6,994	7,493	6,630	6,844		
	市民1人当たりのコスト(円)	74	80	71	73		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	児童相談延件数	相談に応じることで軽減できた子どもに関する家庭が抱える問題の件数	件	目標		2,000	2,000	2,000
				実績	1,664	2,086	2,342	
指標化できない成果	相談時間		達成		104.3%	117.1%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>子育てに不安をかかえ、子育てが十分できない保護者への対応を考えると、現状維持は必要です。特に、三重県児童相談センターとの定期協議において確認されるチェック項目が高度化しており、相談員だけでなく正規職員にも専門性が非常に高く求められています。悲惨な死亡事例を出さないためにも人材育成は不可欠です。</p>
----	--

整理番号
205 - 0

決算書頁
225

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)217放課後児童対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-217-01
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	放課後児童対策事業		健康福祉部こども未来課	課長 中岡 久美 0595-22-9677	

事務事業の概要	対象	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生		
	目的	児童の健全育成と保護者の子育てと仕事との両立を図る。		
	内容	<p>学校の放課後や長期休業中に共働きなどで保護者が昼間家庭にいない小学生の児童を預かり、専任の指導員が適切な遊び及び生活の場を提供することで、児童の健全育成を図りました。</p> <p>クラブ数:19か所(16校区)、利用平均登録児童数:697名</p> <p>施設管理運営(指定管理)委託料 45,807,050円</p> <p>委託先:上野 伊賀市社会事業協会・伊賀市シルバー人材センター・新居放課後児童クラブ運営委員会(12か所) 32,842,050円</p> <p>伊賀 壬生野放課後児童クラブ運営委員会・特定非営利法人ふれあいステーション都美恵・伊賀市シルバー人材センター(3か所)5,801,000円</p> <p>島ヶ原 島ヶ原放課後児童クラブ運営委員会 1,400,000円</p> <p>阿山 阿山放課後児童クラブ運営委員会 1,700,000円</p> <p>大山田 大山田放課後児童クラブ運営委員会 2,000,000円</p> <p>青山 放課後児童クラブ「げんきクラブ」保護者会 2,064,000円</p> <p>障がい児学童保育委託料(13か所) 15,600,000円</p> <p>委託先:同上 上野(9,600,000円)、伊賀(3,600,000円)、阿山(1,200,000円)、青山(1,200,000円)</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
委託料	45,807,050円	施設管理運営委託		
	15,600,000円	障がい児学童保育業務委託		
	1,944,000円	成和東放課後児童クラブ設計業務委託		
工事請負費	19,525,320円	成和東放課後児童クラブ新築工事		
負担金、補助及び交付金	442,800円	成和東放課後児童クラブ水道加入負担金		
その他	826,443円	壬生野福祉ふれあいセンター 光熱水費・施設設備保守点検ほか		
計	84,145,613円			

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	32,518	53,922	
	地方債	2,700	7,100	4,900	0		
	その他	79	1,420	569	314		
	一般財源	18,592	21,820	20,093	21,934		
	合計(A)	53,889	84,262	84,146	63,172		
人件費	正規職員	業務量	1.96 人	1.69 人	1.67 人	1.67 人	
		人件費	14,675	13,167	13,011	13,095	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,675	13,167	13,011	13,095		
	合計(A+B)	68,564	97,429	97,157	76,267		
		市民1人当たりのコスト(円)	722	1,034	1,031	812	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	登録児童数		様々なニーズに対応できるよう整備を進め、児童の健全育成を図る。	人数	目標	660	680	710
					実績	455	652	697
指標化できない成果			達成	98.8%	102.5%			

方向	充実	課題及び改善案	小学校の統廃合を勘案しつつ、未設置校区への設置に向けて協議をすすめるとともに、既存の施設についても、利用ニーズに応じた対応を検討していく必要があります。
			平成31年度までの間にニーズに応じ全区での設置を目指します。

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-01
	施策	1202	児童虐待、障がい者虐待及びDV被害等による関係機関との支援体制づくり		
	事務事業名	子育て支援対策事業		担当部署	部・課名等 健康福祉部こども未来課
				評価責任者・連絡先 課長 中岡 久美 0595-22-9677	

事務事業の概要	対象	養護者からの虐待を受けている子ども、DVや離婚などの問題を抱える女性市民																	
	目的	支援機関でネットワークを構築し、児童虐待や女性に対する暴力を未然に防ぐ。																	
	内容	伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会を開催し、関係機関のネットワーク強化及び個別ケースの情報共有等に努めました。 ・啓発活動(市広報掲載・CATV放送・リーフレット等の配布) 【会議開催】 ・実務者会議開催回数:3回 ・ケース会議開催回数:17回																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>10,000円</td> <td>子育て支援ヘルパー事業研修講師謝金</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>13,840円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>132,231円</td> <td>消耗品費、燃料費、</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>8,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>164,071円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	10,000円	子育て支援ヘルパー事業研修講師謝金	旅費	13,840円		需用費	132,231円	消耗品費、燃料費、	負担金、補助及び交付金	8,000円		計	164,071円
経費	金額	摘要																	
報償費	10,000円	子育て支援ヘルパー事業研修講師謝金																	
旅費	13,840円																		
需用費	132,231円	消耗品費、燃料費、																	
負担金、補助及び交付金	8,000円																		
計	164,071円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	180	1,574	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	684	0	679		
	一般財源	90	315	67	1,453		
	合計(A)	270	2,573	165	5,104		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.30 人	0.57 人	0.57 人	
		人件費	3,744	2,338	4,441	4,470	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,744	2,338	4,441	4,470		
	合計(A+B)	4,014	4,911	4,606	9,574		
	市民1人当たりのコスト(円)	43	53	49	102		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	ケース検討会解決件数		開催したケース検討会議において解決(次の支援策の決定等も含む)した事案の件数	件	目標		25	25
					実績	28	30	17
指標化できない成果			達成		120.0%	68.0%		

方向	充実 課題及び改善案 児童虐待防止対策については、三重県児童相談センターが実施する研修を積極的に受講します。また、DV相談と児童虐待相談については市の果たすべき役割が非常に大きいばかりか、ケース数の増、高度複雑化が顕著であるため、DV・児童虐待の両方の専門性を有する総括相談員の配置に努める。 子育て支援基金を活用して、子育て支援ヘルパー事業を開始する。
----	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-02
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	子育て支援センター費	健康福祉部こども未来課	評価責任者・連絡先	課長 中岡 久美 0595-22-9677

事務事業の概要	対象	子育て中の保護者及び児童、子育てボランティア等		
	目的	保護者の仲間づくりや親子関係を形成することで、子育てへの意欲を高め、少子化に歯止めをかける。		
	内容	各子育て支援センターにおいて子育て相談、親子教室、季節の行事、読み聞かせ、講座、子育て講演等の子育て支援事業を実施しました。 また、情報誌を発行し各々の子育て支援センター及び、市内小児科への配布を行う中で子育て情報の共有及び提供に努めました。		
		市営:5か所(あやま子育て支援センター、いがまち子育て支援センター、青山子育て支援センター、大山田子育て支援センター、島ヶ原子育て支援センター)、民営:3か所(曙保育園すくすくらんど、ゆめが丘保育所おひさま広場、森川病院エンジェル) 計8か所 育児相談件数:延べ658人 利用組数:9,568組(22,048人)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費	323,775円	業務従事者保険料	
	賃金	17,856,710円	業務従事者賃金(常勤1人、非常勤25人、計26人)	
	報償費	760,900円	事業推進報償費	
	需用費	1,419,899円	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費・修繕料	
	役務費	358,529円	通信運搬費	
	負担金補助及び交付金	14,554,000円	地域子育て支援センター事業補助金	
	その他	328,892円	備品購入費、機械器具借上料	
計	35,602,705円			

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	23,593	23,906	23,690	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	10	15	9	15		
	一般財源	11,496	11,952	11,904	11,460		
	合計(A)	35,099	35,873	35,603	34,395		
人件費	正規職員	業務量	0.26 人	0.31 人	0.56 人	0.56 人	
		人件費	1,947	2,416	4,363	4,391	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,947	2,416	4,363	4,391		
合計(A+B)	37,046	38,289	39,966	38,786			
市民1人当たりのコスト(円)		390	407	424	413		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	センター利用者数	保護者の子育てへの意欲を高め、孤独感や不安感を減らす。	人	目標		22,000	23,000	23,000
				実績	20,828	22,767	22,048	
指標化できない成果			達成		103.5%	95.9%		

方向	改善	課題及び改善案 市営の5か所(あやま子育て支援センター、いがまち子育て支援センター、青山子育て支援センター、大山田子育て支援センター、島ヶ原子育て支援センター)については利用者の状況や事業内容を精査する中で、より有効的に機能する体制について検討します。
----	----	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 24 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-03
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	子育て包括支援センター費	健康福祉部こども未来課	評価責任者・連絡先	課長 中岡 久美 0595-22-9677

事務事業の概要	対象	子育て中の保護者及び児童、子育てサークル、子育てボランティア等																							
	目的	子育て支援事業の実施、情報の収集、サークル支援、子育てサポーターやボランティアの育成、交流の場の提供																							
	内容	<p>子育て包括支援センター独自の子育て支援講座(キラキラ事業)の実施及び、プレイルームの開放による子育て支援を実施しました。 講座参加者:延べ1,829組 プレイルーム開放参加者:延べ7,261組</p> <p>地域全体で子育て環境の向上を図るため、子育て支援活動を行っている団体と連携し、地区市民センターでの出前講座を実施しました。 平成28年度:12か所(月1回)</p> <p>この他、各子育て支援センターの総括的な事業の実施や、子育てサークルとの交流をはじめ、情報や場所の提供、立ち上げの支援や活動場所の支援を行いました。</p>																							
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共済費</td> <td>247,289円</td> <td>業務従事者保険料</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>3,686,524円</td> <td>業務従事者賃金(常勤1人、非常勤3人分)</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>732,000円</td> <td>事業推進報償費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>1,028,228円</td> <td>消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>157,285円</td> <td>通信運搬費・手数料</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>208,696円</td> <td>事業用備品</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,060,022円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	共済費	247,289円	業務従事者保険料	賃金	3,686,524円	業務従事者賃金(常勤1人、非常勤3人分)	報償費	732,000円	事業推進報償費	需用費	1,028,228円	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費	役務費	157,285円	通信運搬費・手数料	備品購入費	208,696円	事業用備品	計	6,060,022円
経費	金額	摘要																							
共済費	247,289円	業務従事者保険料																							
賃金	3,686,524円	業務従事者賃金(常勤1人、非常勤3人分)																							
報償費	732,000円	事業推進報償費																							
需用費	1,028,228円	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費																							
役務費	157,285円	通信運搬費・手数料																							
備品購入費	208,696円	事業用備品																							
計	6,060,022円																								

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	3,711	4,124	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	11	347	259	570		
	一般財源	1,696	1,845	1,768	1,511		
	合計(A)	5,418	6,316	6,061	6,499		
人件費	正規職員	業務量	0.46 人	0.51 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	3,445	3,974	3,117	3,137	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,445	3,974	3,117	3,137		
	合計(A+B)	8,863	10,290	9,178	9,636		
市民1人当たりのコスト(円)			94	110	98	103	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	利用者数		保護者の子育てへの意欲を高め、孤独感や不安感を減らす。	人	目標	17,000	17,000	17,000
					実績	16,601	16,888	15,952
	指標化できない成果		達成	99.3%	93.8%			

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>子育てに関して支援を必要とする保護者、孤独感や不安感を抱く保護者が増えており、今後も事業の継続・充実が必要です。 他の子育て支援センターを包括する役目としての、事業の円滑な実施に向けた取り組みを検討します。</p>
----	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-04
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等 健康福祉部保育幼稚園課
事務事業名	からだそだて事業			評価責任者・連絡先 課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	市内の保育所(園)に入所(園)している児童		
	目的	幼児期に望ましい生活習慣や運動習慣の習得、体力、運動機能の向上をめざす。		
	内容	<p>幼児期の長い時間を過ごす保育所(園)での保育時間を有効に活用し、効率的に発達段階に応じた「からだそだて」を実施するため、「伊賀市版幼児の体力向上実践プログラム にんにんタイム」により、市内全ての保育所(園)32箇所毎日一定時間身体を動かす「にんにんタイム」(主として3～5歳児対象)を行いプログラムを実践しました。併せて、保育所職員を対象とした研修会や保護者・職員対象の子育て講演会を実施しました。</p> <p>現状・成果・課題を把握するため、運動能力テスト(5園)、保護者対象アンケート(全園)を事業開始前と終了後に実施しました。</p> <p>また、プログラム実践に必要な運動用具や用品を購入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修会 8月 3日(水) 参加者 195名 子育て講演会 2月19日(日) 参加者 343名 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	賃金	1,114,825円	業務従事者賃金 1名	
	報償費	1,068,840円	事業推報償費(事業アドバイザー、学生協力者、講演会講師)	
	旅費	54,834円	旅費(アドバイザー、学生協力者等への車賃)	
	需用費	870,057円	消耗品費、食糧費、印刷製本費	
	使用料及び賃借料	39,800円	会場借上料等	
	備品購入費	91,660円	事業用備品購入費(プログラム実践用)	
	負担金、補助及び交付金	418,932円	からだそだて事業推進補助金	
	計	3,688,948円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	子育て支援基金 3,689千円	
		地方債	0	0	0		
		その他	4,679	3,689	3,582		
		一般財源	0	0	0		
		合計(A)	0	4,679	3,689		3,582
事業費	人件費	正規職員	業務量 人	0.43 人	0.43 人	0.43 人	
			人件費	0	3,351	3,351	3,372
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	0	3,351	3,351	3,372	
合計(A+B)	0	8,030	7,040	6,954			
市民1人当たりのコスト(円)		0	86	75	74		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	保護者アンケート結果で、平日の就寝が20時から21時、起床が6時から7時の園児の割合	%	目標	-	10	20
			実績		5.1	18.4
			達成		-	184.0%
指標化できない成果						

方向	継続	課題及び改善案	平成27年度から取り組みを開始し、「伊賀市版 幼児の体力向上プログラム」を作成し、毎日保育所(園)でにんにんタイムを実施しているが直ちに成果を求められるものではなく、継続して取り組むことが重要であり、子どもの発達・成長に成果が現れるよう、現在の取組内容を基に各保育所(園)で工夫をして取り組む必要があります。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 17 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-51
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実		
事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業		担当部署	健康福祉部こども未来課	
			部・課名等	評価責任者・連絡先	
				課長 中岡 久美 0595-22-9654	

事務事業の概要	対象	概ね3ヵ月から小学3年生までの子どもを有する依頼会員及び20歳以上の提供会員		
	目的	育児の相互援助を推進し、病児・病後児、早朝・夜間の緊急時の預かりなど多様なニーズに対応する。		
	内容	<p>平成17年10月から社会福祉協議会に委託して事業を開始し、平成27年度からハイトピア4階において市直営で実施しています。</p> <p>依頼会員(サービスの提供を受けたい者)のニーズに基づき、相互援助(保育所への送迎等)が可能な提供会員(サービスの提供を行う者)の調整を行いました。</p> <p>事業の周知と新規会員の増加に向けての広報や、情報誌を子育て支援センター等に設置するなどの啓発を行いました。</p> <p>平成28年度利用者数:延べ634名 会員数:404名(依頼会員231名、提供会員139名、依頼・提供会員34名)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,744,800円	業務嘱託員報酬(1人分)	
	共済費	255,091円	業務従事者保険料	
	賃金	1,056,537円	業務従事者賃金(3人分)	
	報償費	61,300円	講演会講師・託児謝礼	
	需用費	168,383円	消耗品費、印刷製本費	
	役務費	354,262円	通信運搬費、傷害保険料	
	その他	136,791円	旅費、負担金等	
	計	3,777,164円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	2,094	2,858	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	22	55	32	59		
	一般財源	1,035	1,415	1,238	1,482		
	合計(A)	3,151	4,328	3,778	4,541		
人件費	正規職員	業務量	0.28 人	0.25 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	2,097	1,948	1,559	1,569	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,097	1,948	1,559	1,569		
	合計(A+B)	5,248	6,276	5,337	6,110		
	市民1人当たりのコスト(円)	56	67	57	65		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	依頼・提供会員数		会員による相互援助制度であるため、会員数を増やす必要がある	人	目標		390	410
					実績	385	403	404
	指標化できない成果		達成		103.3%	101.0%		

方向	充実	課題及び改善案	本事業は地域における育児の相互援助を推進するとともに、病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりなどの対応を図ることを目的としており、子育て支援センターや健康推進課保健師等との連携を密にすることにより、子育て支援の充実を図ります。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-52
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	次世代育成支援対策推進経費	健康福祉部こども未来課	評価責任者・連絡先 課長 中岡 久美 0595-22-9654

事務事業の概要	対象	市内の子ども及びその家族		
	目的	伊賀市子ども・子育て支援事業計画に基づく事業の適切な実施。		
	内容	平成27年2月策定の子ども・子育て支援法に基づく「子ども・子育て支援事業計画」及び伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)の位置づけも含む事業の進捗状況を把握し、学識経験者、福祉関係者、保護者、公募市民からなる伊賀市少子化対策推進委員会において点検・評価を行うとともに、進捗状況をまとめた調書を作成しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	150,000円	委員報酬	
	旅費	8,040円	少子化対策推進委員会委員長旅費(2回分)	
	需用費	158,927円	消耗品費、食糧費	
	計	316,967円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	343	402	317	315
		合計(A)	343	402	317	315
人件費	正規職員	業務量	0.81 人	0.81 人	0.76 人	0.76 人
		人件費	6,065	6,311	5,922	5,960
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費				
	小計(B)	6,065	6,311	5,922	5,960	
合計(A+B)	6,408	6,713	6,239	6,275		
市民1人当たりのコスト(円)		68	72	67	67	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
公表回数	計画に係る実績及び審議内容の公表	回	目標		2	2
			実績	5	2	2
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	施策の改善につなげられるよう、各事業に対する進行管理及び点検評価を行う必要があります。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-53
	施策	1303 乳幼児期から生育・食育を含めた知識の普及と途切れない子育て支援の体制づくり	担当部署	部・課名等 健康福祉部健康推進課
事務事業名	利用者支援事業費	評価責任者・連絡先	課長 中井 芳子 0595-22-9653	

事務事業の概要	対象	伊賀市に在住している妊婦及び乳幼児とその家族		
	目的	妊娠期から子育て期において個々のニーズに合った支援計画を作成し切れ目なく支援を行う。		
	内容	<p>妊娠期から子育て期までの家族の個別ニーズを把握し必要なサービスを円滑に利用できるよう支援計画を作成するとともに情報提供や相談支援を実施しました。</p> <p>利用者支援計画作成数:617件</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	賃金	38,200円	助産師	
	その他事務経費	219,897円		
	計	258,097円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		1,188	172	
	地方債		0	0	0		
	その他		594	81	0		
	一般財源		0	6	0		
	合計(A)		0	1,782	259	0	
人件費	正規職員	業務量	人	0.58 人	0.58 人	人	
		人件費	0	4,519	4,519	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	0.60 人	0.60 人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	4,519	4,519	0	
	合計(A+B)		0	6,301	4,778	0	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	67	51	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	特定妊婦への支援率	支援が必要な妊婦への支援率	%	目標			50	80
				実績			30	
	指標化できない成果		達成			60.0%		

方向	充実	課題及び改善案	母親は仲間作りや育児支援を望んでいるため乳幼児相談などへの参加率は高い。しかし、事業に参加しない母子に問題が潜んでいることもあるため、赤ちゃん訪問等の機会を通じて母親と担当保健師との関係づくりが大切である。また、困ったときの相談窓口として繋がりを持っておくことが大切である。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)218子育て支援対策事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-218-54
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当 部署	部・課名等 健康福祉部子ども未来課
	事務事業名	病児・病後児保育事業	評価責任者・連絡先	課長 中岡 久美 0595-22-9677	

事務事業の概要	対象	病気の回復期にある小学3年生までの児童								
	目的	保護者の子育てと仕事の両立を支援する。								
	内容	<p>病気(回復期)のために、保育所(園)、幼稚園、小学校(3年生まで)などで集団生活が困難で、保護者の勤務などにより家庭で保育できない児童を一時的に預かりました。</p> <p>市内の保育所(園)・幼稚園・小児科等へチラシ及び利用申請書を配布し、事業の周知に努めました。</p> <p>運営主体:上野総合市民病院(委託、1日の定員3名)</p> <p>年間延べ利用児童数:284名</p> <p>開設時間:午前8時45分から午後5時30分まで</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>5,410,000円</td> <td>病児・病後児保育室管理運営 (委託先:伊賀市立上野総合市民病院)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,410,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	5,410,000円	病児・病後児保育室管理運営 (委託先:伊賀市立上野総合市民病院)	計	5,410,000円
経費	金額	摘要								
委託料	5,410,000円	病児・病後児保育室管理運営 (委託先:伊賀市立上野総合市民病院)								
計	5,410,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	2,404	2,626	3,440	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	112	170	239	170		
	一般財源	1,166	1,413	1,731	1,548		
	合計(A)	3,682	4,209	5,410	4,814		
人件費	正規職員	業務量	0.04 人	0.06 人	0.05 人	0.05 人	
		人件費	300	468	390	393	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	300	468	390	393		
	合計(A+B)	3,982	4,677	5,800	5,207		
	市民1人当たりのコスト(円)	42	50	62	56		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	延べ利用児童数	病児回復期の児童を預かることで、保護者が安心して仕事に就ける。	人	目標		200	200	250
				実績	214	151	284	
指標化できない成果			達成		75.5%	142.0%		

方向	継続	課題及び改善案	子育て中の保護者の利便性の向上のため、さらなる事業周知を図るとともに、利用開始時間の検討が必要です。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)220発達支援事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 21 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-220-51
	施策	1203	乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり	担当 部署	部・課名等 健康福祉部子ども未来課
	事務事業名	発達支援センター運営事業		評価責任者・連絡先 課長 中岡 久美 0595-22-9627	

事務事業の概要	対象	発達に課題のある18歳までの子どもとその保護者																										
	目的	子どもの発達に関する不安や悩みについて、発達特性に応じて必要な支援やサポートが受けられる。																										
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所(園)、幼稚園、小中学校への巡回訪問。(447回) ・言語聴覚士等の発達に関する専門職の派遣を受け、保育士など支援者に、より専門的・具体的なアドバイスを行うとともに、公立保育所(園)の保育士対象に研修を実施しました。 ・関係機関との連絡調整。(ケース会議26回) ・保護者、関係者との面接相談。(361回) ・学校等における講演。(26回) 																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>3,294,892円</td> <td>発達支援嘱託職員(2人分)</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>510,298円</td> <td>発達支援嘱託職員(2人分)</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>712,000円</td> <td>専門職による相談</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>168,979円</td> <td>消耗品費、燃料費</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>49,248円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>2,000,000円</td> <td>発達相談・巡回訪問等業務委託</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>4,640円</td> <td>(委託先:社会福祉法人名張育成会)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,740,057円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	3,294,892円	発達支援嘱託職員(2人分)	共済費	510,298円	発達支援嘱託職員(2人分)	報償費	712,000円	専門職による相談	需用費	168,979円	消耗品費、燃料費	役務費	49,248円		委託料	2,000,000円	発達相談・巡回訪問等業務委託	使用料及び賃借料	4,640円	(委託先:社会福祉法人名張育成会)	計	6,740,057円
経費	金額	摘要																										
報酬	3,294,892円	発達支援嘱託職員(2人分)																										
共済費	510,298円	発達支援嘱託職員(2人分)																										
報償費	712,000円	専門職による相談																										
需用費	168,979円	消耗品費、燃料費																										
役務費	49,248円																											
委託料	2,000,000円	発達相談・巡回訪問等業務委託																										
使用料及び賃借料	4,640円	(委託先:社会福祉法人名張育成会)																										
計	6,740,057円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	861	1,621	1,032	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	2,000	2,000	2,988		
	一般財源	3,633	3,186	3,709	3,071		
	合計(A)	4,494	6,807	6,741	7,667		
	人件費	正規職員	業務量	2.80 人	2.10 人	2.05 人	2.00 人
			人件費	20,964	16,362	15,972	15,682
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	20,964	16,362	15,972	15,682	
		合計(A+B)	25,458	23,169	22,713	23,349	
		市民1人当たりのコスト(円)	268	246	241	249	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	保護者や関係機関からの相談件数		保護者や関係機関等からの相談に応じることで不安や悩みの軽減を図り、必要な支援につなげる。	件	目標		2,100	2,100
					実績	2,156	1,992	2,058
指標化できない成果			達成		83.3%	98.0%		

方向	改善	課題及び改善案 乳幼児期、学齢期から青年期まで途切れのない支援を受けられるよう、関係機関との連携をより一層図れるような体制を検討していきます。 ※なお、相談件数は前年度実績より伸びることが必ずしも良いわけではないので、想定適正件数を指標とします。
----	----	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)220発達支援事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-220-52
	施策	1203	乳幼児期から学齢期、青年期まで途切れのない支援を行う体制づくり		
	事務事業名	5歳児発達相談事業		担当部署	部・課名等 健康福祉部こども未来課
				評価責任者・連絡先 課長 中岡 久美 0595-22-9627	

事務事業の概要	対象	事業年度に5歳になる年中児とその保護者		
	目的	社会性などの軽度の発達上の問題を明らかにし、必要に応じ発達検査や就学支援につなげる。		
	内容	<p>保護者にアンケートを記入してもらい、保育所(園)・幼稚園での集団の保育場面の観察を行った結果、保護者の希望で面談を実施しました。また必要に応じ発達検査や就学支援につなげました。</p> <p>事業実施園数 市内35園 対象児数 698人</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	425,000円	臨床心理士発達検査・相談	
	消耗品費	130,817円		
	備品購入費	14,796円	デジタルカメラ	
	計	570,613円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	570	1,012		
	一般財源	695	2,000	1	0		
	合計(A)	695	2,000	571	1,012		
人件費	正規職員	業務量	1.40 人	1.90 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費	10,482	14,803	15,582	15,682	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	10,482	14,803	15,582	15,682		
	合計(A+B)	11,177	16,803	16,153	16,694		
	市民1人当たりのコスト(円)	118	179	172	178		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	実施園数		市内全園での実施を目標としています。	箇所	目標		18	34
					実績	5	18	35
指標化できない成果			達成		100.0%	102.9%		

方向	継続	課題及び改善案	就学に向けて支援が必要な子どもや保護者の不安等に応じられるよう、支援者のスキルアップに取り組みます。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)1児童福祉総務費(細目)691結婚サポート事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-03-04-01-691-51
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当 部署	部・課名等 健康福祉部こども未来課
	事務事業名	結婚サポート事業	評価責任者・連絡先	課長 中岡 久美 0595-22-9654

事務事業の概要	対象	結婚を希望する男女と家族、婚活を推進する団体																				
	目的	婚活事業を実施する団体に対して補助金を支出し、支援を行う。																				
	内容	<p>H28.8.7 講師を招き、好きなカラー色により、自身の性格を知る「きっかけづくりセミナー」を開催。 参加者:男性35人、女性31人</p> <p>H28.10.15 「子の婚活」を考える親へのセミナーの実施。参加者:30人</p> <p>結婚サポート事業補助金については、2団体(3事業)への補助を行った。</p>																				
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>200,000円</td> <td>セミナー講師謝礼</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>4,400円</td> <td>講師旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>116,735円</td> <td>消耗品費、食糧費、印刷製本費</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>10,800円</td> <td>会場借上料</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>142,264円</td> <td>結婚サポート事業補助金(3事業)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>474,199円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	200,000円	セミナー講師謝礼	旅費	4,400円	講師旅費	需用費	116,735円	消耗品費、食糧費、印刷製本費	使用料及び賃借料	10,800円	会場借上料	負担金、補助及び交付金	142,264円	結婚サポート事業補助金(3事業)	計	474,199円
経費	金額	摘要																				
報償費	200,000円	セミナー講師謝礼																				
旅費	4,400円	講師旅費																				
需用費	116,735円	消耗品費、食糧費、印刷製本費																				
使用料及び賃借料	10,800円	会場借上料																				
負担金、補助及び交付金	142,264円	結婚サポート事業補助金(3事業)																				
計	474,199円																					

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金		0	0	0		【その他】子育て支援基金
	地方債		0	0	0				
	その他		970	464	500				
	一般財源		0	11	0				
	合計(A)		0	970	475	500			
人件費	正規職員	業務量	人	0.80	人	0.82	人	0.82	人
		人件費	0	6,233	6,389	6,430			
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人			
		人件費							
	小計(B)		0	6,233	6,389	6,430			
合計(A+B)		0	7,203	6,864	6,930				
市民1人当たりのコスト(円)			0	77	73	74			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	補助金交付件数	婚活実施団体が行なう事業件数	件	目標			2	3
				実績			3	
指標化できない成果			達成			150.0%		

方向	充実	課題及び改善案	・若者の結婚、出産を阻む経済的制約がある。

整理番号	217 - 0	(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)2児童措置費(細目)221私立保育所等運営費	決算書頁	229
------	---------	---	------	-----

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-02-221-51
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	私立保育所等運営費	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先	課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	保育を必要とする子ども及び保護者		
	目的	保育が必要な子どもが保育所で安定した生活ができる。保護者の子育てと就業の両立を支援できる。		
	内容	<p>保護者の就労等により保育が必要な乳幼児を保育するため、社会福祉法人伊賀市社会事業協会へ委託し14箇所で開催を実施しました。子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、健全な心身の発達を図りました。</p> <p>私立 14保育所(園) 定員:1,445人 年間延べ入所児童数(広域入所受託児童を含む):16,294人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	扶助費	1,211,804,910円	私立保育所施設型給付費負担金 1,165,937,260円 (福)伊賀市社会事業協会へ支払 私立保育所施設型給付費特別負担金 42,152,610円 (福)伊賀市社会事業協会へ支払 広域入所委託分施設型給付費負担金 3,715,040円 (学)北見カトリック学園【北見市】、(福)名張育成会【名張市】 (福)こもはら福祉会【名張市】、(福)弘仁会【名張市】、 東員町、熊野市、南山城村、富山市へ支払い	

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	495,543	538,975	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	291,635	335,744	324,608	335,631		
	一般財源	391,850	378,142	369,915	396,254		
	合計(A)	1,179,028	1,252,861	1,211,805	1,333,486	その他: 保育所負担金 260,356千円 保育所負担金(過年度分) 5,992千円 施設型給付費受託事業収入(私立分) 6,047千円 子育て支援基金 52,213千円	
人件費	正規職員	業務量	1.45 人	1.45 人	1.45 人		1.45 人
		人件費	10,857	11,297	11,297		11,370
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
	人件費						
	小計(B)	10,857	11,297	11,297	11,370		
	合計(A+B)	1,189,885	1,264,158	1,223,102	1,344,856		
	市民1人当たりのコスト(円)	12,517	13,410	12,974	14,307		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年間延べ入所児童数	私立保育所に入所した伊賀市の児童数(延べ人数)	人	目標		16,733	16,733	16,733
				実績	16,503	16,089	16,241	
指標化できない成果			達成		96.2%	97.1%		

方向	継続	課題及び改善案	保護者の就労状況の変化に伴い、利用者数やニーズ等を見極め、適切な保育サービスを実施できるよう支援します。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)2児童措置費(細目)221私立保育所等運営費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-03-04-02-221-52
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	心身障がい児療育保育事業	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先 課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	心身に障がい有する就学前児童								
	目的	適切な療育保育を行い、発達の促進と障がいの軽減を図る。								
	内容	個別・集中的な療育保育を実施するため、かしのみ園で臨床心理士、看護師、保育士、理学療法士等専門職員を配置し、さらなる療育保育の充実を図り、発達の促進と障がいの軽減に努めました。社会福祉法人伊賀市社会事業協会に事業を委託しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>11,299,039円</td> <td>心身障がい児療育保育事業委託</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,299,039円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	11,299,039円	心身障がい児療育保育事業委託	計	11,299,039円
経費	金額	摘要								
委託料	11,299,039円	心身障がい児療育保育事業委託								
計	11,299,039円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	10,965	11,300	11,300	11,667		
	合計(A)	10,965	11,300	11,300	11,667		
人件費	正規職員	業務量	0.07 人	0.07 人	0.07 人	0.07 人	
		人件費	525	546	546	549	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	525	546	546	549		
	合計(A+B)	11,490	11,846	11,846	12,216		
	市民1人当たりのコスト(円)	121	126	126	130		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入所(利用)児童数	かしのみ園に入所(利用)した実児童数	人	目標		25	27	27
				実績	31	30	32	
指標化できない成果			達成		120.0%	118.5%		

方向	継続	課題及び改善案	引き続き、児童の発達や障がいの状況に応じた個別・集中的な療育保育の実施が必要です。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)2児童措置費(細目)222私立保育所等補助金

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13 子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 28 年度～平成 29 年度	01-03-04-02-222-02
	施策	1301 地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	私立保育所施設整備事業	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先 課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	保育を必要とする子ども及び保護者										
	目的	保育が必要な子どもが保育所で安定した生活ができる。保護者の子育てと就業の両立を支援できる。										
	内容	<p>公立佐那具保育所と私立府中保育園を統合し、施設老朽化の解消、安全確保の充実、低年齢児保育の充実を含めた更なる保育サービスの向上、効率的な保育所運営を図るため園舎改築の費用を社会福祉法人伊賀市社会事業協会へ補助しました。</p> <p>定員 府中保育園 140人</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>60,383,000円</td> <td>保育所整備費補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60,383,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	60,383,000円	保育所整備費補助金	計	60,383,000円		
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	60,383,000円	保育所整備費補助金										
計	60,383,000円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金		18,113	16,074	
	地方債		41,500	41,500	247,500		
	その他		2,208	2,809	13,772		
	一般財源		0	0	13,100		
	合計(A)		0	61,821	60,383	381,946	
人件費	正規職員	業務量	人	人	0.35 人	0.35 人	
		人件費	0	0	2,727	2,745	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	0	2,727	2,745	
	合計(A+B)		0	61,821	63,110	384,691	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	656	670	4,093	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入所(利用)児童数	佐那具保育所、府中保育所に入所(利用)した実児童数	人	目標		165	165	140
				実績		130	117	
指標化できない成果			達成		78.8%	70.9%		

方向	継続	課題及び改善案	施設老朽化の解消、安全確保の充実、低年齢児保育の充実を含めた更なる保育サービスの向上、効率的な保育所運営を図る必要がある。

整理番号
220 - 0

決算書頁
229

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)2児童措置費(細目)222私立保育所等補助金

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-02-222-51
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	私立保育所等補助金	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先	課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	保育を必要とする子ども及び保護者																										
	目的	保護者のニーズに合った保育事業を行うことにより、保護者の子育てと就業の両立を支援できる。																										
	内容	<p>次の事業を実施する社会福祉法人伊賀市社会事業協会に対し補助金を交付し、保育ニーズに応えるとともに保育環境の充実を図りました。</p> <p>①障がい児保育対策事業 ②家庭支援推進保育事業 ③延長保育促進事業 ④低年齢児保育推進事業 ⑤一時預かり事業 ⑥保育士研修等事業 ⑦保育所等における業務効率化推進事業</p>																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>7,486,580円</td> <td>障がい児保育対策事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,475,810円</td> <td>家庭支援推進保育事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3,142,000円</td> <td>延長保育促進事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10,454,400円</td> <td>次世代育成支援特別保育推進事業(低年齢児)補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11,322,000円</td> <td>一時預かり事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>463,000円</td> <td>保育士研修等事業費補助金</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4,000,000円</td> <td>業務効率化推進事業費補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42,343,790円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	7,486,580円	障がい児保育対策事業費補助金		5,475,810円	家庭支援推進保育事業費補助金		3,142,000円	延長保育促進事業費補助金		10,454,400円	次世代育成支援特別保育推進事業(低年齢児)補助金		11,322,000円	一時預かり事業費補助金		463,000円	保育士研修等事業費補助金		4,000,000円	業務効率化推進事業費補助金	計	42,343,790円
経費	金額	摘要																										
負担金、補助及び交付金	7,486,580円	障がい児保育対策事業費補助金																										
	5,475,810円	家庭支援推進保育事業費補助金																										
	3,142,000円	延長保育促進事業費補助金																										
	10,454,400円	次世代育成支援特別保育推進事業(低年齢児)補助金																										
	11,322,000円	一時預かり事業費補助金																										
	463,000円	保育士研修等事業費補助金																										
	4,000,000円	業務効率化推進事業費補助金																										
計	42,343,790円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	16,862	21,862	20,838	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	700	0	0	0		
	一般財源	19,607	22,961	21,506	23,483		
	合計(A)	37,169	44,823	42,344	44,481		
	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	749	780	1,169	1,177	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	749	780	1,169	1,177	
		合計(A+B)	37,918	45,603	43,513	45,658	
		市民1人当たりのコスト(円)	399	484	462	486	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	延長・一時・休日保育実施施設数	左記事業を実施している私立保育所(園)数	箇所	目標		13	14	13
				実績	13	13	13	
指標化できない成果			達成		100.0%	92.9%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>保育ニーズに応えるため、各種事業の実施は不可欠であり、公立・私立に関係なく、統一した保育事業が今後も必要です。</p>
----	--

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)2児童措置費(細目)222私立保育所等補助金

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-04-02-222-52
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	安心こども基金事業	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先	課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	私立幼稚園							
	目的	保護者のニーズに合った保育事業を行うことにより、保護者の子育てと就業の両立を支援できる。							
	内容	<p>私立青山よさみ幼稚園を幼稚園から幼保連携型の認定こども園に施設設備を行うため必要となる経費の一部を補助しました。</p> <p>移行前 青山よさみ幼稚園 移行後 認定こども園 青山よさみ幼稚園</p>							
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金 安心こども基金保育基盤整備事業費補助金</td> <td>45,000,000円</td> <td>安心こども基金保育基盤整備事業費補助金</td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金 安心こども基金保育基盤整備事業費補助金	45,000,000円	安心こども基金保育基盤整備事業費補助金	
経費	金額	摘要							
負担金、補助及び交付金 安心こども基金保育基盤整備事業費補助金	45,000,000円	安心こども基金保育基盤整備事業費補助金							

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		30,000	30,000	
	地方債		14,200	14,200			
	その他		800	800			
	一般財源		0	0			
	合計(A)		0	45,000	45,000	0	
人件費	正規職員	業務量	人	人	0.20 人	人	
		人件費	0	0	1,559	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	0	1,559	0	
	合計(A+B)		0	45,000	46,559	0	
	市民1人当たりのコスト(円)		0	478	494	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果			達成				

方向	完了	課題及び改善案	認定こども園の円滑な運営や安心・安全な保育環境を整備することが必要である。
----	----	---------	---------------------------------------

整理番号	222 - 0	決算書頁	229
(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)3母子・父子福祉費(細目)228母子・父子自立支援事業			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-03-228-51
	施策	1302	ひとり親家庭の自立支援の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	母子・父子自立支援事業		健康福祉部こども未来課	課長 中岡 久美 0595-22-9654	

事務事業の概要	対象	支援を必要とする寡婦・母子・父子家庭																	
	目的	ひとり親家庭の生活安定と向上を図るために必要な情報提供や相談、自立に向けた支援を行う。																	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 母子父子自立支援員を設置し、母子・父子家庭の自立支援のため窓口を開設しました。就労支援のため、ハローワーク伊賀との連携も行いました。 伊賀市母子寡婦福祉会活動補助金を支出し、活動に対する補助を行いました。 母子自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費を支給し、母子・父子家庭の経済的負担の軽減をはかることができました。 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>1,651,200円</td> <td>母子・父子自立支援員報酬(1人分)</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>240,708円</td> <td>母子・父子自立支援員共済費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>82,607円</td> <td>消耗品費、燃料費</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>2,738,000円</td> <td>伊賀市母子寡婦福祉会補助金、母子自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,712,515円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	1,651,200円	母子・父子自立支援員報酬(1人分)	共済費	240,708円	母子・父子自立支援員共済費	需用費	82,607円	消耗品費、燃料費	負担金、補助及び交付金	2,738,000円	伊賀市母子寡婦福祉会補助金、母子自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費	計	4,712,515円
経費	金額	摘要																	
報酬	1,651,200円	母子・父子自立支援員報酬(1人分)																	
共済費	240,708円	母子・父子自立支援員共済費																	
需用費	82,607円	消耗品費、燃料費																	
負担金、補助及び交付金	2,738,000円	伊賀市母子寡婦福祉会補助金、母子自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費																	
計	4,712,515円																		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 母子・父子自立支援員(非常勤嘱託職員)1名 【国県支出金】 母子家庭等対策総合支援事業補助金
			国県支出金	2,075	2,212	1,734	2,147	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	113	0	113	
			一般財源	634	3,329	2,979	2,909	
	合計(A)	2,709	5,654	4,713	5,169			
	人件費	正規職員	業務量	0.53 人	0.23 人	0.22 人	0.22 人	
			人件費	3,969	1,792	1,715	1,726	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		3,969	1,792	1,715	1,726			
合計(A+B)	6,678	7,446	6,428	6,895				
市民1人当たりのコスト(円)			71	79	69	74		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	母子父子自立支援の相談件数	相談に応じることで、軽減できたひとり親家庭の抱える問題の件数	件	目標		300	300
				実績	380	383	402
指標化できない成果	相談時間		達成		127.7%	134.0%	

方向	継続	課題及び改善案	平成28年度に創設したひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を、相談のなかでニーズキャッチしたり広報誌に掲載するなどして普及啓発に努めます。
----	----	---------	---

整理番号
223 - 0

決算書頁
231

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)4保育所費(細目)229保育所管理運営事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-04-229-01
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	保育所管理運営事業	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先	課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	保育を必要とする子ども及び保護者		
	目的	保育が必要な子どもが保育所で安定した生活ができる。保護者の子育てと就業の両立を支援できる。		
	内容	<p>保護者の就労等により保育が必要な乳幼児を保育するため、公立保育所(園)18箇所を保育を実施しました。適正な入退所事務や施設管理を行うとともに、保育士の確保や保育の充実に努めました。子どもの集団活動を保障するため、また各年齢の発達段階に応じた活動や保護者会活動が活発に行えるように、児童の少なくなった保育所の保護者、地域に協議を行い、まるばしら保育所は閉所しました。また、閉所となった諏訪保育所及び比自岐保育所、柘植保育園の跡地利用に関する協議を行いました。</p> <p>公立 18保育所(園) 定員：1,610人 年間延べ入所児童数(広域入所受託児童を含む)：15,015人</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	7,386,650円	嘱託医報酬	
	共済費	34,193,520円	臨時保育士・調理員・看護師保険料	
	賃金	326,010,957円	臨時保育士・調理員・看護師賃金	
	報償費	861,900円	講師謝礼、事業推進報償費	
	需用費	176,044,678円	消耗品費、光熱水費、燃料費、修繕料、賄材料費等	
	備品購入費	4,534,953円	管理用備品、事業用備品	
	その他経費	27,732,989円	役務費、委託料等	
	計	576,765,647円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	5,334	4,431		7,838
	地方債	0	0	0	0			
	その他	22,516	29,866	25,815	40,795			
	一般財源	587,922	579,711	543,113	563,427			
	合計(A)	615,772	614,008	576,766	608,505			
	人件費	正規職員	業務量 8.09 人	8.09 人	8.14 人	8.14 人	その他： 特別保育事業負担金3,990千円、職員給食費等14,500千円、日本スポーツ振興センター保護者負担金564千円、督促手数料22千円、日本スポーツ振興センター災害共同給付金284千円、施設型給付費受託事務収入(公立分)6,455千円	
		業務費	60,570	63,030	63,419	63,826		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
		人件費						
		小計(B)	60,570	63,030	63,419	63,826		
		合計(A+B)	676,342	677,038	640,185	672,331		
		市民1人当たりのコスト(円)	7,115	7,182	6,791	7,153		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年間延べ入所児童数	公立保育所に入所した伊賀市の児童数(延べ人数)	人	目標		14,900	14,900	14,900
				実績	14,833	14,835	14,421	
指標化できない成果			達成		99.6%	96.8%		

方向	継続	課題及び改善案	保護者の就労状況の変化に伴い、利用者数やニーズ等を見極め、適切なサービスを提供します。
----	----	---------	---

整理番号
224 - 0

決算書頁
231

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)4保育所費(細目)229保育所管理運営事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目		
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-04-04-229-03	
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	保育所整備事業		健康福祉部保育幼稚園課	課長 濱村 昭 0595-22-9658	

事務事業の概要	対象	保育を必要とする子ども及び保護者										
	目的	保育が必要な子どもが保育所で安定した生活ができる。保護者の子育てと就業の両立を支援できる。										
	内容	<p>公立佐那具保育所と私立府中保育園を統合し、施設老朽化の解消、安全確保の充実、低年齢児保育の充実を含めた更なる保育サービスの向上、効率的な保育所運営を図るため保育所用地を取得しました。</p> <p>定員 府中保育園 140人</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公有財産購入費 用地取得費</td> <td>11,820,952円</td> <td>保育所用地取得費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,820,952円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	公有財産購入費 用地取得費	11,820,952円	保育所用地取得費	計	11,820,952円		
経費	金額	摘要										
公有財産購入費 用地取得費	11,820,952円	保育所用地取得費										
計	11,820,952円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		0	0	
	地方債		11,100	11,100			
	その他		610	721			
	一般財源		3	0			
	合計(A)		0	11,713	11,821	0	
人件費	正規職員	業務量	人	人	0.10 人	人	
		人件費	0	0	780	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	0	780	0	
	合計(A+B)		0	11,713	12,601	0	
市民1人当たりのコスト(円)			0	125	134	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	保育所用地を取得した。		達成				

方向	完了	課題及び改善案	
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)4保育所費(細目)229保育所管理運営事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	13	子どもを安心して産み、育てられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度 01-03-04-04-229-52
	施策	1301	地域における子育て支援事業の充実	担当部署
	事務事業名	施設改修事業	健康福祉部保育幼稚園課	評価責任者・連絡先 課長 濱村 昭 0595-22-9658

事務事業の概要	対象	公立保育所																			
	目的	公立保育所において安心・安全な保育環境を整備する。																			
	内容	保育所(園)屋外遊具改修工事、保育所(園)空調改修工事、その他保育所(園)の施設改修工事を実施しました。																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>8,537,400円</td> <td>各保育所(園)空調設備改修工事</td> <td>2,214,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>各保育所(園)屋外遊具改修工事</td> <td>3,990,600円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>依那古保育所他3園トイレ改修工事</td> <td>2,332,800円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,537,400円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		工事請負費	8,537,400円	各保育所(園)空調設備改修工事	2,214,000円			各保育所(園)屋外遊具改修工事	3,990,600円			依那古保育所他3園トイレ改修工事	2,332,800円	計	8,537,400円	
経費	金額	摘要																			
工事請負費	8,537,400円	各保育所(園)空調設備改修工事	2,214,000円																		
		各保育所(園)屋外遊具改修工事	3,990,600円																		
		依那古保育所他3園トイレ改修工事	2,332,800円																		
計	8,537,400円																				

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		地方債: 児童福祉施設整備事業 8,100千円
			地方債	7,800	6,800	8,100	6,200		
			その他	0	0	0	0		
			一般財源	6,676	363	438	338		
	合計(A)		14,476	7,163	8,538	6,538			
	人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.40 人	0.45 人	0.45 人		
			人件費	2,995	3,117	3,506	3,529		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		2,995	3,117	3,506	3,529				
合計(A+B)		17,471	10,280	12,044	10,067				
市民1人当たりのコスト(円)		184	110	128	108				

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設改修工事実施保育所(園)数	施設改修工事を実施した保育所(園)数	箇所	目標		5	10	10
				実績	11	12	11	
指標化できない成果			達成		240.0%	110.0%		

方向	継続	課題及び改善案	老朽化の進んだ公立保育所(園)は計画的な改修が必要です。生活形態の変化に伴い、各家庭でのトイレの洋式化が進んでいるため、計画的な洋式化工事が必要です。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)5児童館運営費(細目)230児童館管理運営事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-05-230-01
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	児童館管理経費		人権生活環境部八幡町市民館	館長 南 一朗 0595-23-3157	

事務事業の概要	対象	久米小学校区児童、柘植小学校区児童、旧矢生小学校区児童及び保護者		
	目的	児童健全育成を目的とし、放課後児童が安心して学習や遊びをする場を提供する。		
	内容	<p>児童が安全・快適にすごせるように、清掃活動・施設維持の修繕をしました。 部落差別解消の拠点として、地区学習会の実施をしたり、市・学校・地域をつなぐ集会施設として、場の提供を行ないました。</p> <p>しろなみ：開館日数242日 利用児童延べ6,880人 親の会・児童福祉会等その他施設利用者延べ52人 まえがわ：開館日数281日 利用児童延べ5966人(土曜開館含む) 老川：開館日数243日 利用児童延べ906人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,659,600円	業務嘱託員報酬 (しろなみ)	
	共済費	84,593円	業務嘱託員保険料 (しろなみ)	
	需用費/消耗品費	560,994円	管理用物品等	
	燃料費	153,235円	施設暖房用灯油代等	
	光熱水費	802,055円	電気・ガス・水道代	
	修繕料	109,766円	施設修繕料	
	その他経費	1,031,249円		
	計	4,401,492円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	422	0	422
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	4,680	6,085	4,402	4,145
		合計(A)	4,680	6,507	4,402	4,567
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.27 人	1.27 人	1.27 人	0.87 人
		人件費	9,509	9,895	9,895	6,822
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 0.10 人	0.10 人	人	人
		人件費				
		小計(B)	9,509	9,895	9,895	6,822
合計(A+B)	14,189	16,402	14,297	11,389		
市民1人当たりのコスト(円)		150	174	152	122	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	各児童館の利用者数	人	目標		14,000	14,000
			実績	16,945	14,689	13,804
指標化できない成果		達成		104.9%	98.6%	

方向	継続	課題及び改善案	施設の老朽化が進んでおり、耐震補強等による大規模修繕等の手法を検討する必要がある。少子化のため年齢別の活動ができにくいいため、活動内容の検討をおこない参加者の増加を図る。
----	----	---------	---

整理番号
227 - 0

決算書頁
233

(款)3民生費(項)4児童福祉費(目)5児童館運営費(細目)230児童館管理運営事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-04-05-230-51
	施策	5104	同和行政の推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	児童館事業経費	人権生活環境部八幡町市民館	評価責任者・連絡先	館長 南 一朗 0595-23-3157

事務事業の概要	対象	久米小学校区児童、柘植小学校区児童、旧矢生小学校区児童及び保護者																										
	目的	差別に気づき、仲間とともに差別をなくす子どもを育てるための学習・活動する。																										
	内容	<p>しるなみ：児童健全育成を目的とし、卓球教室の開催や、こども夏祭り、マジックショーなどイベントを行いました。差別をなくし、仲間づくりをする活動として、同和地区関係児童を対象に、地区学習会を実施しました。児童や保護者の悩み相談をし、児童健全育成推進に努めました。</p> <p>まえがわ：①土曜開館事業・児童生徒の部落問題学習や仲間づくり等の活動として、毎週土曜日を開館しました。②各種教室の開設事業・人権リーダーの育成を図るために各種教室を開設しました。体験スクール、チャレンジ教室、野球教室、卓球教室、音楽教室。③解放保育推進支援事業・豊かな人権感覚を養うために乳幼児を対象とした事業を行うとともに、保護者の子育て支援を行いました。大きな輪保育、すくすく広場、絵本の広場。④柘植小学校児童支援事業・児童子育て相談員を週3回小学校に派遣し教師とともに児童の課題解決に取り組みました。⑤小・中学生の人権研修・市内の小・中学生の人権問題学習会。⑥団体育成事業・部落問題の解決に取り組む地区内の団体の活動に対して支援を行いました。</p> <p>老川：学習会の開催(人権学習、環境学習)体験活動の実施(菜園活動、制作活動、親子キャンプ、スポーツ活動など)やまびこ通信の発行と交流事業を行いました。(地域の人たちとの交流、他の児童館等との児童との交流)</p>																										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>2,141,500円</td> <td>事業推進報償費等</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>22,761円</td> <td>指導教諭旅費等</td> </tr> <tr> <td>需用費/消耗品費</td> <td>643,781円</td> <td>各教室等事業用消耗品</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>55,080円</td> <td>活動写真、チラシ等印刷代</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>45,030円</td> <td>賠償責任保険料(しるなみ)他</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>362,710円</td> <td>有料道路通行料(まえがわ)他</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>57,236円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,328,098円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	2,141,500円	事業推進報償費等	旅費	22,761円	指導教諭旅費等	需用費/消耗品費	643,781円	各教室等事業用消耗品	印刷製本費	55,080円	活動写真、チラシ等印刷代	役員費	45,030円	賠償責任保険料(しるなみ)他	使用料及び賃借料	362,710円	有料道路通行料(まえがわ)他	その他経費	57,236円		計	3,328,098円
経費	金額	摘要																										
報償費	2,141,500円	事業推進報償費等																										
旅費	22,761円	指導教諭旅費等																										
需用費/消耗品費	643,781円	各教室等事業用消耗品																										
印刷製本費	55,080円	活動写真、チラシ等印刷代																										
役員費	45,030円	賠償責任保険料(しるなみ)他																										
使用料及び賃借料	362,710円	有料道路通行料(まえがわ)他																										
その他経費	57,236円																											
計	3,328,098円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																														
		直接事業費	<table border="1"> <tr><td>国県支出金</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>3,735</td><td>4,417</td><td>3,329</td><td>3,345</td></tr> <tr><td>合計(A)</td><td>3,735</td><td>4,417</td><td>3,329</td><td>3,345</td></tr> </table>	国県支出金	0	0		0	0	地方債	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	一般財源	3,735	4,417	3,329	3,345	合計(A)	3,735	4,417	3,329	3,345	(各施設事業経費 内訳) ・しるなみ児童館： 1,694,351円 ・まえがわ児童館： 1,584,360円 ・老川児童館： 49,387円							
国県支出金	0	0	0	0																																	
地方債	0	0	0	0																																	
その他	0	0	0	0																																	
一般財源	3,735	4,417	3,329	3,345																																	
合計(A)	3,735	4,417	3,329	3,345																																	
人件費	<table border="1"> <tr> <td>正規職員</td> <td>業務量</td> <td>1.27 人</td> <td>1.27 人</td> <td>1.27 人</td> <td>0.77 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td>9,509</td> <td>9,895</td> <td>9,895</td> <td>6,038</td> </tr> <tr> <td>臨時・嘱託・再雇用職員</td> <td>業務量</td> <td>0.05 人</td> <td>0.05 人</td> <td>0.05 人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費</td> <td>328</td> <td>328</td> <td>328</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計(B)</td> <td></td> <td>9,837</td> <td>10,223</td> <td>9,895</td> <td>6,038</td> </tr> <tr> <td>合計(A+B)</td> <td></td> <td>13,572</td> <td>14,640</td> <td>13,224</td> <td>9,383</td> </tr> </table>	正規職員	業務量	1.27 人	1.27 人	1.27 人	0.77 人		人件費	9,509	9,895	9,895	6,038	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人	人		人件費	328	328	328		小計(B)		9,837	10,223	9,895	6,038	合計(A+B)		13,572	14,640	13,224	9,383
正規職員	業務量	1.27 人	1.27 人	1.27 人	0.77 人																																
	人件費	9,509	9,895	9,895	6,038																																
臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人	人																																
	人件費	328	328	328																																	
小計(B)		9,837	10,223	9,895	6,038																																
合計(A+B)		13,572	14,640	13,224	9,383																																
市民1人当たりのコスト(円)		143	156	141	100																																

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	地区学習会出席率	延べ参加児童数÷(対象児童数×開催回数)	%	目標		75	75	75
				実績	84	84.35	84	
指標化できない成果			達成		112.0%	111.7%		

方向	継続	課題及び改善案 下校時の児童の見守りや、要援護児童の見守りなど、安心・安全な運営に努める。事業経費の中でも効果が限定されるものについては開催回数を減らすなど、コストカットに努める。同和地区に対する厳しい差別意識が今なお現存する中、地区内外の児童・生徒の正しい部落問題の認識を確立するため、今後も一層の事業展開と地区内外の交流の場の提供が必要。
----	----	--

整理番号
228 - 0

決算書頁
235

(款)3民生費(項)5生活保護費(目)1生活保護総務費(細目)235生活保護事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-05-01-235-01
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	生活保護事務経費	健康福祉部生活支援課	評価責任者・連絡先	課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	生活保護法に基づく被保護者																										
	目的	生活保護を適正に行う																										
	内容	生活保護法に基づく生活保護を適正に実施するための経費です。 【委託料の内訳】 <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td>診療報酬明細書点検業務委託料</td> <td>769,824円</td> <td>委託先:(株)オークス</td> </tr> <tr> <td>被保護者就労準備支援事業業務委託料</td> <td>2,011,112円</td> <td>委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会</td> </tr> <tr> <td>生活保護診療報酬支払事務委託料</td> <td>912,414円</td> <td>委託先:社会保険診療報酬支払基金</td> </tr> <tr> <td>介護扶助審査支払事務委託料</td> <td>190,757円</td> <td>委託先:三重県国民健康保険団体連合会</td> </tr> <tr> <td>弁護士業務委託料</td> <td>594,000円</td> <td>委託先:楠井法律事務所</td> </tr> <tr> <td>生活保護システム保守業務委託料</td> <td>1,056,996円</td> <td>委託先:北日本コンピューターサービス(株)</td> </tr> <tr> <td>レセプト管理システム保守業務委託料</td> <td>389,124円</td> <td>委託先:(株)富士通マーケティング中部営業本部</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">計</td> <td>5,924,227円</td> <td></td> </tr> </table>			診療報酬明細書点検業務委託料	769,824円	委託先:(株)オークス	被保護者就労準備支援事業業務委託料	2,011,112円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会	生活保護診療報酬支払事務委託料	912,414円	委託先:社会保険診療報酬支払基金	介護扶助審査支払事務委託料	190,757円	委託先:三重県国民健康保険団体連合会	弁護士業務委託料	594,000円	委託先:楠井法律事務所	生活保護システム保守業務委託料	1,056,996円	委託先:北日本コンピューターサービス(株)	レセプト管理システム保守業務委託料	389,124円	委託先:(株)富士通マーケティング中部営業本部	計	5,924,227円	
	診療報酬明細書点検業務委託料	769,824円	委託先:(株)オークス																									
被保護者就労準備支援事業業務委託料	2,011,112円	委託先:(福)伊賀市社会福祉協議会																										
生活保護診療報酬支払事務委託料	912,414円	委託先:社会保険診療報酬支払基金																										
介護扶助審査支払事務委託料	190,757円	委託先:三重県国民健康保険団体連合会																										
弁護士業務委託料	594,000円	委託先:楠井法律事務所																										
生活保護システム保守業務委託料	1,056,996円	委託先:北日本コンピューターサービス(株)																										
レセプト管理システム保守業務委託料	389,124円	委託先:(株)富士通マーケティング中部営業本部																										
計	5,924,227円																											
事業に要した主な経費など	<table border="1" style="width:100%"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬・共済費</td> <td>2,167,082円</td> <td>嘱託医、就労支援員、弁護士報酬等</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>731,270円</td> <td>被保護者訪問、扶養義務調査、研修旅費等</td> </tr> <tr> <td>需用費・役務費</td> <td>840,299円</td> <td>消耗品費、燃料費、レセプトデータ提供料等</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,924,227円</td> <td>※上記記載のとおり</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>61,240円</td> <td>有料道路通行料、駐車場借上料</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>157,800円</td> <td>社会福祉主事資格取得負担金等</td> </tr> <tr> <td>償還金、利子及び割引料</td> <td>10,727円</td> <td>H27年度生活保護費等国庫負担金精算返還金</td> </tr> <tr> <td style="text-align:right">計</td> <td>9,892,645円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬・共済費	2,167,082円	嘱託医、就労支援員、弁護士報酬等	旅費	731,270円	被保護者訪問、扶養義務調査、研修旅費等	需用費・役務費	840,299円	消耗品費、燃料費、レセプトデータ提供料等	委託料	5,924,227円	※上記記載のとおり	使用料及び賃借料	61,240円	有料道路通行料、駐車場借上料	負担金、補助及び交付金	157,800円	社会福祉主事資格取得負担金等	償還金、利子及び割引料	10,727円	H27年度生活保護費等国庫負担金精算返還金	計	9,892,645円	
経費	金額	摘要																										
報酬・共済費	2,167,082円	嘱託医、就労支援員、弁護士報酬等																										
旅費	731,270円	被保護者訪問、扶養義務調査、研修旅費等																										
需用費・役務費	840,299円	消耗品費、燃料費、レセプトデータ提供料等																										
委託料	5,924,227円	※上記記載のとおり																										
使用料及び賃借料	61,240円	有料道路通行料、駐車場借上料																										
負担金、補助及び交付金	157,800円	社会福祉主事資格取得負担金等																										
償還金、利子及び割引料	10,727円	H27年度生活保護費等国庫負担金精算返還金																										
計	9,892,645円																											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	3,322	4,124	
人件費	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	15	0		
	一般財源	6,328	8,649	6,164	13,530		
	合計(A)	9,650	12,773	9,893	18,326		
	正規職員	業務量 0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人		
人件費	1,124	1,169	1,169	1,177			
臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
人件費							
小計(B)	1,124	1,169	1,169	1,177			
合計(A+B)	10,774	13,942	11,062	19,503			
市民1人当たりのコスト(円)			114	148	118	208	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	生活保護法に基づくもので指標化に適さない	目標						
		実績						
指標化できない成果	達成							

方向	継続	課題及び改善案	生活保護からの自立に向け就労支援等の強化が必要。
----	----	---------	--------------------------

(款)3民生費(項)5生活保護費(目)1生活保護総務費(細目)236中国残留邦人等生活支援経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-05-01-236-01
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	中国残留邦人等支援事務経費	健康福祉部生活支援課	評価責任者・連絡先	課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の対象者		
	目的	同法に基づく支援給付		
	内容	<p>市内在住の対象者1世帯2名に対し支援を行いました。 経費の内訳は、支援相談員(嘱託員)に対する報酬(主に医療機関に通院する際の中国語通訳の報酬)や、医療費支払事務委託料(診療報酬を支払うための診療報酬支払基金への委託)などです。</p> <p>【支援実績】</p> <p>支援相談員(嘱託員)による通院支援 46回 当課担当職員及び市民生活課通訳による通院支援 9回</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	215,280円	支援相談員(嘱託員)報酬	
	旅費	14,763円	支援相談員(嘱託員)活動旅費	
	需用費	5,368円	消耗品費	
	役務費	208円	レセプト電子データ提供料	
	医療費支払事務等委託料	5,671円	委託先: 社会保険診療報酬支払基金	
	計	241,290円		

項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国庫支出金	189	460	241	460
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6	8	1	8
	合計(A)	195	468	242	468
人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人
	人件費	749	780	780	785
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
	人件費				
小計(B)	749	780	780	785	
合計(A+B)	944	1,248	1,022	1,253	
市民1人当たりのコスト(円)	10	14	11	14	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
支援した延べ回数	対象者の自立を目的とするため	回	目標		48	48
			実績	48	70	55
指標化できない成果		達成		145.8%	114.6%	

方向	継続	課題及び改善案	適正実施のための各種支援方策の検討を行う。
----	----	---------	-----------------------

(款)3民生費(項)5生活保護費(目)1生活保護総務費(細目)236中国残留邦人等生活支援経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-05-01-236-51
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	生活支援給付金	健康福祉部生活支援課	評価責任者・連絡先	課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の対象者		
	目的	同法に基づく支援給付		
	内容	<p>市内在住の対象者1世帯2名に対し、生活支援費(生活保護基準に準じる一般生活費)、住宅支援費(生活保護基準に準じる家賃等)、医療支援費(生活保護基準に準じる医療扶助)を支給しました。 ただし、平成28年12月15日に中国残留邦人の配偶者が死亡したことから、支援対象者は1世帯1名となりました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	生活支援費	1,110,206円		
	住宅支援費	520,800円		
	医療支援費	1,333,920円		
	計	2,964,926円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	2,382	4,026	2,223	4,026	生活保護費国庫負担金 3/4
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	794	1,342	742	1,342	
		合計(A)	3,176	5,368	2,965	5,368	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	749	780	780	785	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	749	780	780	785	
合計(A+B)	3,925	6,148	3,745	6,153			
市民1人当たりのコスト(円)		42	66	40	66		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
支援した人数	受給者数が事業効果の有効性	人	目標		2	2
			実績	2	2	2
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	より効果的な支援方法の検討を行う。
----	----	---------	-------------------

(款)3民生費(項)5生活保護費(目)2扶助費(細目)237扶助費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えあうまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-05-02-237-51
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	扶助費	健康福祉部生活支援課	評価責任者・連絡先	課長 中西 一樹 0595-22-9650

事務事業の概要	対象	生活保護法に基づく被保護者		
	目的	生活保護法に基づく、被保護者の扶助費及び救護施設措置費等を支給する。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活扶助費 →国の基準で決められた一般生活費、冬期加算のほか一時的扶助を支給しました。 住宅扶助費 →国の基準で決められた家賃や必要な場合の敷金・礼金等を支給しました。 教育扶助費 →国の基準で決められた学級費・給食費等を支給しました。 介護扶助費 →国の基準で決められた介護サービス利用に伴う自己負担料等を支給しました。 医療扶助費 →国の基準で決められた診療報酬等を支給しました。 出産扶助費 →国の基準で決められた出産費用等(H28年度の支給はありませんでした。) 生業扶助費 →国の基準で決められた技能習得費や高等学校就学費等を支給しました。 葬祭扶助費 →国の基準で決められた葬祭費用等を支給しました。 <p>①救護施設措置費 →国の基準、施設で決められた救護施設入所に係る事務経費を支出しました。(24,698,709円)</p> <p>②就労自立給付費 →安定した職業に就いた等により、保護を必要としなくなったものに対して支給しました。(292,371円)</p> <p>③過年度国庫支出金精算返還金(124,516,462円)</p> <p>生活保護受給者は延べ9,858人が受給。平成28年度平均保護率(%) 9.1</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	生活扶助費	397,870,979円	延べ 6,700世帯 8,375人	
	住宅扶助費	112,790,211円	延べ 5,527世帯 7,009人	
	教育扶助費	5,406,068円	延べ 243世帯 439人	
	介護扶助費	34,741,135円	延べ 2,148世帯 2,264人	
	医療扶助費	801,061,234円	延べ 8,617人	
	生業扶助費	3,074,390円	延べ 98世帯 132人	
	葬祭扶助費	1,352,799円	8世帯 8人	
	計	1,505,804,358円	合計には、上記内容の①②③の金額を含む	

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国庫支出金	1,183,590	1,143,500	1,156,126	1,136,140		生活保護費国庫負担金 3/4 生活保護法第73条による県負担金 1/4
			地方債	0	0	0	0		
			その他	9,205	13,000	20,918	15,200		
			一般財源	285,359	320,500	328,761	315,580		
	合計(A)	1,478,154	1,477,000	1,505,805	1,466,920	その他 民生費雑入 生活保護法第63条、第78条による返還金等			
	人件費	正規職員	業務量	12.30 人	12.30 人		12.30 人	12.30 人	
			人件費	92,091	95,830		95,830	96,445	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人		人	人	
			人件費						
小計(B)	92,091	95,830	95,830	96,445					
合計(A+B)	1,570,245	1,572,830	1,601,635	1,563,365					
市民1人当たりのコスト(円)		16,518	16,684	16,990	16,632				

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	生活保護法に基づくもので指標化に適さない			目標			
				実績			
指標化できない成果			達成				

方向	継続	課題及び改善案	より効果的な支援方法の検討を行う。
----	----	---------	-------------------

(款)3民生費(項)6災害救助費(目)1災害救助費(細目)238災害救助経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999 政策なし	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-06-01-238-53
	施策	9999 施策なし	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	被災地支援経費		
			評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	熊本地震に伴う被災者及び行政。		
	目的	熊本地震に関する被災地復興支援することで、早期の復興と相互扶助の精神を培う。		
	内容	<p>○平成28年熊本地震の被災地支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急危険度判定士 1名の派遣 ・災害廃棄物処理支援(パッカー車1台、職員計4名の派遣) ・建物被害認定調査業務支援(職員計4名の派遣) 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	旅費	900,640円		
	需用費	127,683円	派遣車両用サイン作成等	101,898円
	使用料及び賃借料	81,638円	燃料費	25,785円
			自動車借上料等	68,688円
			駐車場借上料	12,950円
	備品購入費	37,800円		
	職員手当等	18,300円		
	計	1,166,061円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金		0	0		0
			地方債		0	0		0
			その他		0	0		0
			一般財源		0	1,167		0
	合計(A)	0	0	1,167	0			
	人件費	正規職員	業務量	人	人	0.30 人		人
			人件費	0	0	2,338		0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費					
小計(B)		0	0	2,338	0			
合計(A+B)	0	0	3,505	0				
市民1人当たりのコスト(円)		0	0	38	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	派遣職員数	派遣職員数が相互扶助精神の育成に繋がる。	人	目標	-	-	-
				実績	-	-	9
指標化できない成果			達成				

方向	完了	課題及び改善案	一定の成果はあったと思われる。
----	----	---------	-----------------

整理番号
233 - 0

決算書頁
237

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)239保健衛生事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-239-01
	施策	1102	市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり		
	事務事業名	保健衛生事務経費		担当部署	部・課名等
			健康福祉部健康推進課	課長 中井 芳子	0595-22-9653

事務事業の概要	対象	各事業の対象となる市民																	
	目的	健康づくりを推進していくための諸事業及びそれに伴う庶務を円滑に実施する。																	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆浴場確保対策事業補助金 内風呂未設置の家庭など地域住民の公衆衛生の向上を目的に、公衆浴場確保のための補助を行いました。 ・予防接種健康被害救済給付金 ・業務嘱託員に係る経費 ・庶務事務に係る経費 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>3,717,600円</td> <td>業務嘱託員報酬 2人</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>538,960円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>6,404,991円</td> <td>三重県市町保健師協議会負担金 98,301円 公衆浴場確保対策事業補助金 330,000円 予防接種健康被害給付金 5,975,290円 研修会等参加負担金 1,400円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>245,068円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,906,619円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	3,717,600円	業務嘱託員報酬 2人	共済費	538,960円		負担金、補助及び交付金	6,404,991円	三重県市町保健師協議会負担金 98,301円 公衆浴場確保対策事業補助金 330,000円 予防接種健康被害給付金 5,975,290円 研修会等参加負担金 1,400円	その他事務経費	245,068円		計	10,906,619円
経費	金額	摘要																	
報酬	3,717,600円	業務嘱託員報酬 2人																	
共済費	538,960円																		
負担金、補助及び交付金	6,404,991円	三重県市町保健師協議会負担金 98,301円 公衆浴場確保対策事業補助金 330,000円 予防接種健康被害給付金 5,975,290円 研修会等参加負担金 1,400円																	
その他事務経費	245,068円																		
計	10,906,619円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	4,436	4,454	4,470	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	113	72	97	102		
	一般財源	6,216	6,266	6,340	4,409	○平成29年度予算 看護実習生指導費:102千円	
	合計(A)	10,765	10,792	10,907	4,511		
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.01 人	平成29年度から、一部事業を感染症予防業務経費(01-04-01-02-253-01)及び予防接種業務経費(01-04-01-02-253-51)に移行
		人件費	749	780	780	79	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	749	780	780	79		
	合計(A+B)	11,514	11,572	11,687	4,590		
市民1人当たりのコスト(円)			122	123	124	49	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	公衆浴場数	公衆浴場の数	件	目標		2	2	
				実績	2	2	2	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>健康づくり推進のための諸事業を円滑に遂行していく上で、事務の内容を見直し効率化を図る必要がある。 平成29年度以降、主要な事務事業を他の事務事業に移行するため、当該事業は評価対象外とする。</p>
----	---

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)239保健衛生事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-239-02
	施策	1101 市民主体の健康づくり活動を支援する体制づくり	担当 部署	部・課名等 健康福祉部健康推進課
事務事業名	献血事業経費			

事務事業の概要	対象	全市民(400ml献血対象者は18～69歳 ※男性は17歳以上)		
	目的	安定した血液供給のため、市民に献血への参加を呼びかけ、献血者を確保する。		
	内容	<p>生命を救う献血の重要性や互いに助け合うことの大切さを認識してもらい、献血協力者を増やすため、街頭啓発等の献血推進事業を実施しました。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・献血ポスターコンクール(対象者:小中学生) ・街頭啓発:3回 ・献血事業:12回、献血者数:487人(市の関与分) 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	90,000円	献血推進事業補助金	
	計	90,000円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	96	96	90	60	
		合計(A)	96	96	90	60	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.19 人	0.19 人	0.27 人	0.27 人	
		人件費	1,423	1,481	2,104	2,118	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,423	1,481	2,104	2,118	
合計(A+B)	1,519	1,577	2,194	2,178			
市民1人当たりのコスト(円)		16	17	24	24		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
献血者数	献血協力者数	人	目標	400	400	400
			実績	364	380	487
指標化できない成果		達成		95.0%	121.8%	

方向	継続	課題及び改善案	献血者増加を図るため、伊賀市献血推進協議会加入企業等へ献血実施等の協力要請を行うとともに、赤十字血液センターと協議し開催場所や時間など効果的な運営方法を検討する必要がある。
----	----	---------	--

整理番号
235 - 0

決算書頁
239

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 28 年度	01-04-01-01-240-01
	施策	1102	市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり		
	事務事業名	健康手帳作成事業(補助金分)		担当部署	部・課名等
			健康福祉部健康推進課	課長 中井 芳子	0595-22-9653

事務事業の概要	対象	40歳以上の市民(健康増進法対象者は40～64歳)										
	目的	検診結果等を手帳に記録し、自らの健康管理を自主的かつ積極的に行うことを目指す。										
	内容	<p>特定健康診査・保健指導等、市民の健康保持のために必要な事項を記入するための健康手帳を交付し、自己管理の必要性を市民に啓発することで、健康に関する一次予防を推進しました。</p> <p>・健康手帳交付件数:384件</p>										
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>49,838円</td> <td>健康手帳</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>49,838円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品費	49,838円	健康手帳	計	49,838円		
経費	金額	摘要										
消耗品費	49,838円	健康手帳										
計	49,838円											

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	23	26	23	
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	27	24	27			
	合計(A)	50	50	50	0		
人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.04 人	人	
		人件費	150	156	312	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	150	156	312	0		
	合計(A+B)	200	206	362	0		
	市民1人当たりのコスト(円)	3	3	4	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	健康手帳配布率	健康手帳配布数/健康相談者数	%	目標		50	50	
				実績	35.9	22.2	22.1	
指標化できない成果			達成		44.4%	44.2%		

方向	統合 課題及び改善案 出前講座や集団がん検診など市民が多く集まる機会に、健康手帳を活用した健康の自己管理を推進する。 平成29年度から健康増進法の一部改正により健康手帳の作成が補助対象外となるが、市が独自作成した健康手帳を使用する予定である。
----	---

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-240-51
	施策	1102	市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり		
事務事業名	健康教育事業(補助金分)		担当部署 健康福祉部健康推進課	評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9653	

事務事業の概要	対象	全市民(健康増進法対象者は40歳～64歳)		
	目的	生活習慣病の予防、その他健康に関する情報について、正しい知識の普及を図る。		
	内容	<p>・各地域の老人クラブ・サロン・住民自治協議会や企業など各種団体からの依頼により、生活習慣病予防教室や健康体操、運動教室、出前講座等を実施しました。</p> <p>【出前講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:146回 ・参加者数:延べ3,029人 <p>【各種教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数:66回 ・参加者数:延べ1,531人 <p>・こころの健康教室(自殺予防対策事業)を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	45,000円	食生活改善推進員養成講座講師謝礼 5,000円 こころの健康大学講師謝礼 30,000円 健康測定会講師謝礼 10,000円	
	燃料費	171,017円		
	広告料	54,000円	自殺予防対策バスマスク	
	その他事務経費	1,063,061円	自殺予防対策啓発物品 ほか	
	計	1,333,078円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	726	504	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	128	125	85	100		
	一般財源	564	751	650	350		
	合計(A)	1,418	1,380	1,334	1,004		
人件費	正規職員	業務量	0.58 人	0.58 人	0.52 人	0.52 人	
		人件費	4,343	4,519	4,052	4,078	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
		人件費					
	小計(B)	4,343	4,519	4,052	4,078		
	合計(A+B)	5,761	5,899	5,386	5,082		
	市民1人当たりのコスト(円)	61	63	58	55		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	出前講座及び各種教室の参加者数	目標		人		5,500	5,500	4,800
		実績			4,866	6,190	4,560	
指標化できない成果	達成				112.5%	82.9%		

方向	継続	課題及び改善案	出前講座は、地域の各種団体などの要請から年々増加傾向にある。住民のニーズについても多様化しているため、まちの講師の新規登録を増やすなどメニューを充実させ、地域等と連携を図りながら実施していく。また早期からの生活習慣病などの疾病予防を目指した働く世代の健康づくりに重点をおいたプロジェクトを実施する。
----	----	---------	---

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	11 健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-240-52
	施策	1102 市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	健康相談事業(補助金分)	健康福祉部健康推進課	評価責任者・連絡先	課長 中井 芳子 0595-22-9653

事務事業の概要	対象	全市民(健康増進法対象者は40歳～64歳)		
	目的	心身の健康に関する市民の個別相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。		
	内容	心身の健康について健康相談を実施しました。 【集団による健康相談】 ・開催回数:140回 ・相談件数:1,738件 【電話及び面接による健康相談】 ・相談件数:180件		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	消耗品費	293,162円	参考図書 ほか	
	燃料費	32,875円	公用車燃料	
	その他事務経費	70,632円		
	計	396,669円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	143	170	147	170
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	16	0
		一般財源	284	218	234	170
		合計(A)	427	388	397	340
人件費	正規職員	業務量	0.24 人	0.24 人	0.31 人	0.31 人
		人件費	1,797	1,870	2,416	2,431
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人
		人件費				
	小計(B)	1,797	1,870	2,416	2,431	
合計(A+B)	2,224	2,258	2,813	2,771		
市民1人当たりのコスト(円)		24	24	30	30	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談者数	集団健康相談 個別健康相談(電話相談含む)	人	目標		2,500	2,500
			実績	2,083	1,950	2,058
指標化できない成果		達成		78.0%	82.3%	

方向	継続	課題及び改善案	効果的・効率的に事業を実施するため、地域と連携を図り、伊賀市全域で様々な機会を捉え健康相談を実施する。また早期からの疾病予防を目指し、働く世代を対象とした健康相談・測定会を実施する。
----	----	---------	---

整理番号
238 - 0

決算書頁
239

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-240-53
	施策	1103	疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり	担当 部署	部・課名等 健康福祉部健康推進課
	事務事業名	健康診査事業(補助金分)		評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9653	

事務事業の概要	対象	健康増進法による健康診査:生活保護世帯者の健康診査 肝炎ウイルス検査:40歳、ハイリスク者																	
	目的	健康増進法による健康診査及び肝炎ウイルス検査を行い、生活習慣病などの早期発見を図る。																	
	内容	健康増進法による健康診査及び肝炎ウイルス検査を実施しました。 ・健康診査(40歳以上)を実施 受診者数:73人 ・肝炎ウイルス健査(40歳・ハイリスク者)を実施 受診者数:17人																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>822,740円</td> <td>健康増進法健康診査委託料 778,320円 (委託料:(一社)伊賀医師会ほか)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>肝炎ウイルス検査委託料 44,420円 (委託料:(一社)伊賀医師会ほか)</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>198,196円</td> <td>健康増進法健康診査手数料</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>241,125円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,262,061円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	822,740円	健康増進法健康診査委託料 778,320円 (委託料:(一社)伊賀医師会ほか)			肝炎ウイルス検査委託料 44,420円 (委託料:(一社)伊賀医師会ほか)	手数料	198,196円	健康増進法健康診査手数料	その他事務経費	241,125円		計	1,262,061円
経費	金額	摘要																	
委託料	822,740円	健康増進法健康診査委託料 778,320円 (委託料:(一社)伊賀医師会ほか)																	
		肝炎ウイルス検査委託料 44,420円 (委託料:(一社)伊賀医師会ほか)																	
手数料	198,196円	健康増進法健康診査手数料																	
その他事務経費	241,125円																		
計	1,262,061円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	826	831	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	687	950	582	794		
	合計(A)	1,513	1,781	1,263	1,580		
人件費	正規職員	業務量	0.14 人	0.14 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,049	1,091	1,169	1,177	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,049	1,091	1,169	1,177		
	合計(A+B)	2,562	2,872	2,432	2,757		
	市民1人当たりのコスト(円)	27	31	26	30		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	健康診査受診者数			人	目標	80	80	80
					実績	76	80	73
	指標化できない成果			達成	100.0%	91.3%		

方向	継続	課題及び改善案	健康診査及び肝炎ウイルス検査のさらなる啓発を行い、市民の健診機会の拡大を図る必要がある。
----	----	---------	--

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-240-54
	施策	1102	市民一人ひとりが健康で健やかに暮らせる環境づくり		
事務事業名	訪問指導事業(補助金分)		担当部署	部・課名等 健康福祉部健康推進課	
				評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9653	

事務事業の概要	対象	全市民(健康増進法対象者は40歳～64歳)		
	目的	家庭訪問による面接相談により健康に関する問題を総合的に把握し、健康の保持増進を図る。		
	内容	家庭訪問により、心身の健康に関する保健指導、相談等を実施しました。 ・訪問件数:40件(延べ192件)		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	燃料費	69,504円	公用車燃料	
	その他事務経費	69,224円	訪問用地図 ほか	
	計	138,728円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	29	34	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	140	161	110	60		
	合計(A)	169	195	139	94		
	人件費	正規職員	業務量 0.08 人	0.08 人	0.06 人	0.06 人	
		人件費	599	624	468	471	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	599	624	468	471	
		合計(A+B)	768	819	607	565	
		市民1人当たりのコスト(円)	9	9	7	7	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	継続訪問者指導者数			人	目標	60	60	55
					実績	57	40	40
	指標化できない成果		達成		66.7%	66.7%		

方向	継続	課題及び改善案	地域に根ざした社会福祉活動を行う民生委員・児童委員等と連携し、保健指導や支援が必要な高齢者等の早期発見に努め、適切な支援体制を構築する必要がある。
----	----	---------	---

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 24 年度～平成 28 年度	01-04-01-01-240-55
	施策	1103	疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	保健事業(市単分)	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-22-9653

事務事業の概要	対象	ピロリ菌事業 20歳以上69歳以下の市民													
	目的	ピロリ菌感染の有無を検査し、保菌者のピロリ菌を除菌することで胃がんの発生を抑え、市民の健康保持・がん予防を推進します。													
	内容	<p>ピロリ菌陽性者で除菌を希望する者に対して、除菌費用の一部を助成しました。</p> <p>【実績】</p> <p>平成25年度 検査数:1,862人 除菌者数:686人 平成26年度 検査数: 758人 除菌者数:304人 平成27年度 検査数:1,256人 除菌者数:350人 平成28年度 除菌者数:139人</p>													
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>11,641円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>検診業務等委託料</td> <td>1,019,800円</td> <td>ピロリ菌除菌業務委託 委託先:上野センター薬局 ほか</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,031,441円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	消耗品費	11,641円		検診業務等委託料	1,019,800円	ピロリ菌除菌業務委託 委託先:上野センター薬局 ほか	計	1,031,441円		
経費	金額	摘要													
消耗品費	11,641円														
検診業務等委託料	1,019,800円	ピロリ菌除菌業務委託 委託先:上野センター薬局 ほか													
計	1,031,441円														

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	10,801	470	1,032		
		合計(A)	10,801	470	1,032	0	
	人件費	正規職員	業務量	0.70 人	0.35 人	0.20 人	人
人件費			5,241	2,727	1,559	0	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	0.00 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	5,241	2,727	1,559	0	
		合計(A+B)	16,042	3,197	2,591	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	169	34	28	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	ピロリ菌除菌者数		ピロリ菌検査により、陽性となった市民のうち、市の助成を受けて除菌を行った人数	人	目標		350	120
					実績	304	350	139
	指標化できない成果		達成		100.0%	115.8%		

方向	<p>廃止</p> <p>課題及び改善案</p> <p>ピロリ菌除菌の保険適用範囲が拡大されたことなどから、公衆衛生の観点からも必ずしも市が実施すべきものではない。ピロリ菌検査費用の助成は、平成27年度末を持って終了し、平成28年度では除菌費用の助成のみを行った。今後は、定期的な胃がん検診を推奨するなかでピロリ菌検査につながるよう、情報提供・市民啓発を実施する必要がある。</p>
----	--

整理番号
241 - 0

決算書頁
239

(款)4衛生費(項)1保健衛生費(目)1保健衛生総務費(細目)240保健事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	11	健康寿命が長く、安心な医療が受けられるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-04-01-01-240-57
	施策	1103	疾病の早期発見・早期治療につなげる体制づくり		
事務事業名	検診事業	担当部署	部・課名等 健康福祉部健康推進課	評価責任者・連絡先 課長 中井 芳子 0595-22-9653	

事務事業の概要	対象	20歳以上の市民(対象年齢は各検診による。)																																					
	目的	検診費用を一部助成することで受診率向上を図り、疾病の早期発見・早期治療を目指す。																																					
	内容	<p>・検診車による集団がん検診と市内医療機関で受診する個別がん検診を実施しました。</p> <p>【個別受診者数(市単分)】 胃がん検診:272人、前立腺がん検診:363人、子宮がん検診:573人、乳がん検診:320人 大腸がん検診:485人</p> <p>【個別受診者数(無料クーポン券利用分)】 子宮がん検診:52人、乳がん検診:135人</p> <p>【集団受診者数(市単分)】 胃がん検診:1,009人、前立腺がん検診:459人、子宮がん検診:1,227人、乳がん検診:1,974人 大腸がん検診:1,858人、肺がん検診:4,601人</p> <p>【集団受診者(無料クーポン券利用分)】 子宮がん検診:65人、乳がん検診:2人</p> <p>・20～39歳までの市民を対象に、若年者健診を実施しました。 受診者数:166人</p>																																					
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>65,964,914円</td> <td>健康推進事業委託料</td> <td>20,900,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(委託先:(一社)伊賀医師会ほか)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>集団がん検診業務委託料</td> <td>25,942,680円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(委託先:(医)名翔会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>個別がん検診業務委託料</td> <td>14,407,350円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(委託先:(一社)伊賀医師会)</td> <td>ほか</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>485,735円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>66,450,649円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			経費	金額	摘要		委託料	65,964,914円	健康推進事業委託料	20,900,000円			(委託先:(一社)伊賀医師会ほか)				集団がん検診業務委託料	25,942,680円			(委託先:(医)名翔会)				個別がん検診業務委託料	14,407,350円			(委託先:(一社)伊賀医師会)	ほか	その他事務経費	485,735円			計	66,450,649円		
経費	金額	摘要																																					
委託料	65,964,914円	健康推進事業委託料	20,900,000円																																				
		(委託先:(一社)伊賀医師会ほか)																																					
		集団がん検診業務委託料	25,942,680円																																				
		(委託先:(医)名翔会)																																					
		個別がん検診業務委託料	14,407,350円																																				
		(委託先:(一社)伊賀医師会)	ほか																																				
その他事務経費	485,735円																																						
計	66,450,649円																																						

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	1,503	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	6,368	6,464	7,080	9,879		
	一般財源	59,790	62,828	59,371	54,438		
	合計(A)	67,661	69,292	66,451	64,317		
	人件費	正規職員	業務量 0.74 人	0.74 人	0.79 人	0.79 人	
		人件費	5,541	5,766	6,155	6,195	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	0.25 人	0.25 人
		人件費					
		小計(B)	5,541	5,766	6,155	6,195	
		合計(A+B)	73,202	75,058	72,606	70,512	
		市民1人当たりのコスト(円)	771	797	771	751	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各種がん検診・若年者健診受診者数			人	目標	18,500	18,500	17000
					実績	14,839	14,306	13,561
	指標化できない成果			達成	77.3%	73.3%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 当市のがん検診受診率は県内では低位であるため、特定健診との同時実施や企業への呼びかけを行うなど、比較的年齢の若い退職後間もない市民の健診機会の拡大を図るなど、受診率向上を目指す必要がある。また、がん検診の精度管理向上のため、精密検査結果を治療に結びつける必要がある。</p>
----	---